



成人向

妄想
オロチ伝4

THE HYPERMAN

キキキ

観念しなっ!

くっく

アア

ここまでなの…っ

魔王オロチにより作り出された世界で、練師たちは妖魔軍と戦いを続けていた。援軍は望めず、敵の追撃を逃れるだけで精一杯の惨状。苦しい状態での敗走が続き、これ以上は逃げ切れないと判断した練師は悲壮な決意を固め、敵を引き付けるために一人敵前に飛び出した。練師は仲間のためならば、自分の守る姫のためならば命を投げ出す覚悟を持っていた。

激しい戦いが始まり、練師の狙い通りに仲間たちは逃がすことができた。しかし、一人での戦いにも限界はすぐに訪れ、彼女は捕らえられてしまう。

「ムル」

「……はっ」

「ムル」

「っ」

「ムル」

私…捕まって…

捕らえられた練師は狭い牢獄に繋がれていた。
冷たい石壁に囲まれ、その壁には何やら生々しい肉のような、ウロコをはぎ取られた蛇のような物体が蠢いている。
そしてその触手とも呼べるものが練師の手足を拘束しているのだ。
妖魔が自分をどうしようとしているのか練師には見当もつかなかったが、良い結果が待っているであろうことだけは理解していた。



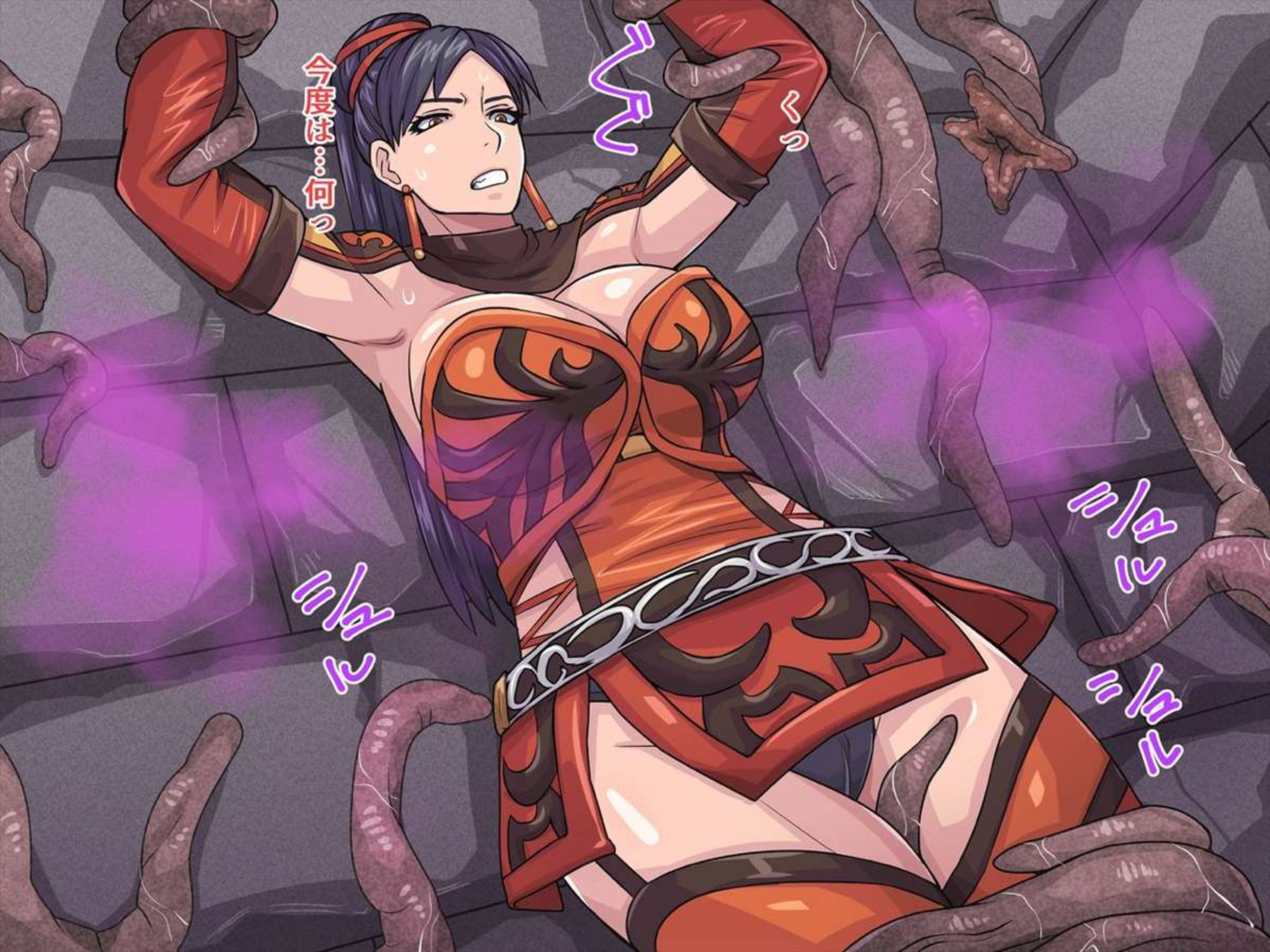
瘴気が…っ!

グググ

な…何っ!?

ググググググ

ググ



今度は…何っ

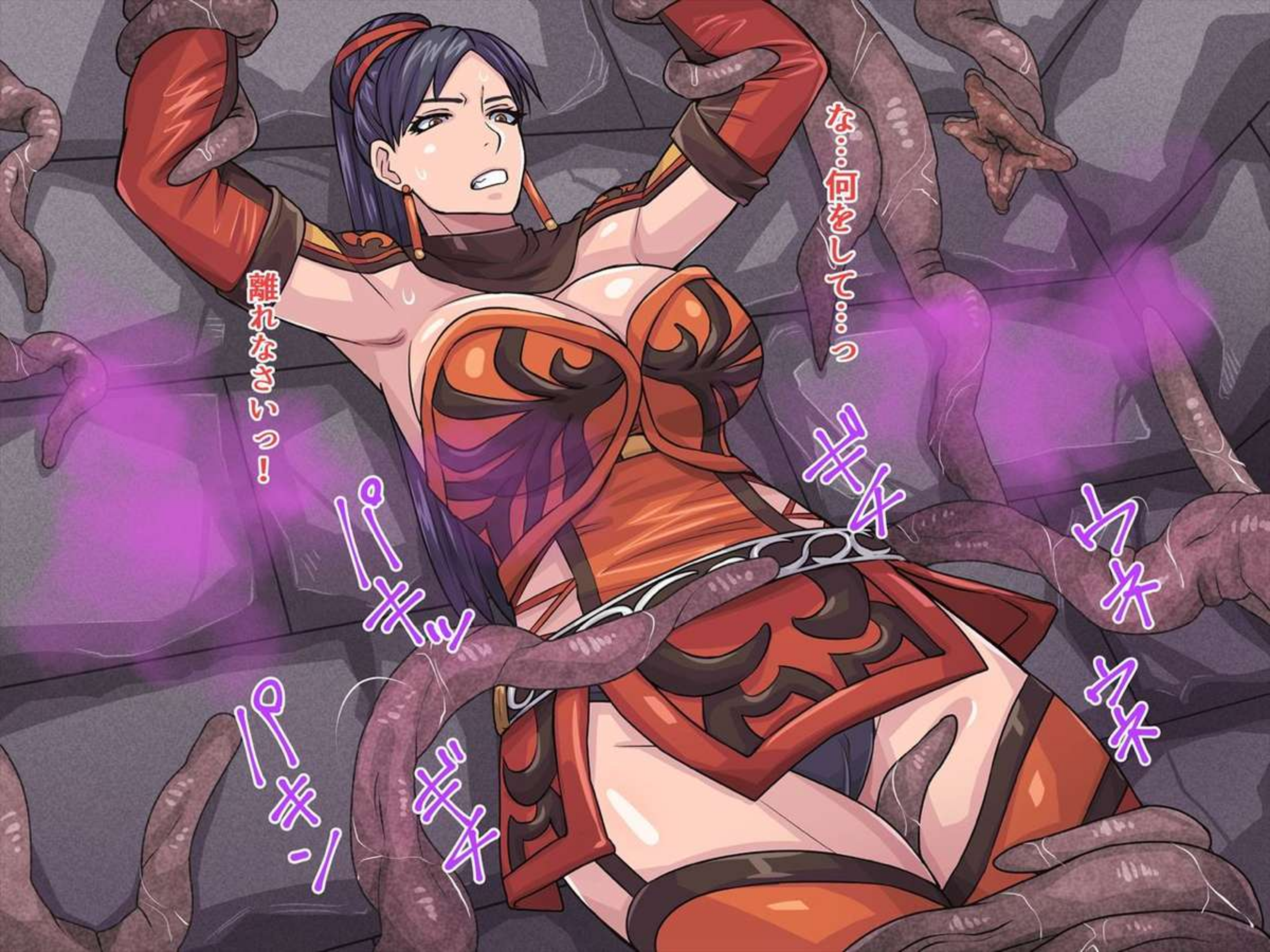
ぎゅ

くっ

||/||
||
||

||/||
||
||

||/||
||
||



な…何を…して…っ

離れなさいっ!

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

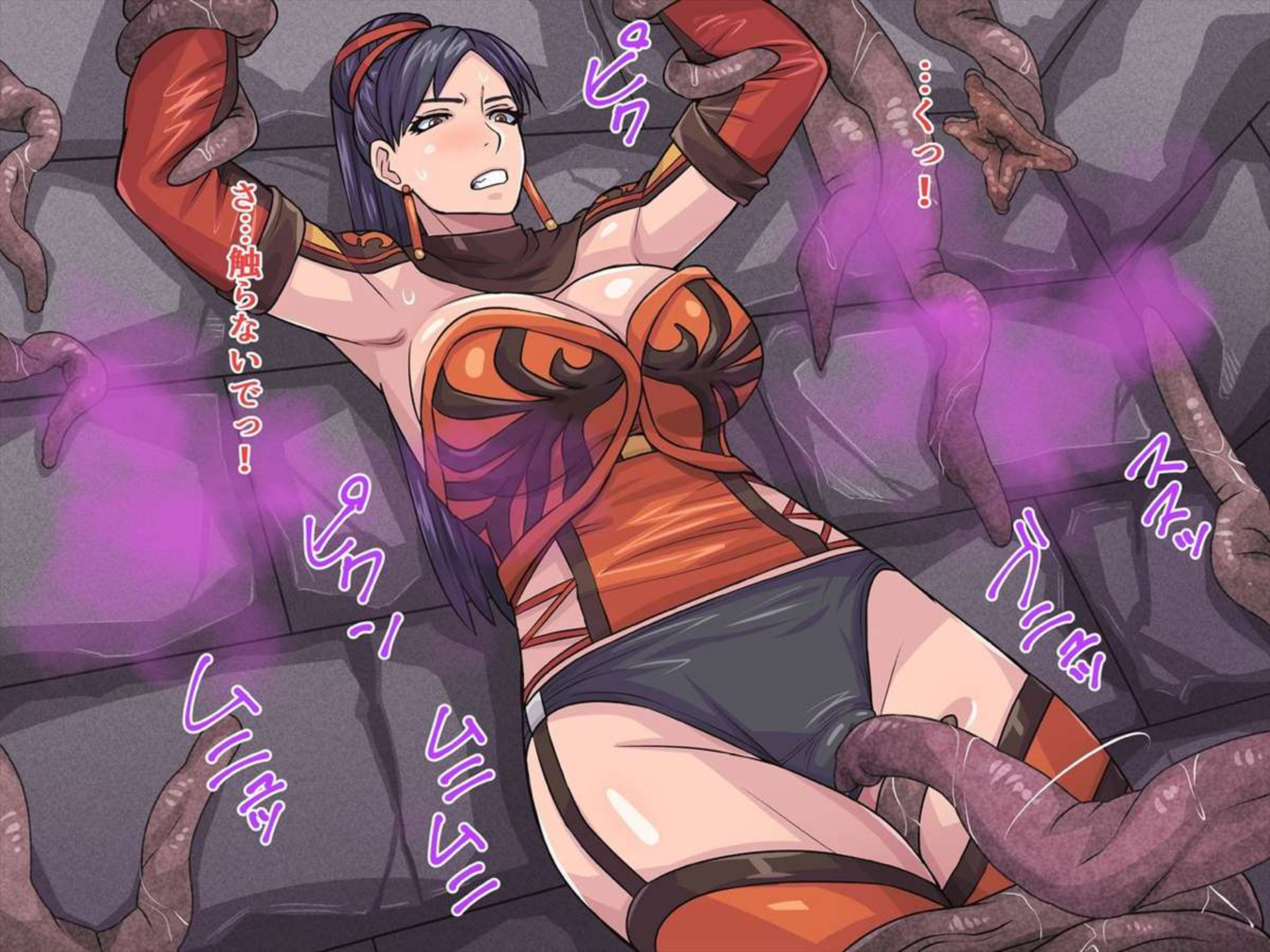


何をしてるのっ!

ズキ

な...っ!?

ズキ



さ...触らないでっ!

クク

くく!

クク

クク

クク

クク

クク



身体…がっ

フー
フー

何か…おかしい…

この瘴気の影響…なの…？

ン
ン
ン

ス
ッ
ト
ロ
ッ



なんて力なのっ

私の力では…っ

らっ
っ

アッ
ッ



触らないでっ

グニッ

グニッ

グニッ

グニッ





ズレレレ

や...めっ

ズレレレ

ズレレレ

んんんっ!

ズレレレ

ズレレレ

ズレレレ

ズレレレ



んんっ!

ぐわん

んんっ!

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん



う…ああ…っ

ビク
ビク
ツ

ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ

と…止まらな…っ

なんで…っ

こんな…こと…

ハ
ハ
ハ



…こんな方法で

屈服させようなんてっ

触手に組み付かれた時、練師は拷問の
ようなものを覚悟した。
自分を殺せた場面であつたにも関わ
らず、わざわざ自分を捕らえたことには
目的があるはずだとの考えからだ。
牢獄の外にいた妖魔が簡潔に、そして彼
女をあざ笑うかのようにその目的を告げ
た。
妖魔の目的とは、練師たちのような強い
力を有する人間を傀儡にし、妖魔軍の兵力
を強化しようというのである。
それを聞かされた練師は、自分の判断は
間違つていたかもしれないと、そう思わず
にはいられなかつた。

ぐ
ぐ

なんて卑劣なっ！

い
ぢ



触らないでっ！

ズズズ

うげ

ごご

ごご



んんん

アッアッアッ

アッアッ

は…入って…

やめ…なさい…っ！

アッアッアッ



んんんっ!

ズズズズ

奥...にっ

んんんっ

ズズズズ

んんんっ

ズズズズ

ズズズズ



アッ
アッ
アッ
アッ

い...いやっ!
い...いやっ!
い...いやっ!

クッ
クッ

くっ!
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ



んんんっ!

グチュ
グチュ

だ...め...

グチュ
グチュ

ま...待って

グチュ
グチュ

んんんっ!

グチュ
グチュ

グチュ
グチュ

グチュ
グチュ

グチュ
グチュ

グチュ
グチュ

グチュ
グチュ

グチュ
グチュ



ズン
ズン
ズン

あ……う……う

ズン
ズン
ズン

きりー!

ズン
ズン
ズン

んっ!
ズン
ズン



くっ

アアア

どうして...

こんな酷いことが

できるの...

ズクズク
ズクズク

アアアア

アア



ハ
ア
ア

放
し
な
さ
い
つ
!

ヒ
キ
キ

ジ
ョ
ウ
シ
ョ

ヒ
キ
キ



ぐ
ぐ

噛みついて……

かん

な…何っ!?

ギ
ギ



熱…いっ

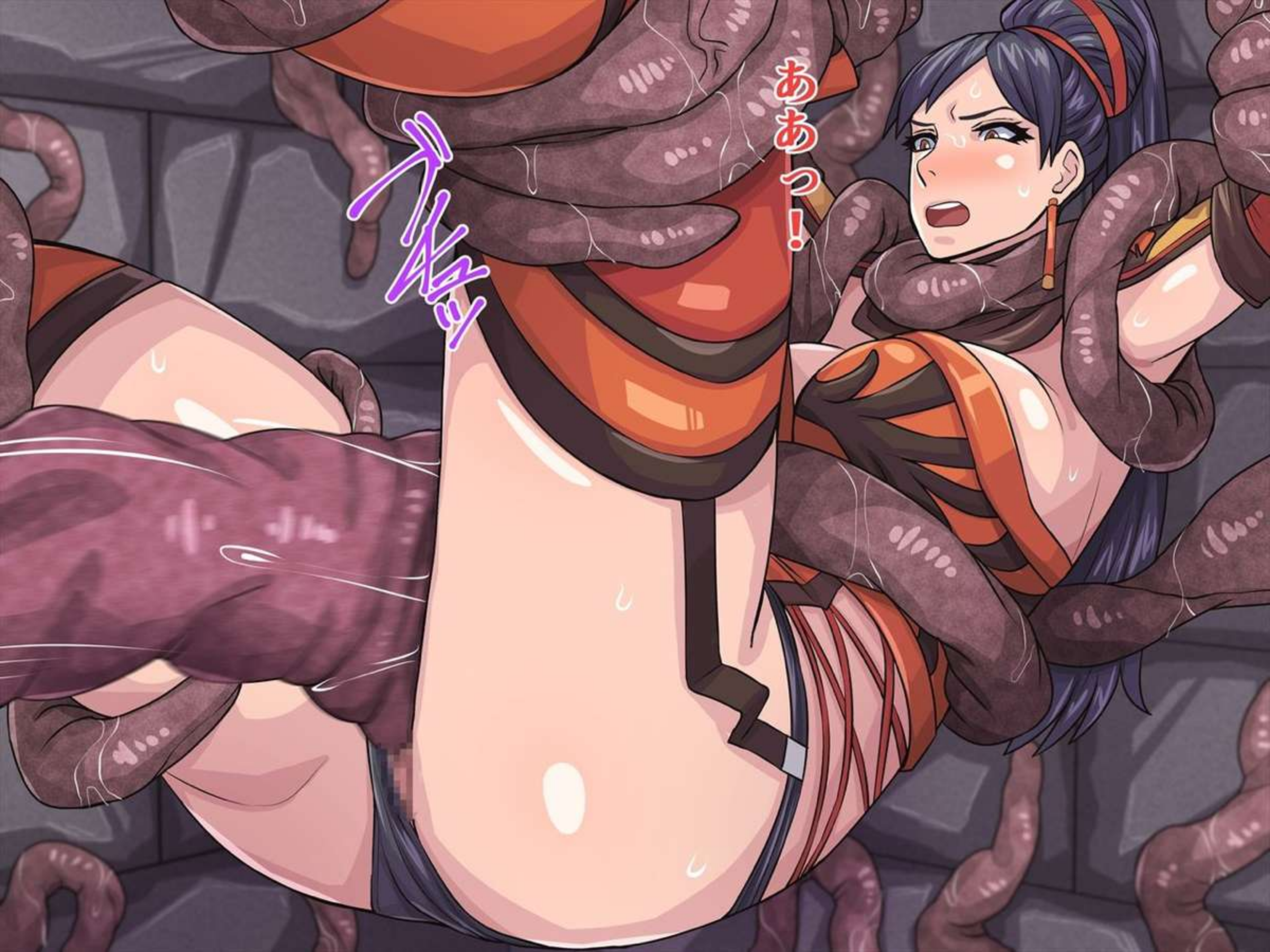
か…身体が…

何…っ

ぷるぷる

うっっ!!?

ハヤハヤ



ああっ!

グググッ

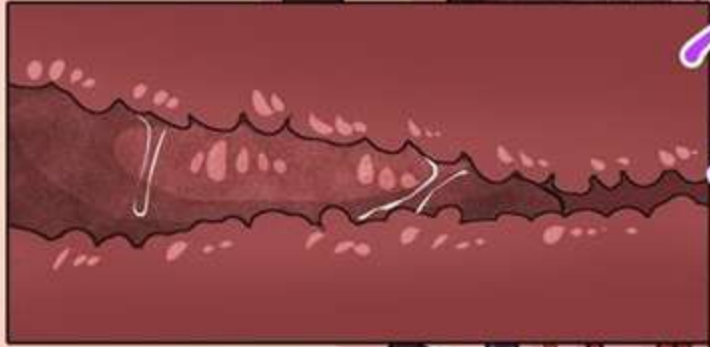


し…舌が…っ

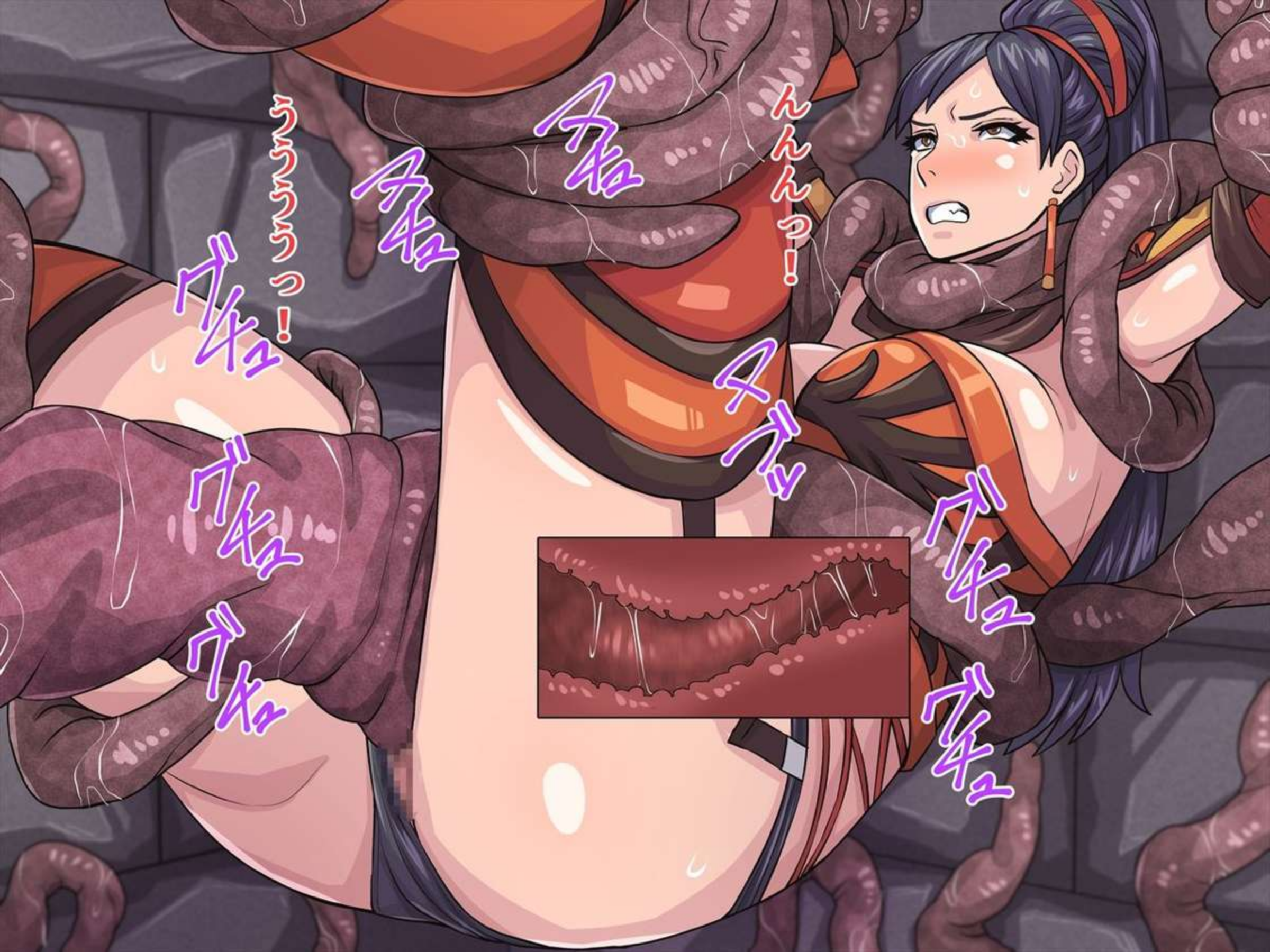
ズズズズ

〜んんんんん！

ズズズズ



ズズズズ



んんんっ!

グチュ

グチュ

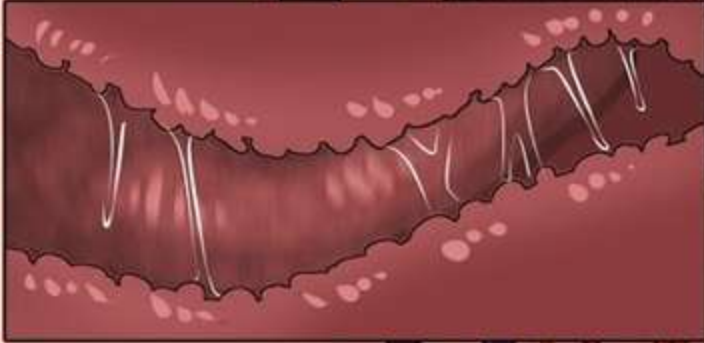
グチュ

グチュ

んんんっ!

グチュ

グチュ





ひ……いっ!

ズン
ズン
ズン

ズン

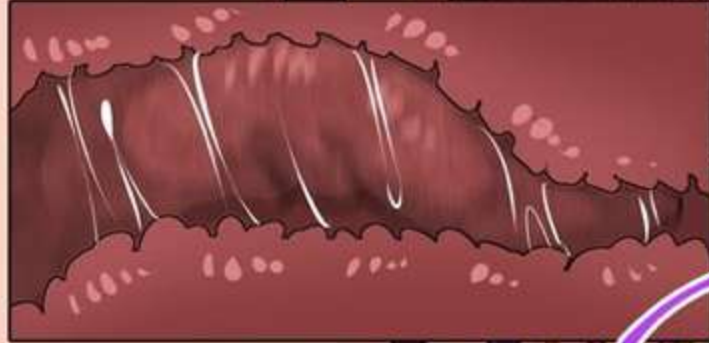
ズン
ズン

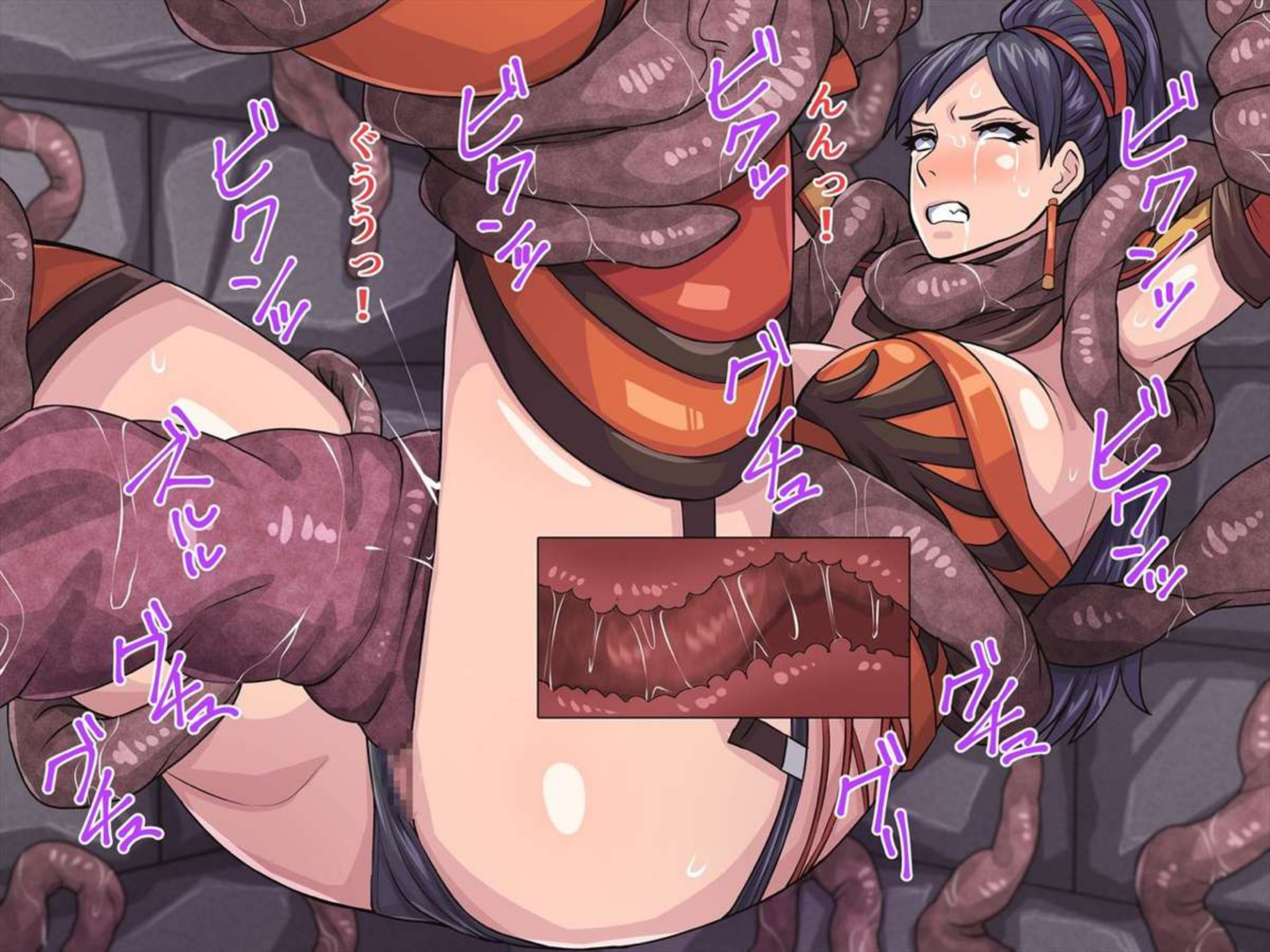
う……動かないでっ!

いやっ!

ズン

ズン





ビクビク

んんっ!

ビクビク

ビクビク

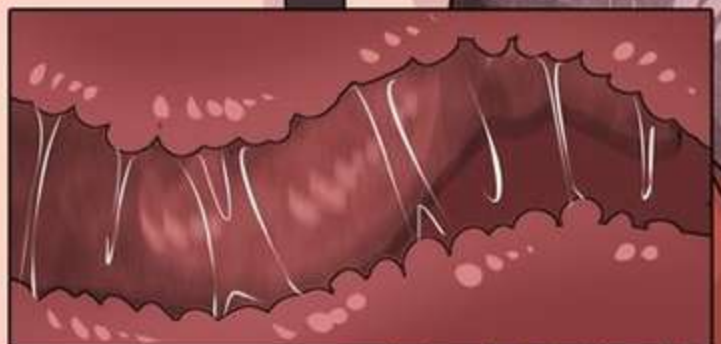
んんっ!

ビクビク

ゴク

ビクビク

ゴク



ゴク

ゴク

ゴク



い...いやっ

抵抗...できない...

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ



また毒を!

うん... うん...

うネ

うネ

うネ



逃げられないっ

くっ!

どいっ

かっ

かっ

かっ!



身体が言うことときかない...

で...出さ...い...

んんっ!

びく

びく

びく

びく



負けていられないわ!

こんな奴らに...

ぐっ

ぐっ

グググ

ぐっ



なっ!?

ゼクッ

お…お尻に…っ

何考えてるの!

ごいっ

アグッ



ギョッ

びっ!

ズン

ズンズン

ズンズン



何...をっ

やめ...てっ!!

ググ

グググ

なっ
グググ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ググ

アッ
アッ



あ……う……う……う……!

ズ……ズ……ズ……ズ……

ズ……

ズ……

ズ……

ズ……

ズ……

グ……グ……グ……

いっ

やっ

ズ……



くっ

放し…なさいっ!

いっせー!

ぎゅ

ズズズズ

ギョ



何を…っ

ジュンジュン

ジュン

ジュン

ゴゴゴ



ああっ!

ビクン

ズルルルル

ジュンジュン

やめ...っ

ズルルルル

ズルルルル



んんんんん！

ズムズム

グキ
グキ
グキ

ズムズム

んんん！

ズムズム

ズムズム

ズムズム



ズクンッ

ああっ!

擦つちや...

やめ...っ

ズクンッ

ズクンッ

ズクンッ

ズクンッ

ズクンッ

ズクンッ



う……あぁっ

や……っ

やめ……てっ！

あぁあぁっ！

グググ

グググ

グググ

グググ



どれだけ……っ

ギョッ

私を弄べば……

ガッガッ

蛇のような触手から注入される毒は確
実に練師の身体を蝕んだ。
戦場に出ているために痛みへの慣れこそあつたが、性的な快楽への慣れは鍛えようが無いし、毒が使われているとあれば尚更だつた。
そして精神を破壊し、妖術による洗脳を施すつもりなのだ。

品行方正に生きてきた練師にとって、愛する人以外との性的な接触は忌避するものだった。
それ故に今の状況は屈辱以外の何物でも無かつた。
しかし、仲間たちの無事を思えばこそ練師は耐えられる。彼女はそういう人間だつた。



ああっ!

やめなさいっ!

がっ

ズン

カッ



いい加減に...

フフ

アゲアゲ

くっ!

フネ

フネ



あ……んんん

ズン
ズン

ズン
びっ!
ズン

びっ!

ズン
ズン
ズン



耐え……てっ

耐え……なきや……あ

んんんんん

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッズグッ

ズグッ

ズグッ



グググ

ひびく!!

ひびく!!

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ



いやあつ!

もうイッてる…っ

や…やめてっ!

ズン
ズン
ズン

ズン

いやっ!

ズン
ズン
ズン

ズン

ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン



なんとかしないと...

ギョッ

はやく...

ぐんぐん

ズズズ



ぐんぐん

あああっ!

くっ!

ぐんぐん

ぐんぐん



し...舌がつ

い...い...い

アブググ

ズグググ



やめ…てえっ

んぐらうっ!

アハ

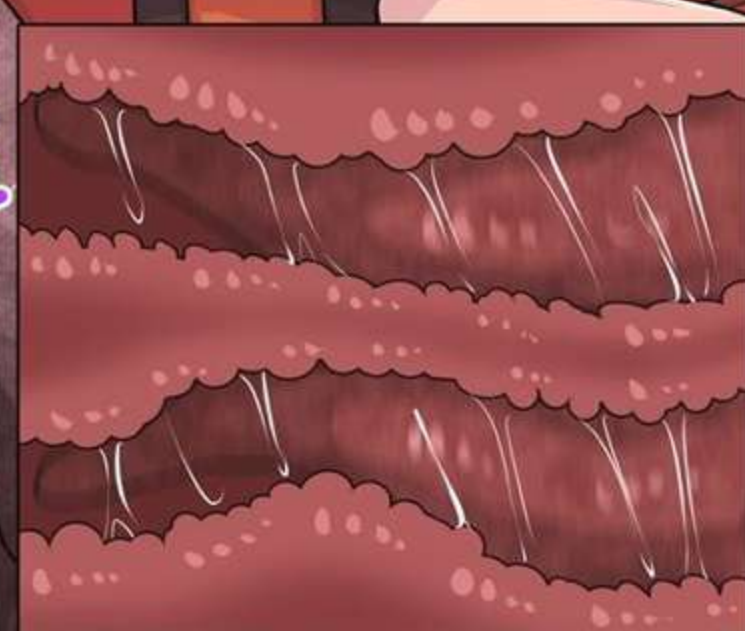
アハ

グハ

グハ

グハ

グハ





ブツブツ

あうあうっ!

ブツブツ

いやあっ!

ブツブツ

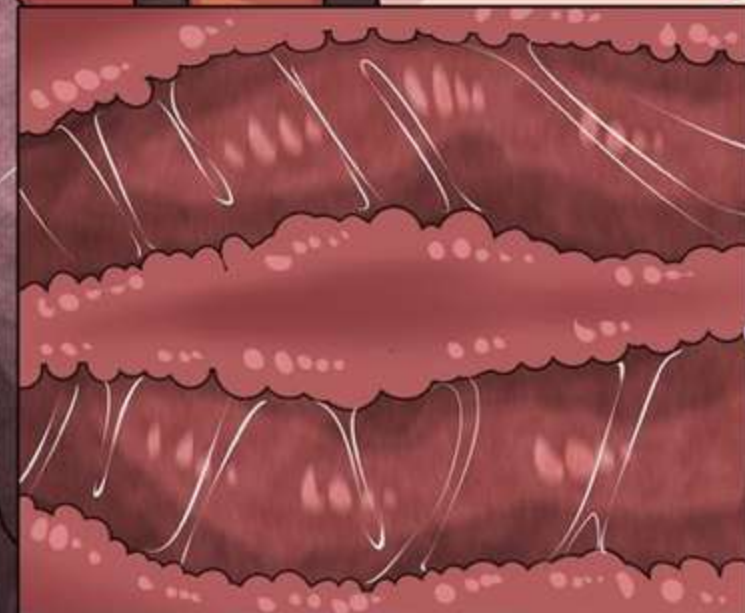
ブツブツ

ブツブツ

ブツブツ

ブツブツ

ブツブツ



ブツブツ



もう...やめて...て

アッ
アッ
ズン

こんなこと...

グッ
グッ
ズン

ズン

ズン

ウネ

ウネ

うんっ…

皆が無事なら…

私は…っ

ぷん
ぷん

妖魔に囚われてからどれだけの時間が経過したのかわからなかった。どれだけの時間が経とうと、練師はその強靱な精神力で責めを耐え抜いた。そしてそれが、どうやら妖魔の目的を変化させたらしい。妖魔は練師をもはや兵士にしようとはしていないかった。練師はそれを知る由もなく、ただひたすらにこの地獄を耐えるしかなかった。



フッフッ

モゾ

な…何っ!?

耳の中…

ズンザン



…えっ!?

か…身体が…

なんでっ

レレレレ

グググ

レレレレ

ククク
ククク



んぐっ!

グッ

んぐっ!

グッ



いやああっ!

アキユ

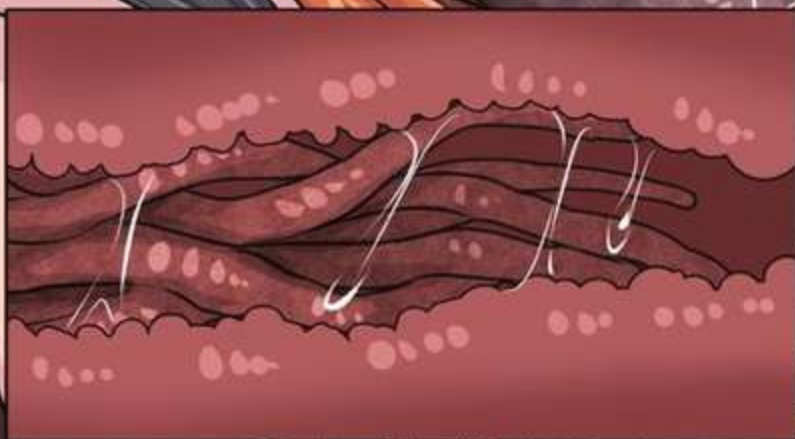
ゼンツ

アキユ

入ってこないでっ!

アキユ
アキユ

アキユ
アキユ





グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ

んむらうらうら!!

グキョ

むぐっ!

ガホッ

グキョ
グキョ

グキョ

んんんっ!

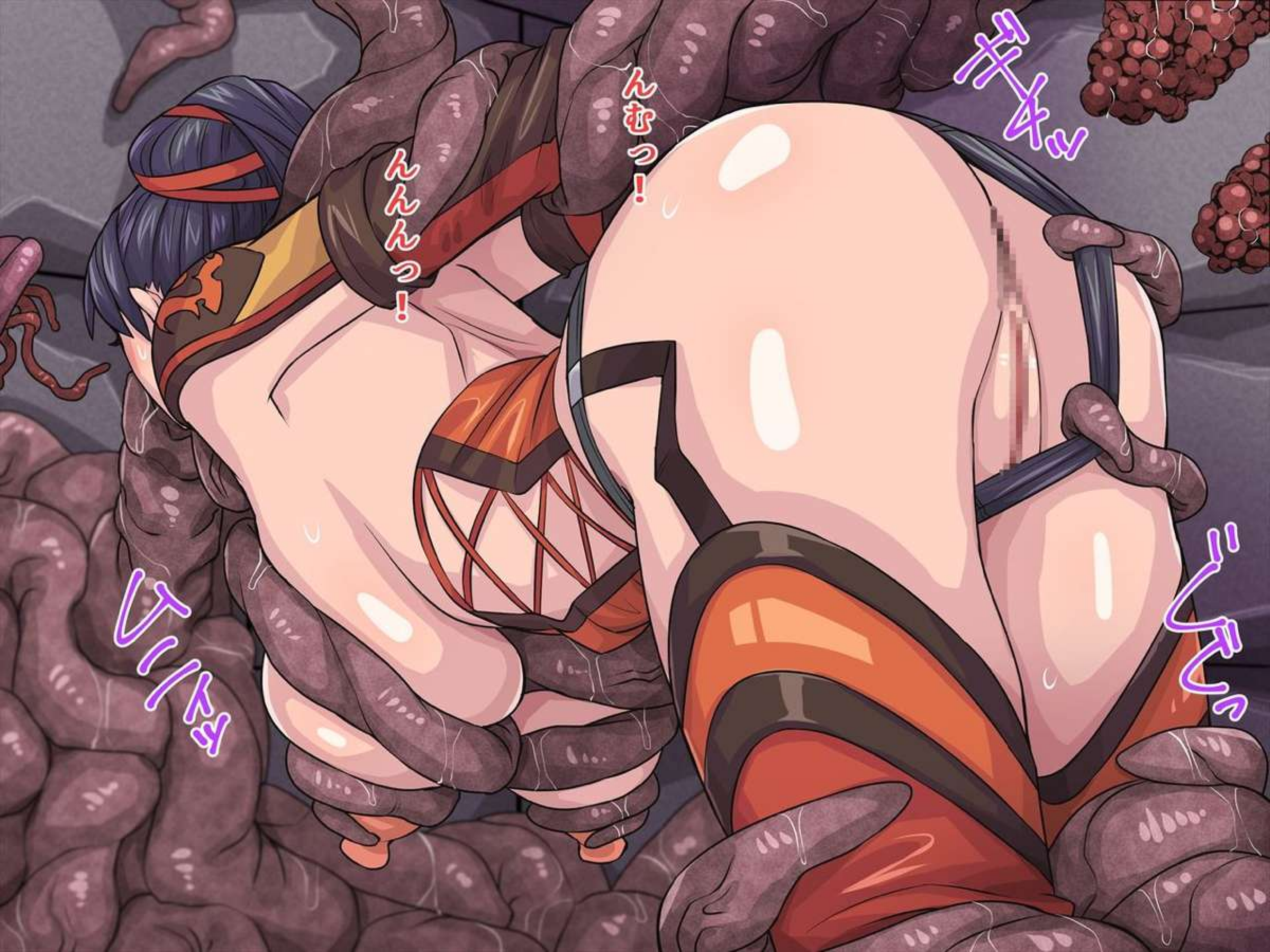
ビクッ
ビクッ
ビクッ

グニャグニャ

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ





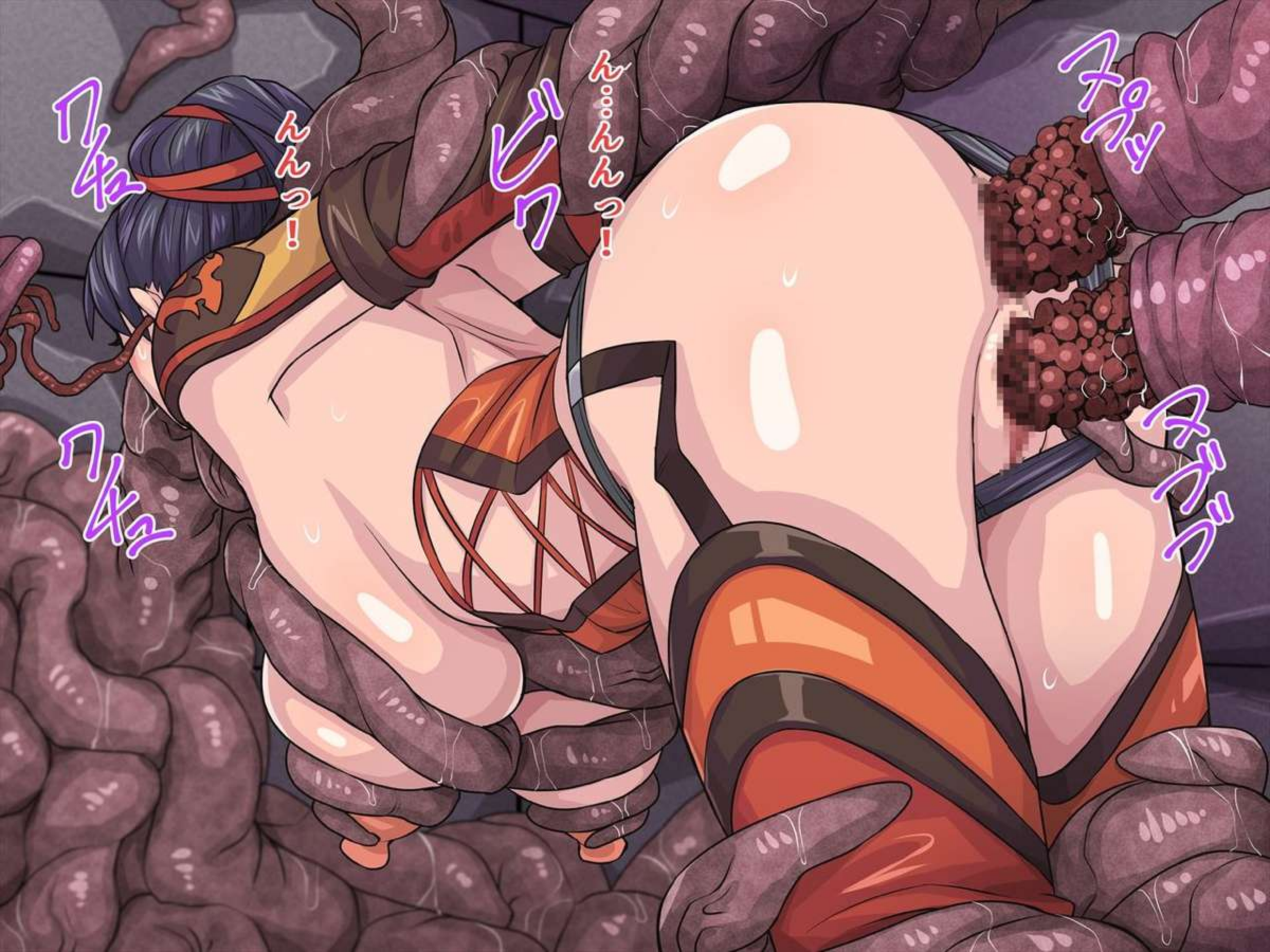
んむっ!

んんっ!

んんっ!

んんっ!

んんっ!



んっ!

んっ!

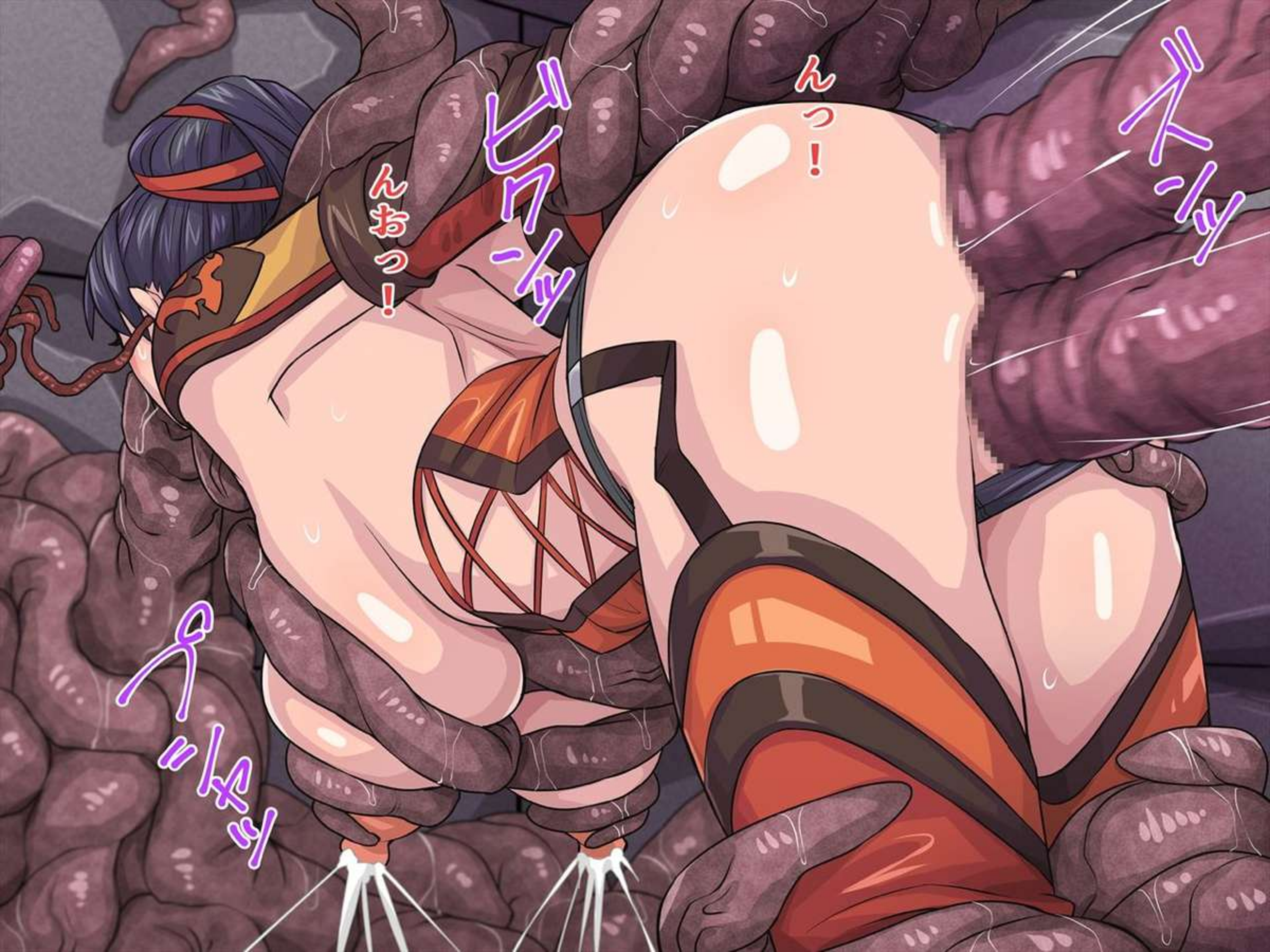
んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!



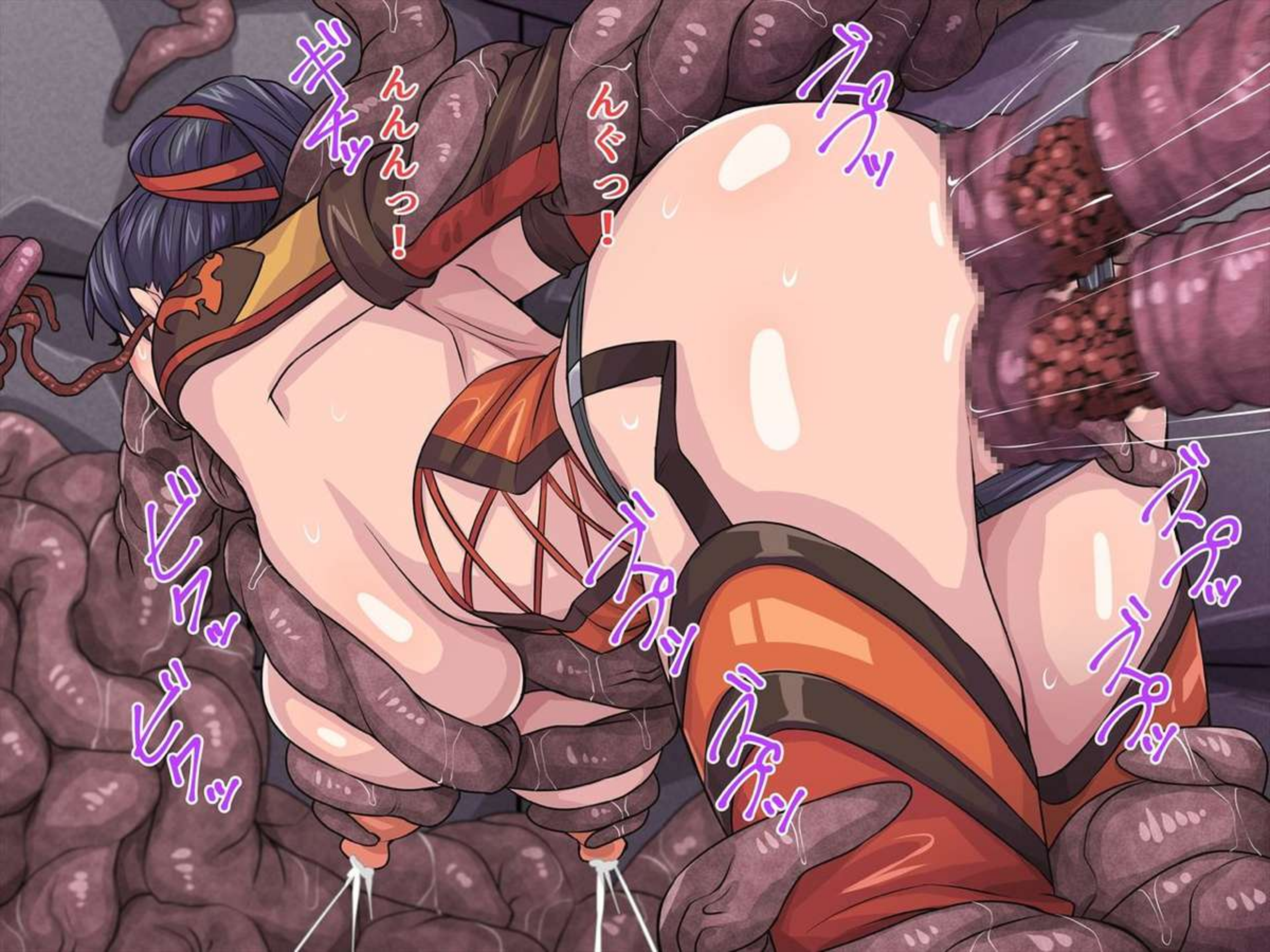
んおっ!

ビク
ーッ

んっ!

ズ
ーッ

ズ
ーッ



ジッ
ジッ

んんんっ!

んぐっ!

ジッ
ジッ

ジッ
ジッ

ジッ
ジッ

ジッ
ジッ

ジッ
ジッ



んんんんん

んんんんん

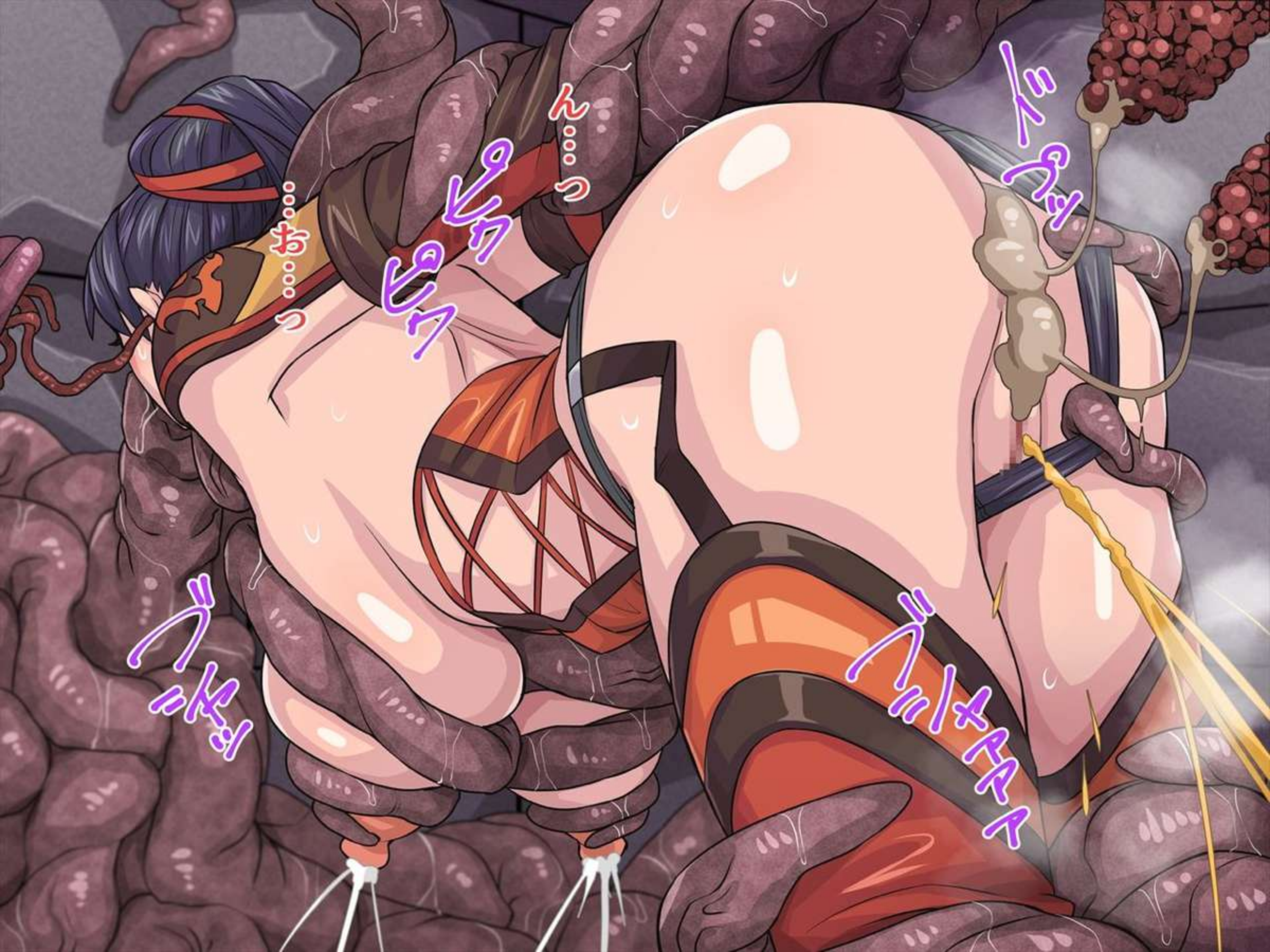
んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん



おっ...
おっ...

ん...
ん...

ぐ...
ぐ...

ぐ...
ぐ...

ぐ...
ぐ...

ぐ...
ぐ...



私は負けないわ!

こんな卑劣な奴らに!

ズズッ

ギィ



ギョ

びび

ひっ

また頭の中と…っ

フッ

ゼクッ



やめなさいっ!

やめ...っ

ああっ!

ズッ
ズッ
ズッ

ワッ
ワッ
ワッ

ズッ
ズッ
ズッ

ガッ
ガッ
ガッ



グググ
グググ

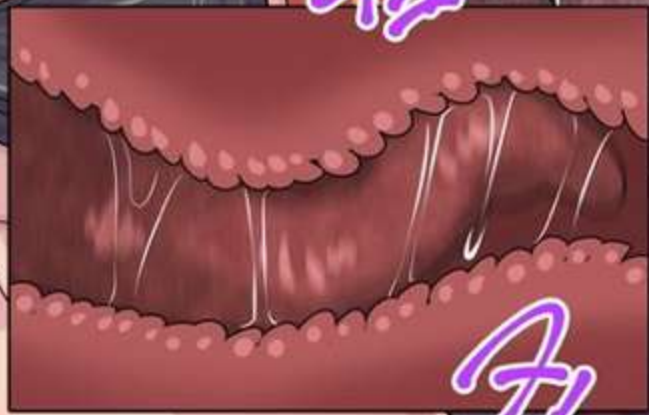
いっいっ!

ひっ!

んんんっ!

グググ

グググ
グググ



ググ

ググ





んあああっ!

あああっ!

あああっ!

ガク
ザク

ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ



ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ

ズク
ズク
ズク
ズク
ズク
ズク
ズク
ズク

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ



あ...あ...あ...

ゼクッ
ゼクッ
ゼクッ

あ...

ゼクッ
ゼクッ
ゼクッ

ヒャッ
ヒャッ
ヒャッ

ヒャッ
ヒャッ
ヒャッ

ヒャッ
ヒャッ
ヒャッ

ヒャッ
ヒャッ
ヒャッ



絶対に諦めないわ!

ギョ

絶対に……っ

ズズズ

じゅ



モブ
モブ

私は……っ

頭を弄られたって……

ぐっ
ぐっ



んっ!んっ!んっ!

んっ!
んっ!
んっ!

んっ!

ガン
ガン



んんんんっ!

ガクガク

んんんんんんんん!

グググ
グググ

ストゥストゥ

グググ
グググ

グググ
グググ

ストゥストゥ



ズン
ズン
ズン

あああつ!

ああつ!

ズン
ズン
ズン

うあああつ!

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン



ズン
ズン
ズン

んんんんっ!

ズン
ズン
ズン

んんんんっ!
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン



ギョ

あきらめないわ!

絶対に

私は……っ

ズズッ





あっ

げんげん

げんげん

げんげん

げんげん

が...っ



ズ
グ
ン

グ
グ
グ

は
っ

グ
グ
グ

ん
あ
っ

ズ
グ
ン

あ
っ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

ズ
グ
ン



グググ

ググ

ググ

グググ
グググ

グググ
グググ

グググ
グググ

グググ
グググ
グググ

グググ

ひっ

おっ

いっ



あぁあっ!
あぁあっ!
あぁあっ!

びんびん
びんびん
びんびん

あ...っ

はっ
はっ
はっ

びんびん
びんびん
びんびん

びんびん
びんびん
びんびん

びんびん
びんびん
びんびん



クキ
クキ

ハア
ハア

あ……っ

……は

ビク
ビク

……あ

グ
ヒヤッ
ヒヤ



誰かが…

アハ

きつと…

アハ

アハ

アハ

助け…

アハ
アハ

自分が捕らえられてからどれだけの時間が経過したのか、練師自身はもうそれを考えることもできない。身体の内を奪われ、しかし練師の強靭な精神によって意識だけは残っていた。いつか脱出する機会が訪れるかもしれない、いつか仲間たちが助けに来るかもしれない。彼女はいつでも希望だけは捨てずいたのだ。練師の高潔で強靭な精神、それこそが彼女を地獄に縛り続けていることに、彼女はいつまでも気付くことはできなかった。



誰...か...あ

助け...て

ス...ス...ス

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

END

キキキ

観念しなっ！

くっく

アア

ここまでなの…っ

魔王オロチにより作り出された世界で、練師たちは妖魔軍と戦いを続けていた。援軍は望めず、敵の追撃を逃れるだけで精一杯の惨状。苦しい状態での敗走が続き、これ以上は逃げ切れないと判断した練師は悲壮な決意を固め、敵を引き付けるために一人敵前に飛び出した。練師は仲間のためならば、自分の守る姫のためならば命を投げ出す覚悟を持っていた。

激しい戦いが始まり、練師の狙い通りに仲間たちは逃がすことができた。しかし、一人での戦いにも限界はすぐに訪れ、彼女は捕らえられてしまう。

「ムル
ムル」

「……はっ
はっ」

「ムル
ムル」

「しっ
しっ」

「ズ
ズ」

私……捕まって……

捕らえられた練師は狭い牢獄に繋が
れていた。
冷たい石壁に囲まれ、その壁には何やら
生々しい肉のような、ウロコをはぎ取られ
た蛇のような物体が蠢いている。
そしてその触手とも呼べるものが練師
の手足を拘束しているのだ。
妖魔が自分をどうしようとしているの
か練師には見当もつかなかったが、良くな
い結末が待っているであろうことだけは
理解していた。



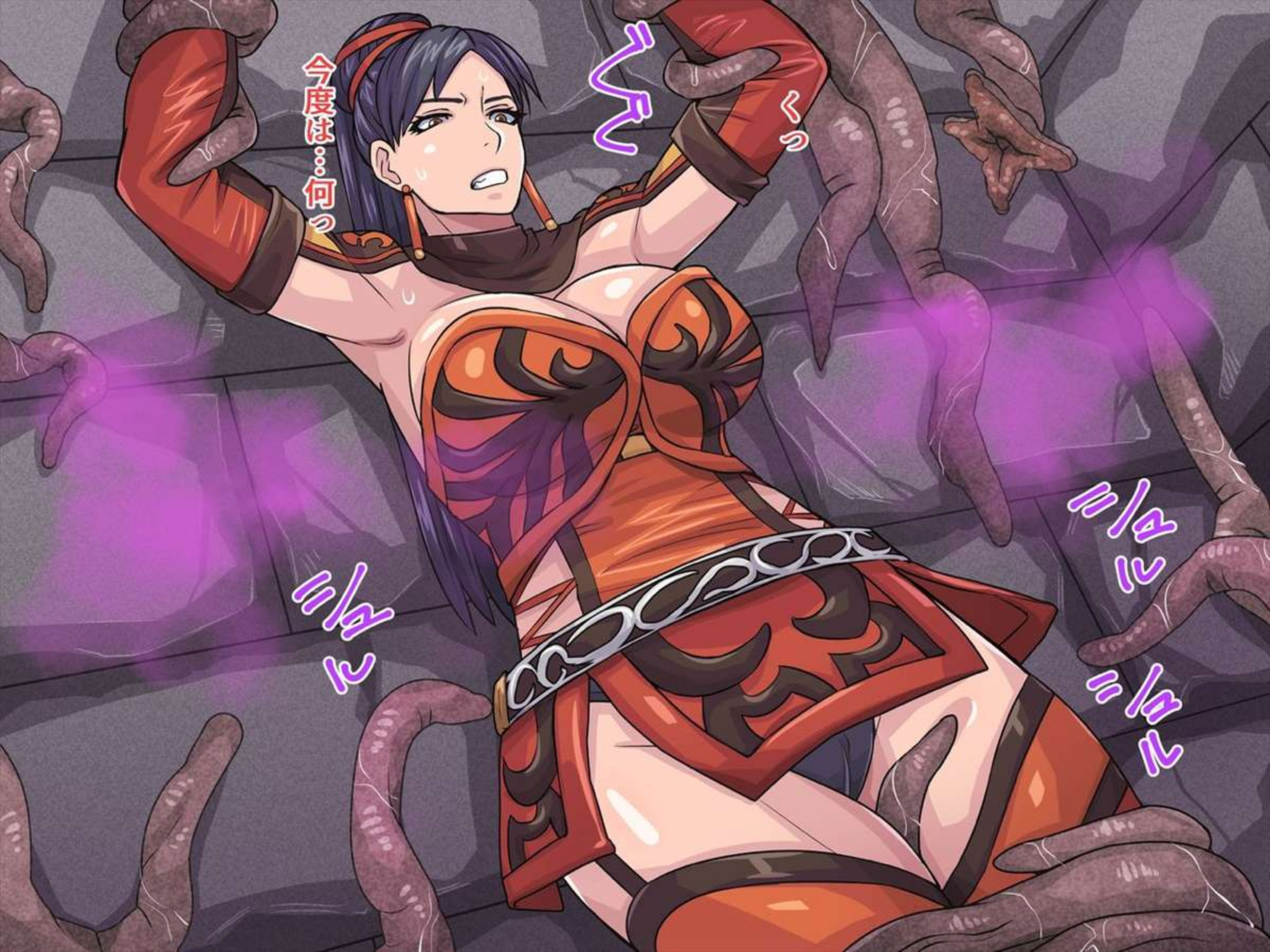
瘴気が…っ!

グググ

な…何っ!?

ググググググ

ググ



今度は…何っ

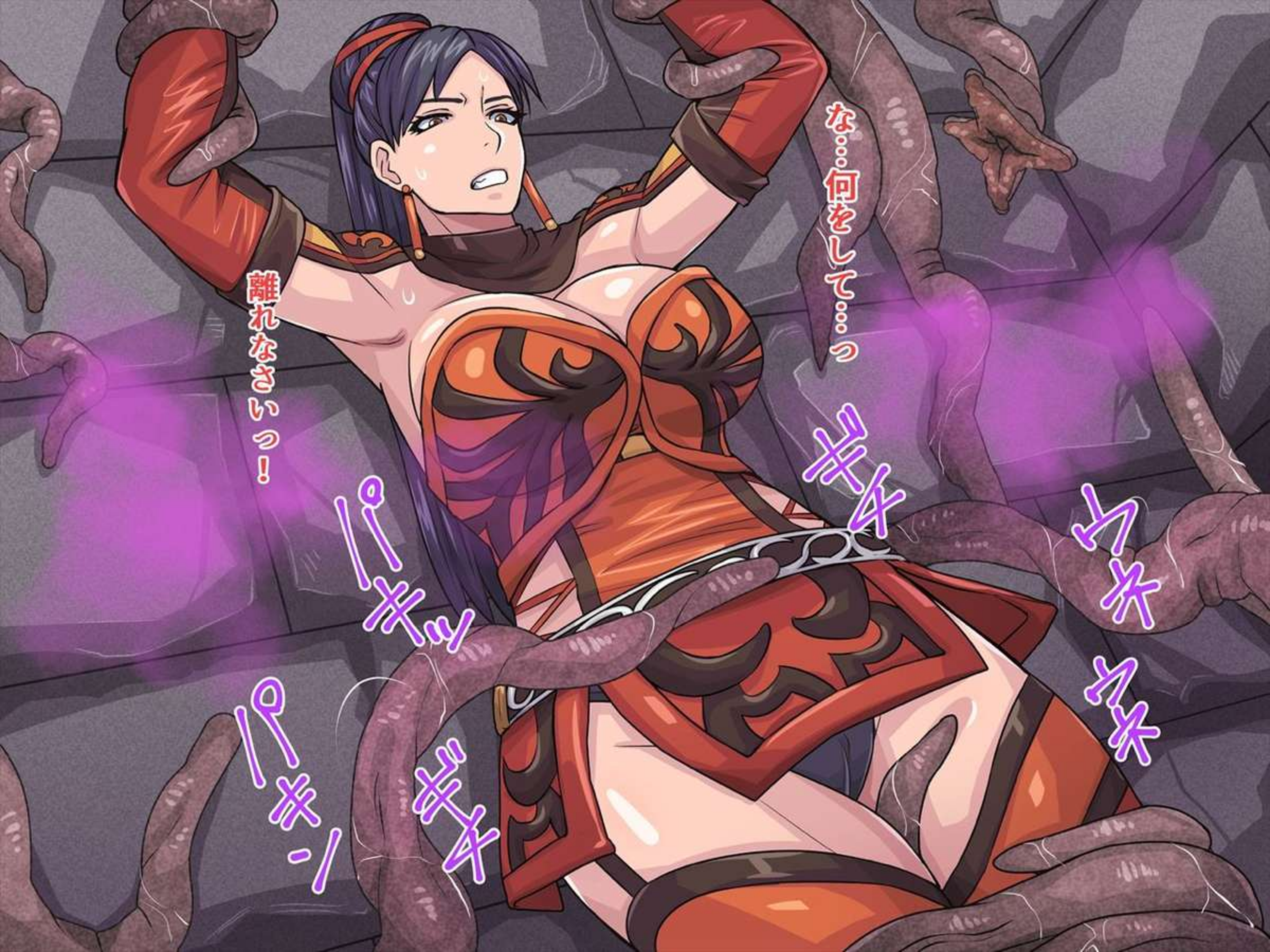
ぐわ

くっ

ぐわ

ぐわ

ぐわ



な…何を…して…っ

離れなさいっ！

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

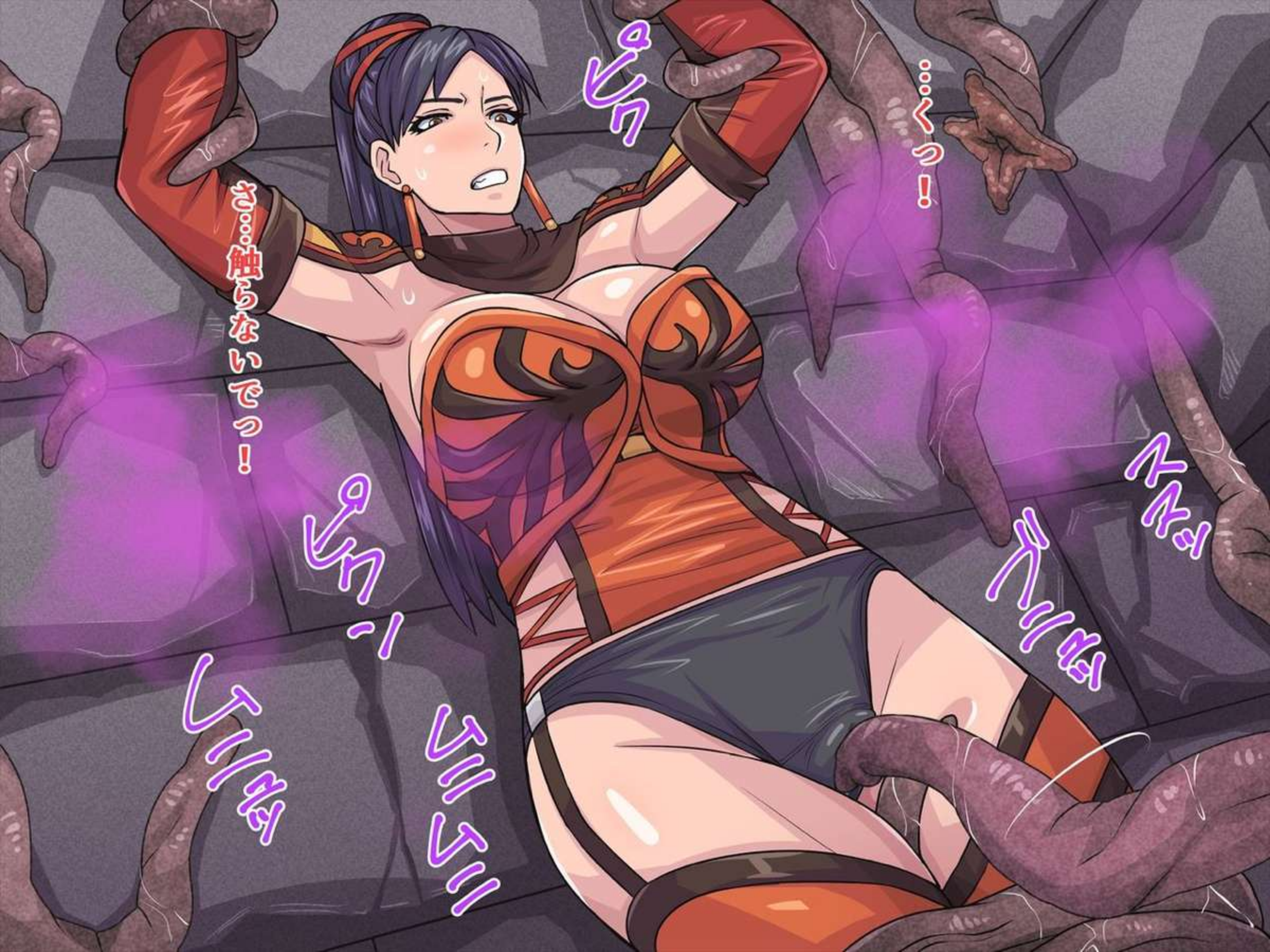


何を
して
るのっ!
!

ズ
ズ
ズ

な
...
っ
!?

ズ
ズ
ズ



さ...触らないでっ!

クワッ

...くっ!...

クワッ

クワッ

クワッ

グワッ

グワッ



身体…がっ

???

何か…おかしい…

この瘴気の影響…なの…?

ンンンン

トロト



なんて力なのっ

私の力では…っ

らっ
っ

ぢゅっ
ぢゅっ



触らないでっ

んんんん

グニッ
グニッ

グ
グ

グ
グ



動かないでっ

う...ああっ

ハア
ハア

ビク

やめ...

ズ
ズ
ズ

ア
ア
ア



ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

くっくっ!

ツツツ

ツツツ



ズレズレ

や...めっ

ズレズレ

ズレズレ

んんんっ!

ズレズレ

ズレズレ

ズレズレ

ズレズレ



んんん!

んんん
ズンズン

ズンズンズン

ズンズン

ズンズンズン

ズンズン

ズンズン



う…ああ…っ

ビク
ビク
ツ

ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ

と…止まらな…っ

なんで…っ

こんな…こと…

ハ
ハ
ハ



…こんな方法で

屈服させようなんてっ

触手に組み付かれた時、練師は拷問の
ようなものを覚悟した。
自分を殺せた場面であつたにも関わ
らず、わざわざ自分を捕らえたことには
目的があるはずだとの考えからだ。
牢獄の外にいた妖魔が簡潔に、そして彼
女をあざ笑うかのようにその目的を告げ
た。
妖魔の目的とは、練師たちのような強い
力を有する人間を傀儡にし、妖魔軍の兵力
を強化しようというのである。
それを聞かされた練師は、自分の判断は
間違つていたかもしれないと、そう思わず
にはいられなかった。

ぐ
ぐ

なんて卑劣なっ！

い
ぢ



触らないでっ！

アアッ

うげ

ごご

ごご



んんん

アッアッアッ

アッアッ

は…入って…

やめ…なさい…っ！

アッアッアッ



んんんっ!

ズズズズ

奥...にっ

んんんっ

ズズズズ

んんんっ

ズズズズ

ズズズズ



アッ
アッ
アッ

い...いやっ!
ズク
ズク

ズク

くっ!
ズク

ズク
ズク



んんんっ!

ビクビク

だ...め...

グチュ

ま...待って

グチュ

んんんっ!

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ



ズン
ズン
ズン

あ……う……う

ズン
ズン
ズン

きりー!

ズン
ズン
ズン

んっ!
ズン
ズン



くっ

どうして...

こんな酷いことが

できるの...

ズグツ
ズグツ
ズグツ

ズ
ズ
ズ

ア
ア
ア
ア
ア
ア

ア
ア



放しなさいっ！

ハァハァ

ヒュー

ジュウ

ヒュー



ぐぐぐ

噛みついて…っ

カク

な…何っ!?

ギ



熱…いっ

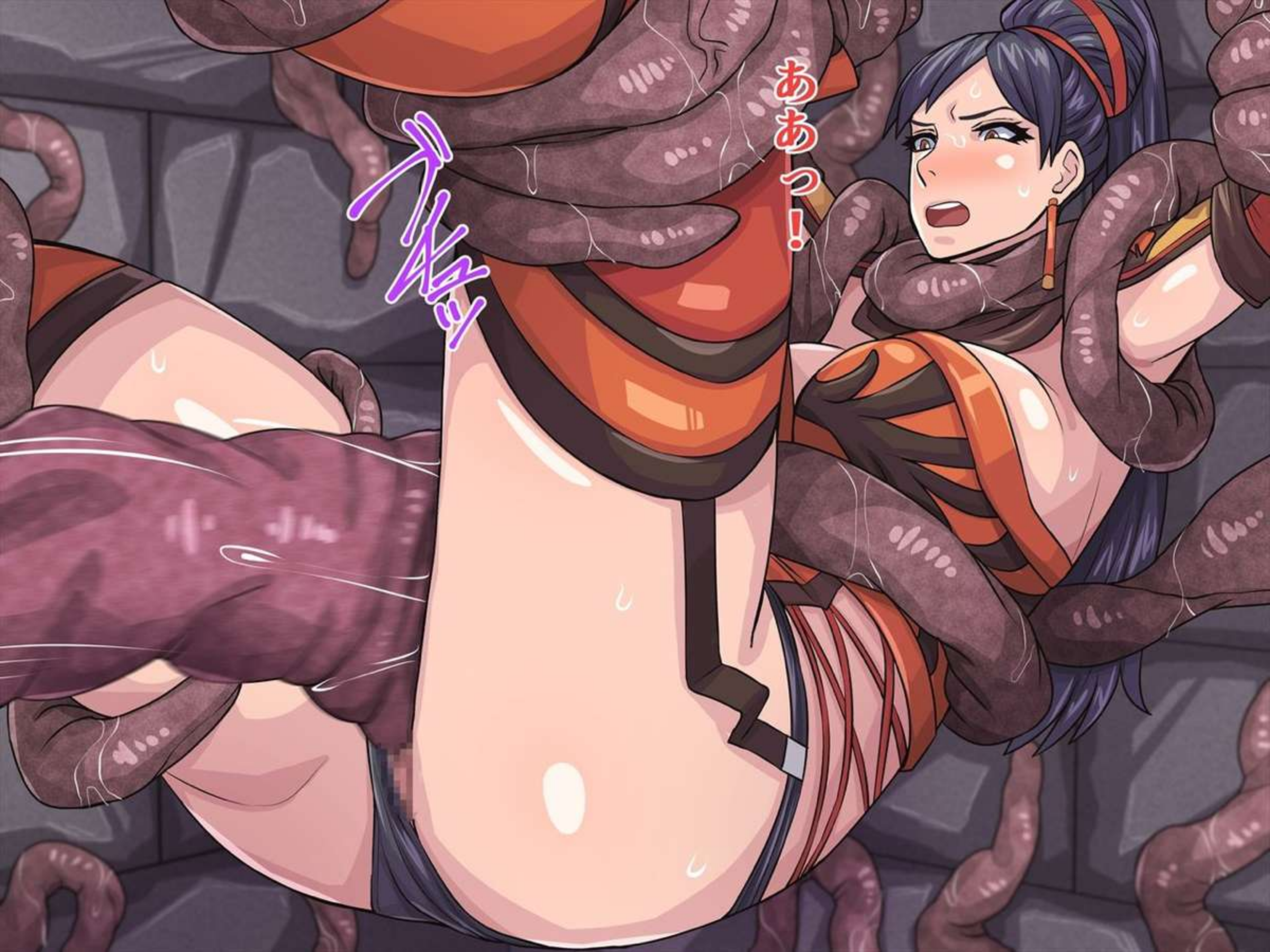
か…身体が…

何…っ

ぷるぷる

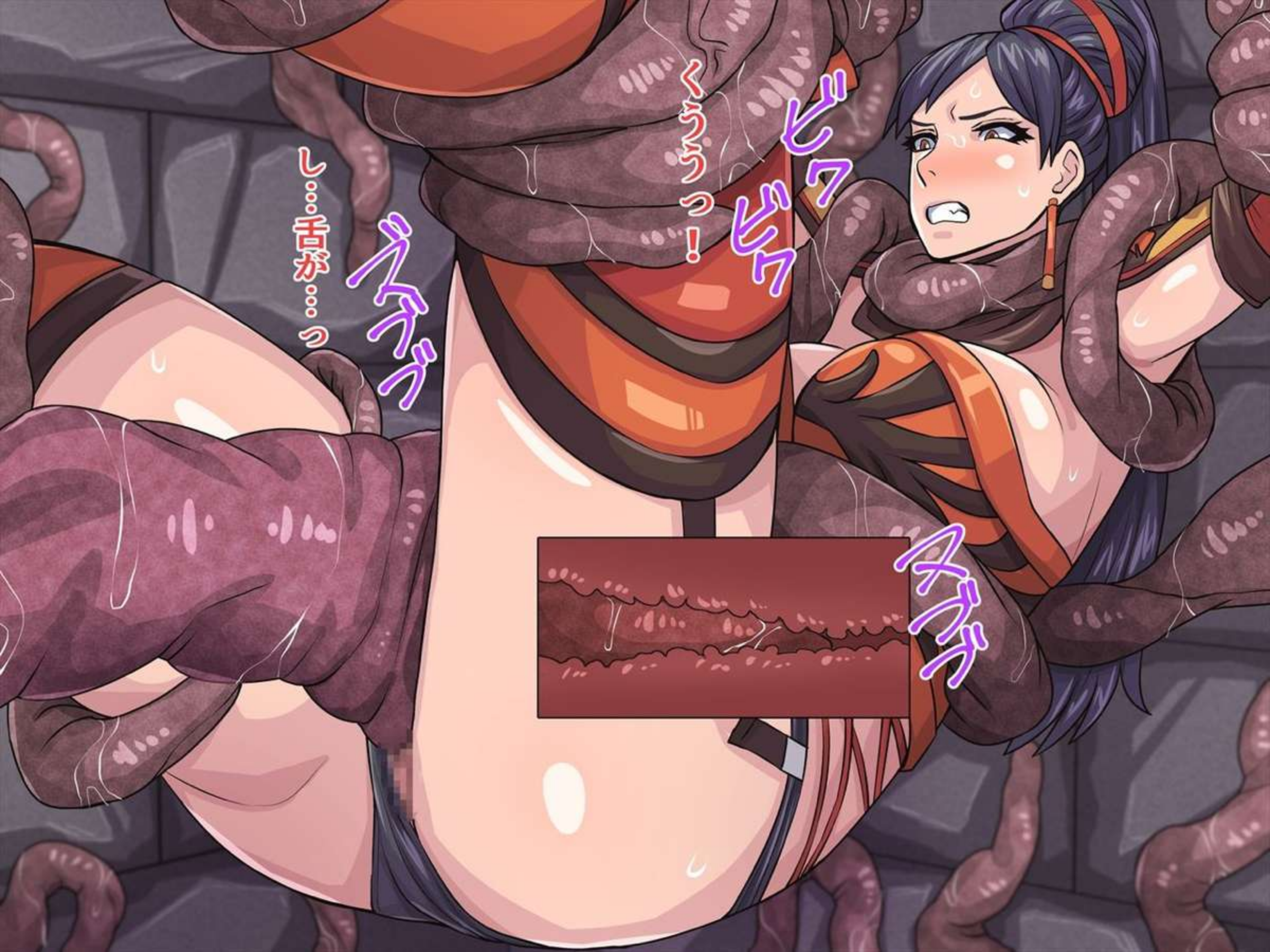
うっっ!!?

ハヤハヤ



ああっ!

グググッ

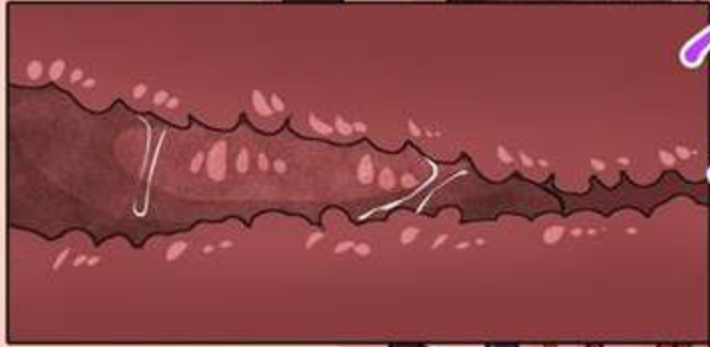


し…舌が…っ

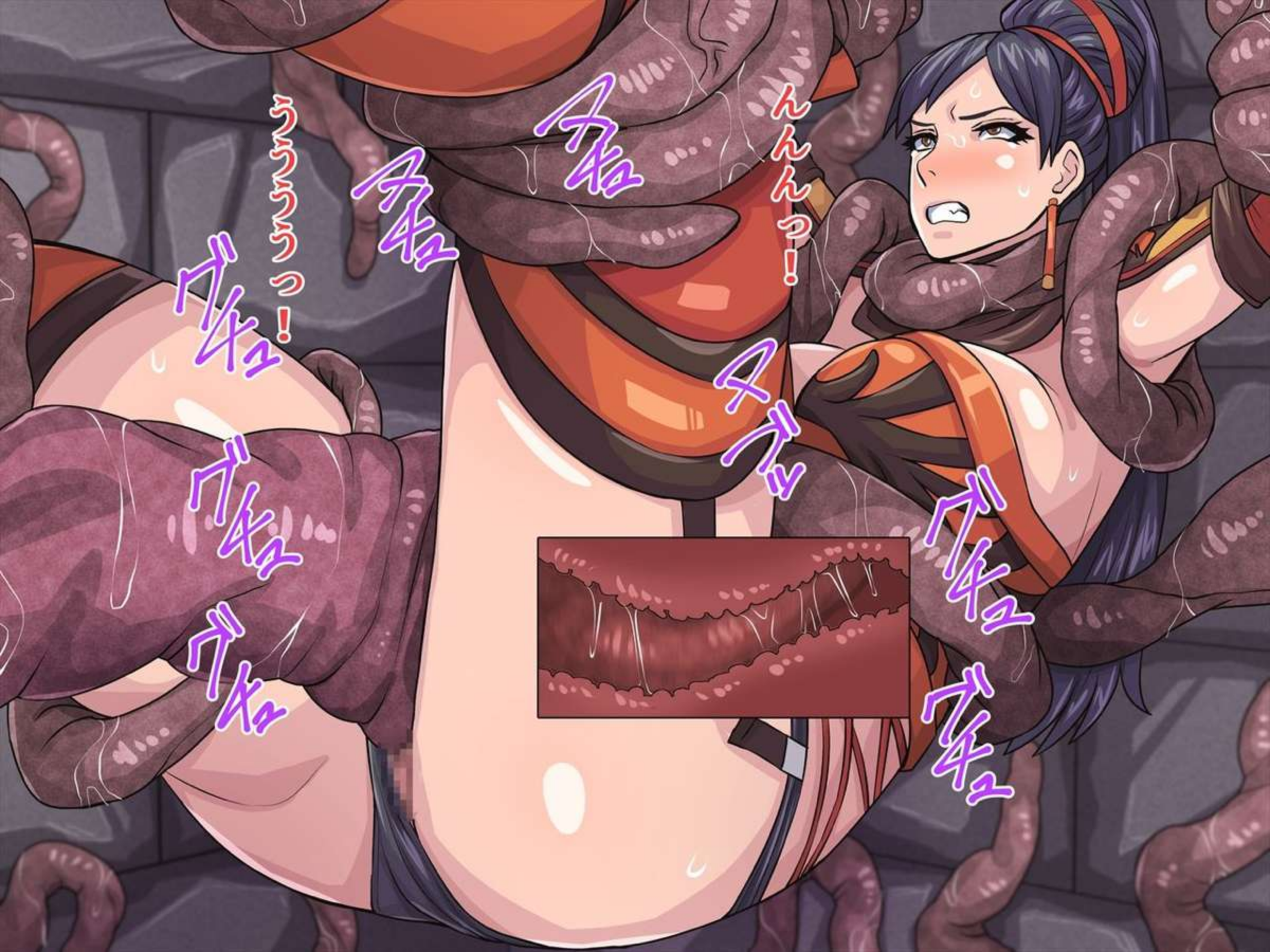
ズズズズ

〜んんんん！

ズズズズ



ズズズズ



んんっ!

アキ

アキ

ググ

ググ

ググ

アキ

ググ

ググ





う…動かないでっ!

いやっ!

ひ…いっ!

ズン
ズン
ズン

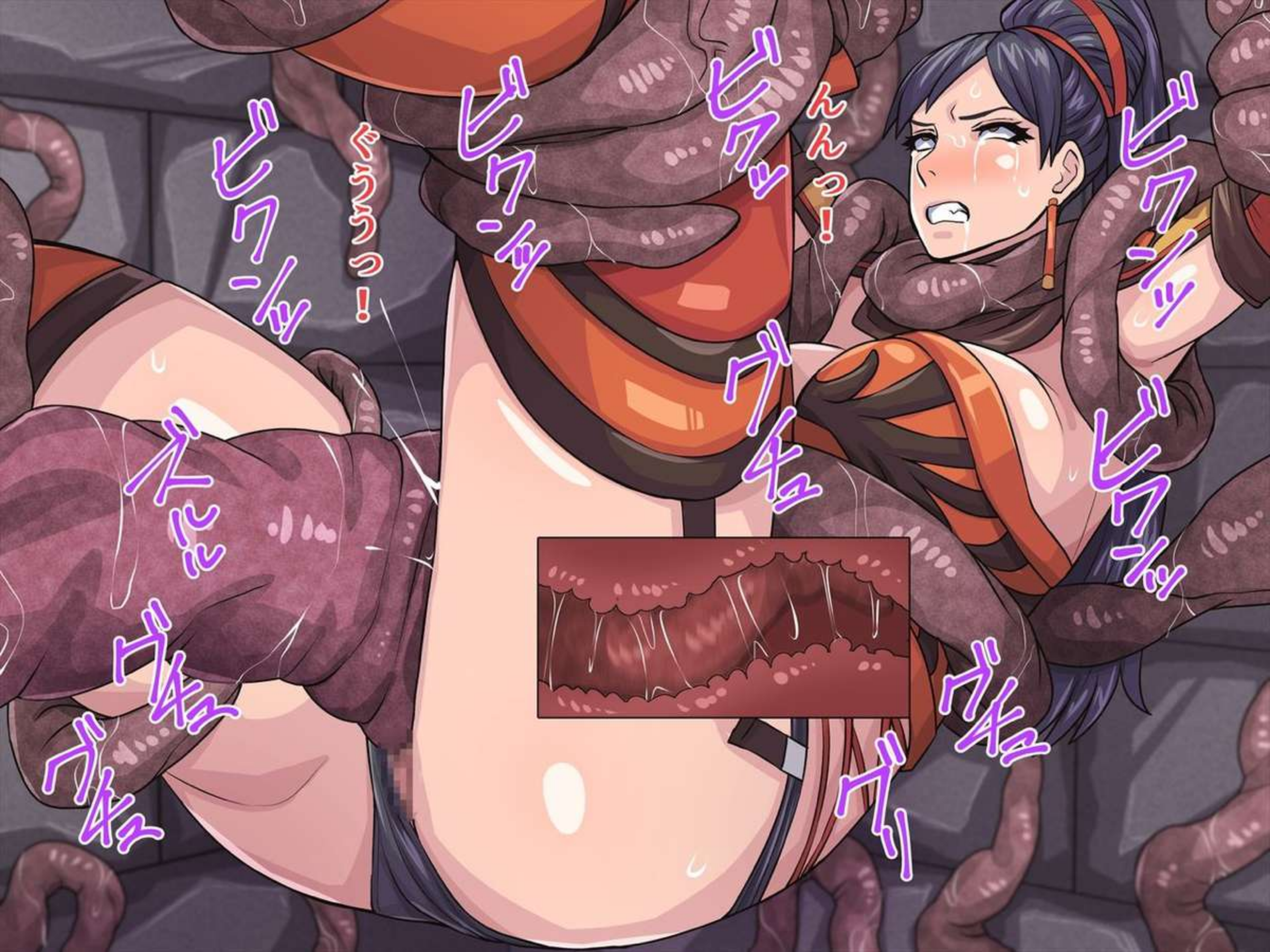
グキョ

アキ

グキョ



アキ
アキ



ビクビク

んんん!

ビクビク

ビクビク

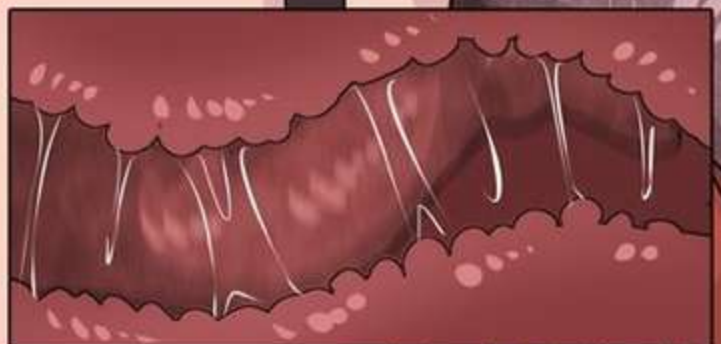
んんん!

ビクビク

ゴク

ビクビク

ゴク



ゴク

ゴク

ゴク



抵抗…できない…

い…いやっ

アァァァ

アァァ

アァァ

アァ



また毒を!

うんうん...

うん

うん

うん



逃げられないっ

くっ!
くっ!

どいっ

かっ

かっ



身体が言うことときかない...

で...出さ...い...

んんっ!

びく

びく

んんっ!

びく



負けていられないわ!

こんな奴らに...

ぐっ

ぐっ

グググ

ぐっ



なっ!?

ゼクッ

お…お尻に…っ

何考えてるの!

ごいっ

アグッ



ギョッ

ちゅー!

ジュン

びゅー!

ズン

ズン



やめ...てっ!

何...をっ

なっ
グキョ

グキョ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

グキョ
グキョ

グキョ



くっ

放し…なさいっ!

いっせー!

ぎゅ

ズズズズ

ギョ



何を...

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

モグモグ



ああっ!

ビクン

ズルルル

ズクズク

やめ...っ

ズルルル

ズクズク



んんんんん！

ズムズム

グキ
グキ
グキ

ズムズム

んんん！

ズムズム

ズムズム

ズムズム



ズクンッ

ああっ!

擦つちや...

やめ...っ

ズクンッ

ズクンッ

ズクンッ

ズクンッ



う……ああっ

や……っ

やめ……てっ！

ああああっ！

グググ

グググ

グググ

グググ



どれだけ……っ

ギョッ

私を弄べば……

ガッガッ

蛇のような触手から注入される毒は確
実に練師の身体を蝕んだ。
戦場に出ているために痛みへの慣れこそあつたが、性的な快楽への慣れは鍛えようが無いし、毒が使われているとあれば尚更だつた。
そして精神を破壊し、妖術による洗脳を施すつもりなのだ。

品行方正に生きてきた練師にとって、愛する人以外との性的な接触は忌避するものだった。
それ故に今の状況は屈辱以外の何物でも無かつた。
しかし、仲間たちの無事を思えばこそ練師は耐えられる。彼女はそういう人間だつた。



ああっ!

やめなさいっ!

がっ

ん

ん



いい加減に...っ

くっ
くっ

くっ!
くっ!

ウネ

ウネ



あ……んんん

ズン
ズン

ズン

びっ!

ズン

びっ!

ズン

ズン

ズン



耐え...てっ

耐え...なきや...あ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ



グググ

ひびく!

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

ひびく!



いやあつ!

もうイッてる…っ

ぽんぽん

や…やめてっ!

ズンズン

ズン

いやっ!

ズンズン
ズンズン

ズンズン

ゴク

ぽんぽん



なんとかしないと……っ

ギィッ

はやく……

んんん

ズズッ



ズキーン

あああつ!

くっ!

ズキーン

ズキーン



し…舌がっ

い…い…

ア…ア…

ズ…ズ…



やめ…てえっ

んぐらうっ!

アハ

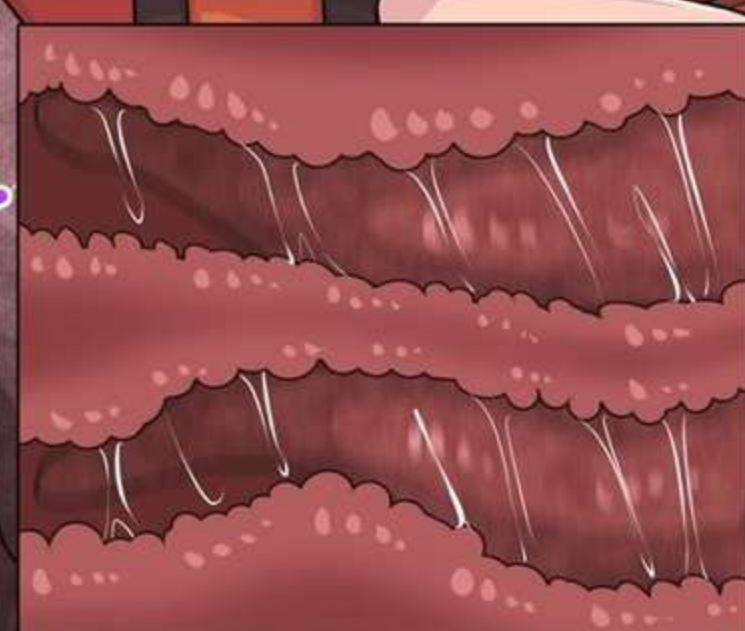
アハ

グハ

グハ

グハ

グハ





グキョー
グキョー
グキョー

あうあうっ!
あうあうっ!

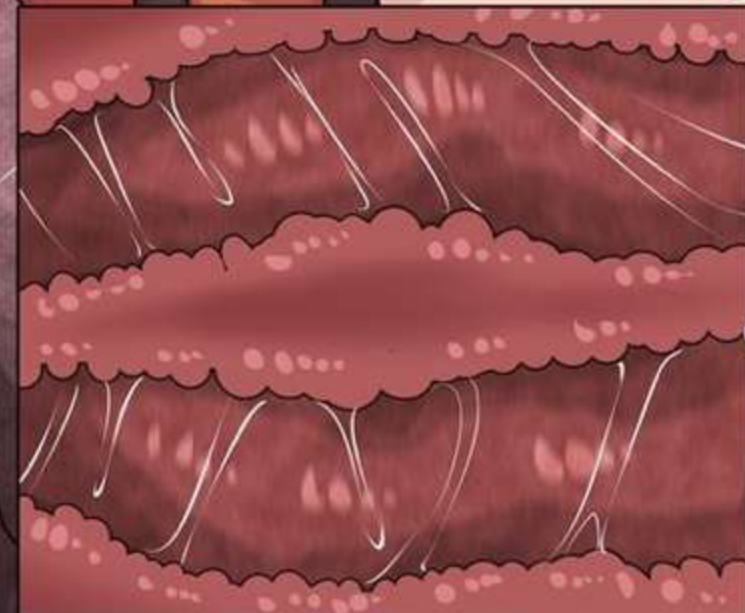
グキョー
グキョー

いやあっ!
いやあっ!

グキョー
グキョー

グキョー
グキョー

グキョー
グキョー
グキョー



グキョー

グキョー
グキョー
グキョー



もう...やめて...て

アッ
アッ
アッ

ズン

こんなこと...っ

グッ
グッ
グッ

ズン

アッ

ウネ

ウネ

うんっ…

皆が無事なら…

私は…っ

ぷん
ぷん

妖魔に囚われてからどれだけの時間が経過したのかわからなかった。どれだけの時間が経とうと、練師はその強靱な精神力で責めを耐え抜いた。そしてそれが、どうやら妖魔の目的を変化させたらしい。妖魔は練師をもはや兵士にしようとはしていないかった。練師はそれを知る由もなく、ただひたすらにこの地獄を耐えるしかなかった。



フッフッ

モゾ

な…何っ!?

耳の中…

ズンザン



…えっ!?

か…身体が…

なんでっ

レレレレ

グググ

レレレレ

ククク
ククク



グワッ
グワッ
グワッ

んぐっ!

グワッ
グワッ
グワッ

んぐっ!



いやああっ!

アキユ

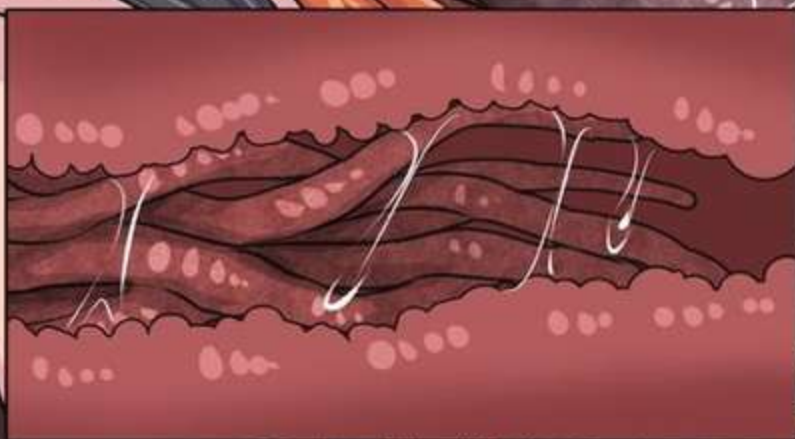
ゼンツ
ゼンツ

アキユ

入ってこないでっ!

アキユ
アキユ

アキユ
アキユ





グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ

んむらうらう!!

グキョ

むぐっ!

ガホッ



グキョ
グキョ

グキョ

ベグニッ
ベグニッ

ん……んっ！

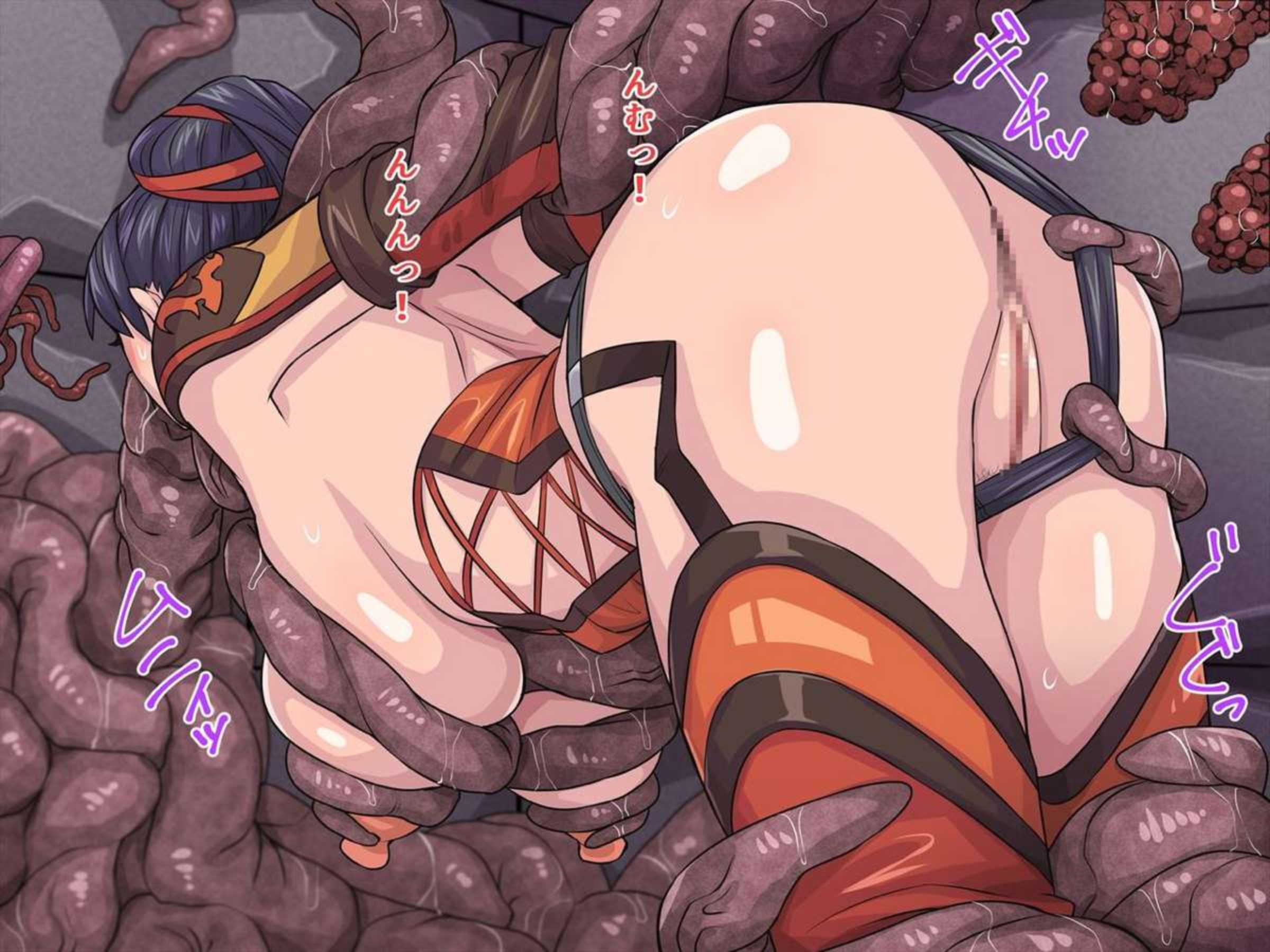
グニッ
グニッ

んんっ！

ベグニ
ベグニ

ベグニ
ベグニ





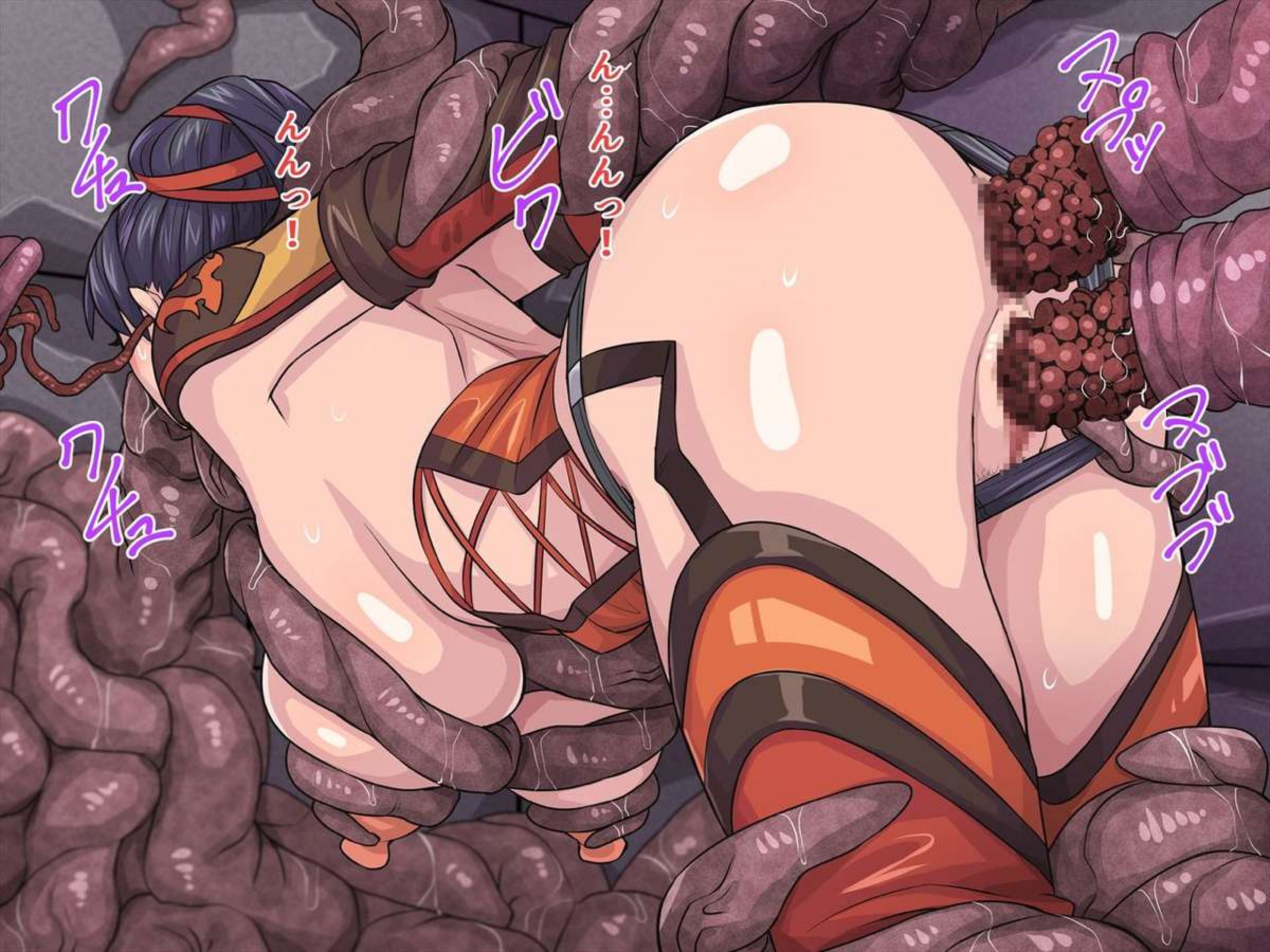
ギョウ

んむっ!

んんんっ!

ムムム

ググ



フク

んんっ!

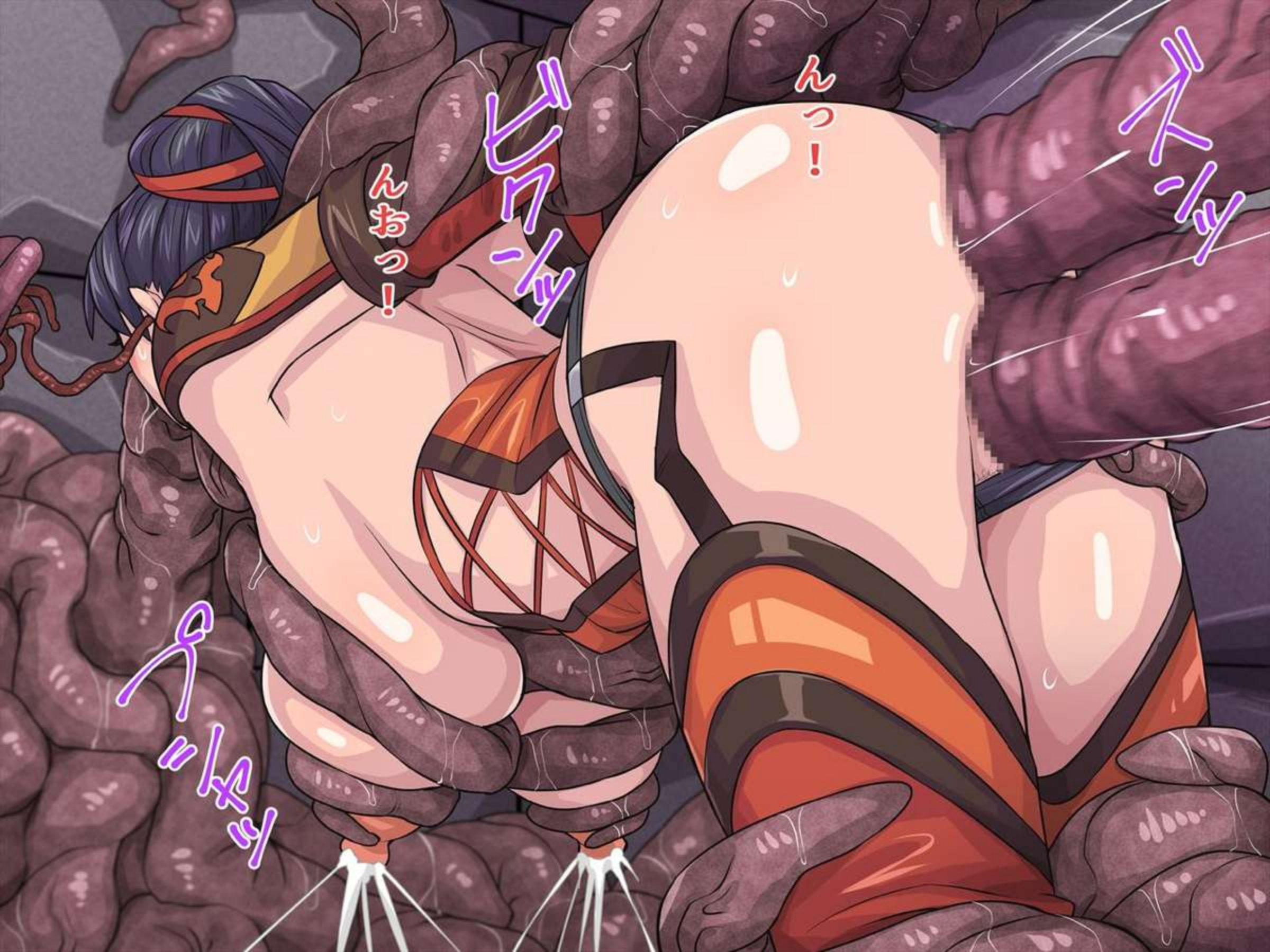
レク

んんんっ!

フク

フク

フク



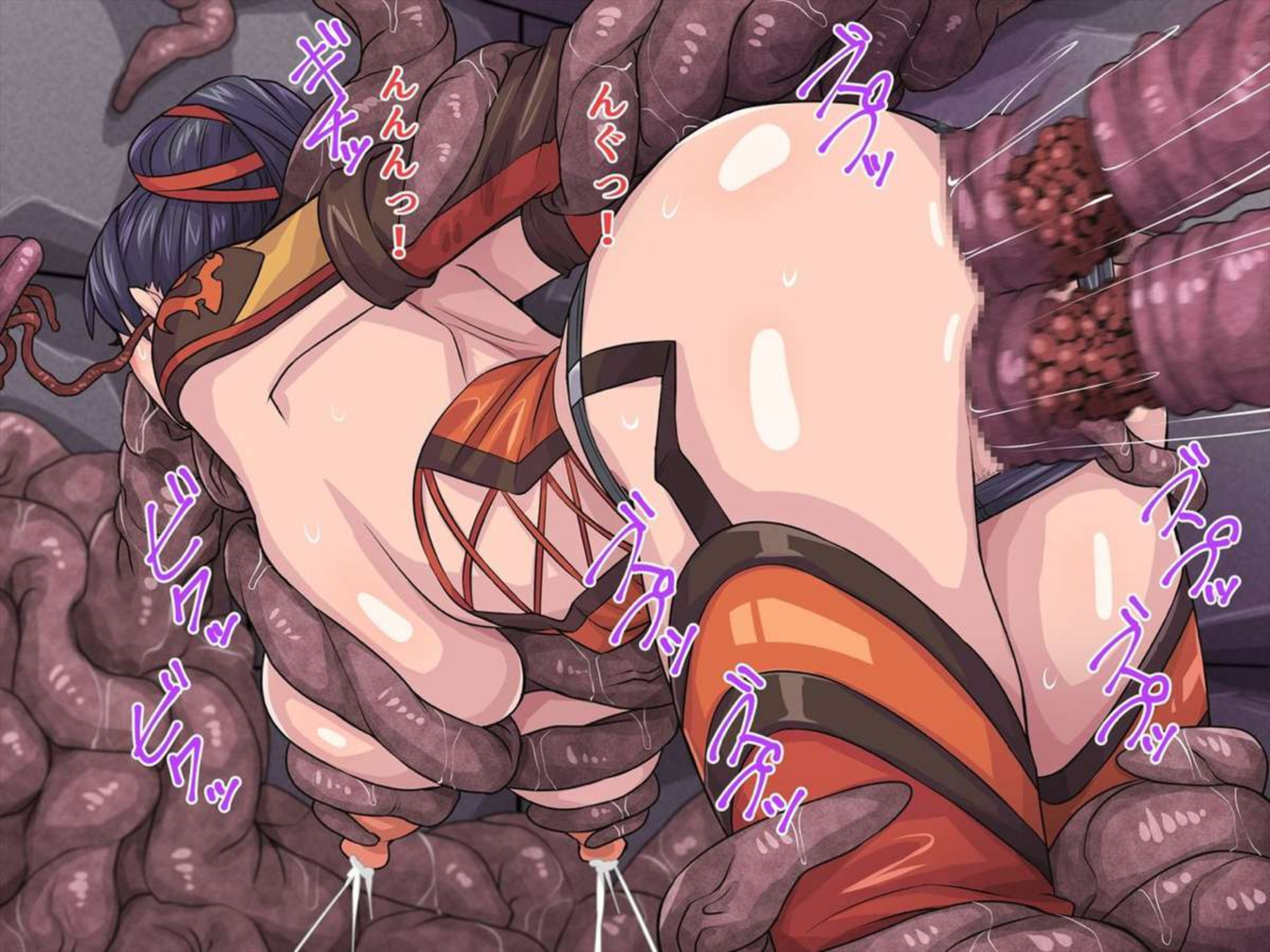
んおっ!

ビ
ク
ッ

ん
っ
!

ス
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ



ググググ

んんんっ!

んぐっ!

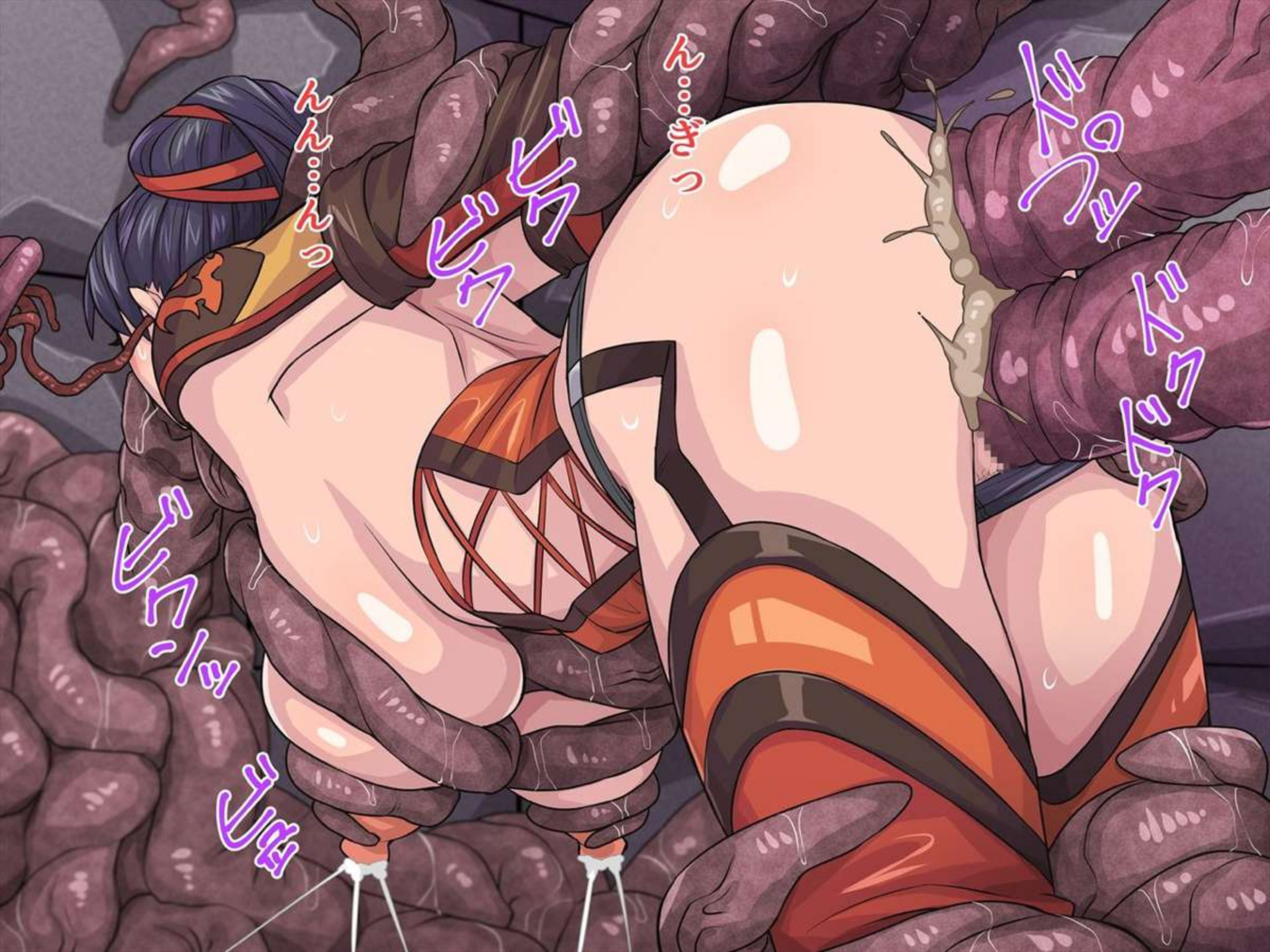
ググ

グググ
グググ

グググ

グググ

グググ
グググ



んんんんんん

んんんんんん

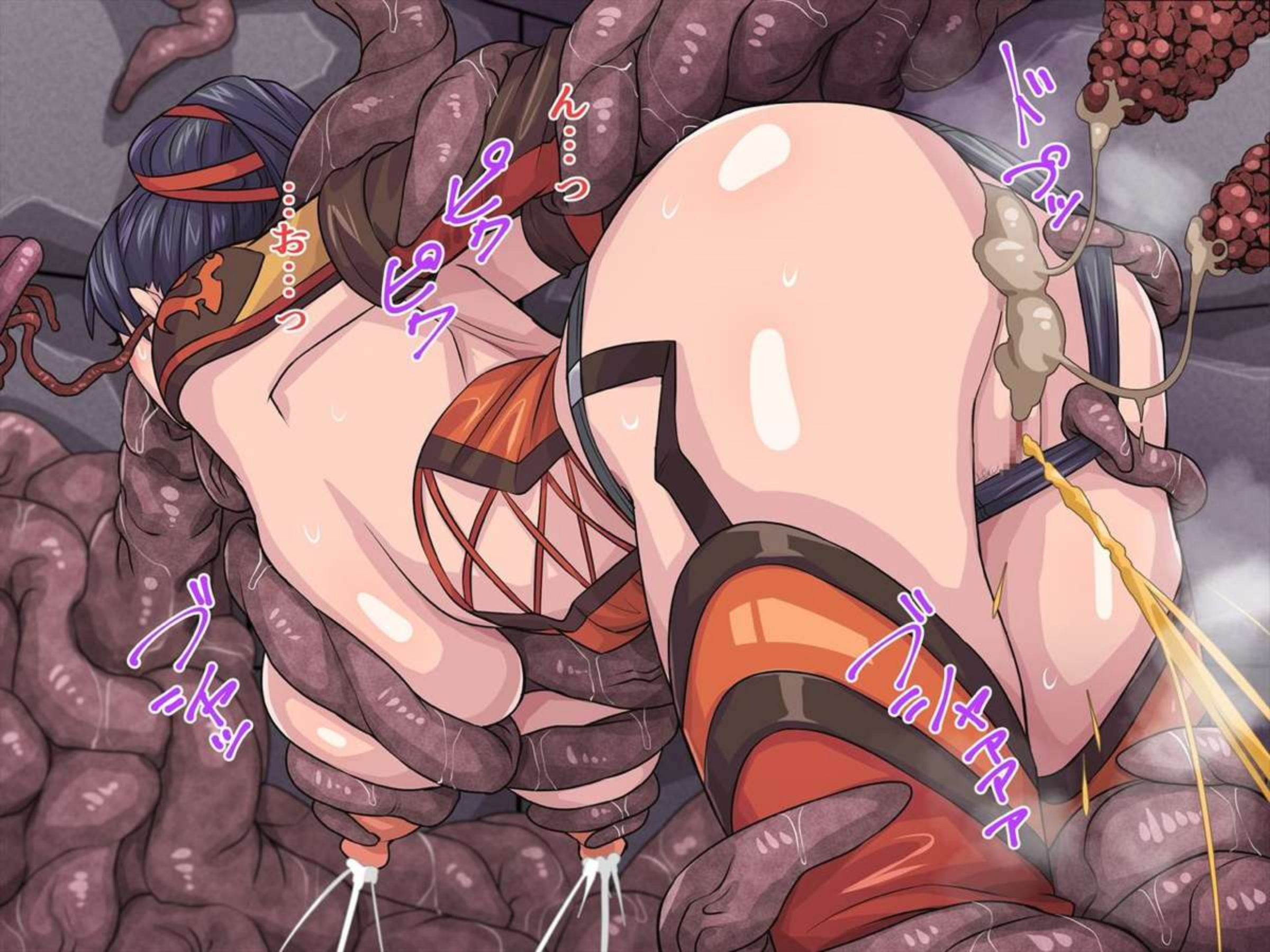
んんんんんん

んんんんんん

んんんんんん

んんんんんん

んんんんんん



おっ...
おっ...

ん...
ん...

ぐ...
ぐ...

ぐ...
ぐ...

ぐ...
ぐ...

ぐ...
ぐ...



私は負けないわ!

こんな卑劣な奴らに!

ズズ

ギ



ギョ

びび

また頭の中と……っ

ひっ

フッ

ズグッ



やめなさいっ!

やめ…っ

ああっ!

ズッ
ズッ
ズッ

ワッ
ワッ
ワッ

ズッ
ズッ
ズッ

ガッ
ガッ
ガッ



グググ
グググ

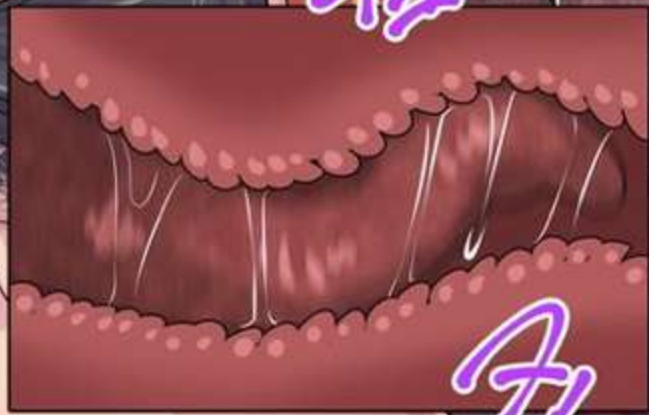
いっいっ!

ひっ!

んんんっ!

グググ

グググ
グググ



ググ

ググ





んああっ!
んああっ!

ああっ!
ああっ!

ああっ!
ああっ!

ガク
ザク

ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ



ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ

ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ

ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ
ググ



あ...あ...あ...

ゼクッ
ゼクッ
ゼクッ

あ...

ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ

ハァ
ハァ
ハァ

グ
グ
グ

ヒャッ
ヒャッ
ヒャッ

ヒャッ
ヒャッ
ヒャッ



絶対に諦めないわ!

絶対に...

ギョ

ズズズ

ゴゴゴ



モブ
モブ

私は……っ

頭を弄られたって……

ぐ
ぐ
くっ
くっ



んっ!んっ!んっ!

んっ!
んっ!
んっ!

んっ!

ガン
ガン



んんんんっ!

ガクガク

んんんんんん!

グググ

グググ

ストゥストゥ

グググ

グググ

ストゥストゥ



ズ
ム
ズ
ム
ズ
ム

ああああっ！

ああっ！

ズ
ム
ズ
ム
ズ
ム

うあああっ！

ズ
ム
ズ
ム

ズ
ム
ズ
ム



グググググ
グググググ

んんんんっ!

グググググ
グググググ

ひっ...ひっ...!

ググググ

ググググ
ググググ

ググググ

ググググ



ギョ

あきらめないわ!

絶対に

私は……っ

ズズッ





あっ

げんげん

げんげん

げんげん

げんげん

が...っ



グググ

グググ

グググ

グググ

あつ

はつ

んあつ

グググ

グググ

グググ

グググ



ガ
ガ
ガ

フ
フ

フ
フ

グ
グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ



はっ
びん
びん

びん
びん

びん
びん

あ...っ

びん
びん

あ
あ
あ
っ!

びん
びん

びん
びん

びん
びん
びん



ククク
ククク

ハァ
ハァ

あ……っ

……は

ビク
ビク

……あ

グ
ヒヤッ
ヒヤ



誰かが...

アハ

きつと...

アハ

助け...

アハ
アハ

アハ

アハ

自分が捕らえられてからどれだけの時間が経過したのか、練師自身はもうそれを考えることもできない。身体の自由を奪われ、しかし練師の強靭な精神によって意識だけは残っていた。いつか脱出する機会が訪れるかもしれない、いつか仲間たちが助けに来るかもしれない。彼女はいつでも希望だけは捨てずいたのだ。練師の高潔で強靭な精神、それこそが彼女を地獄に縛り続けていることに、彼女はいつまでも気付くことはできなかった。



誰...か...あ

助け...て

ス...ス...ス

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

END

キキキ

観念しなっ！

くっく

アア

ここまでなの…っ

魔王オロチにより作り出された世界で、練師たちは妖魔軍と戦いを続けていた。援軍は望めず、敵の追撃を逃れるだけで精一杯の惨状。苦しい状態での敗走が続き、これ以上は逃げ切れないと判断した練師は悲壮な決意を固め、敵を引き付けるために一人敵前に飛び出した。練師は仲間のためならば、自分の守る姫のためならば命を投げ出す覚悟を持っていた。

激しい戦いが始まり、練師の狙い通りに仲間たちは逃がすことができた。しかし、一人での戦いにも限界はすぐに訪れ、彼女は捕らえられてしまう。

「ジュル」

「ジュル」はっ

「ジュル」

しゅっ

ジュル

私…捕まって…

捕らえられた練師は狭い牢獄に繋がれていた。
冷たい石壁に囲まれ、その壁には何やら生々しい肉のような、ウロコをはぎ取られた蛇のような物体が蠢いている。
そしてその触手とも呼べるものが練師の手足を拘束しているのだ。
妖魔が自分をどうしようとしているのか練師には見当もつかなかったが、良い結果が待っているであろうことだけは理解していた。



じしん

瘴気が…っ!

ギョッ

な…何っ!?

グニャグニャ



今度は…何っ

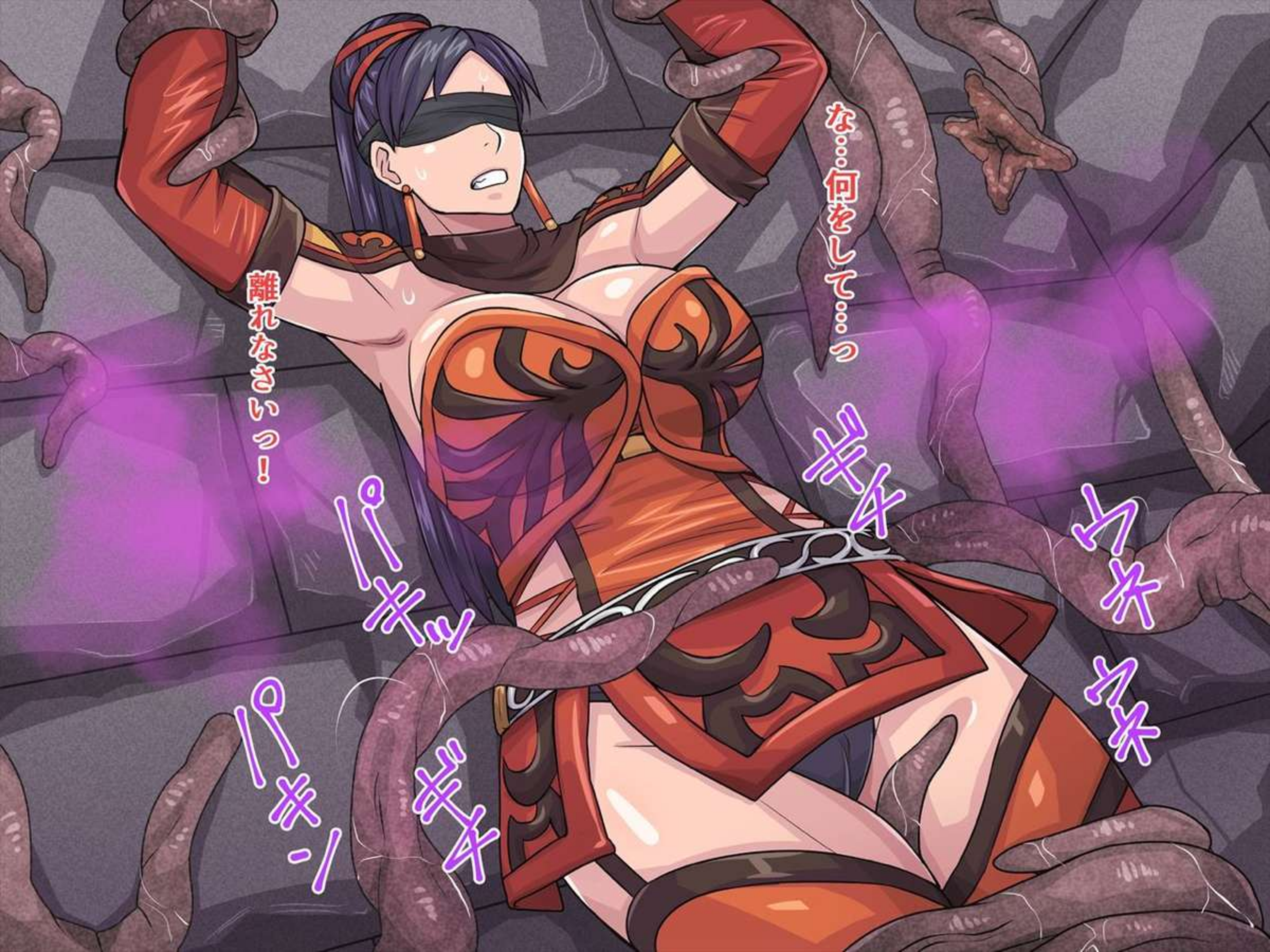
ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



な…何を…して…っ

離れなさいっ!

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

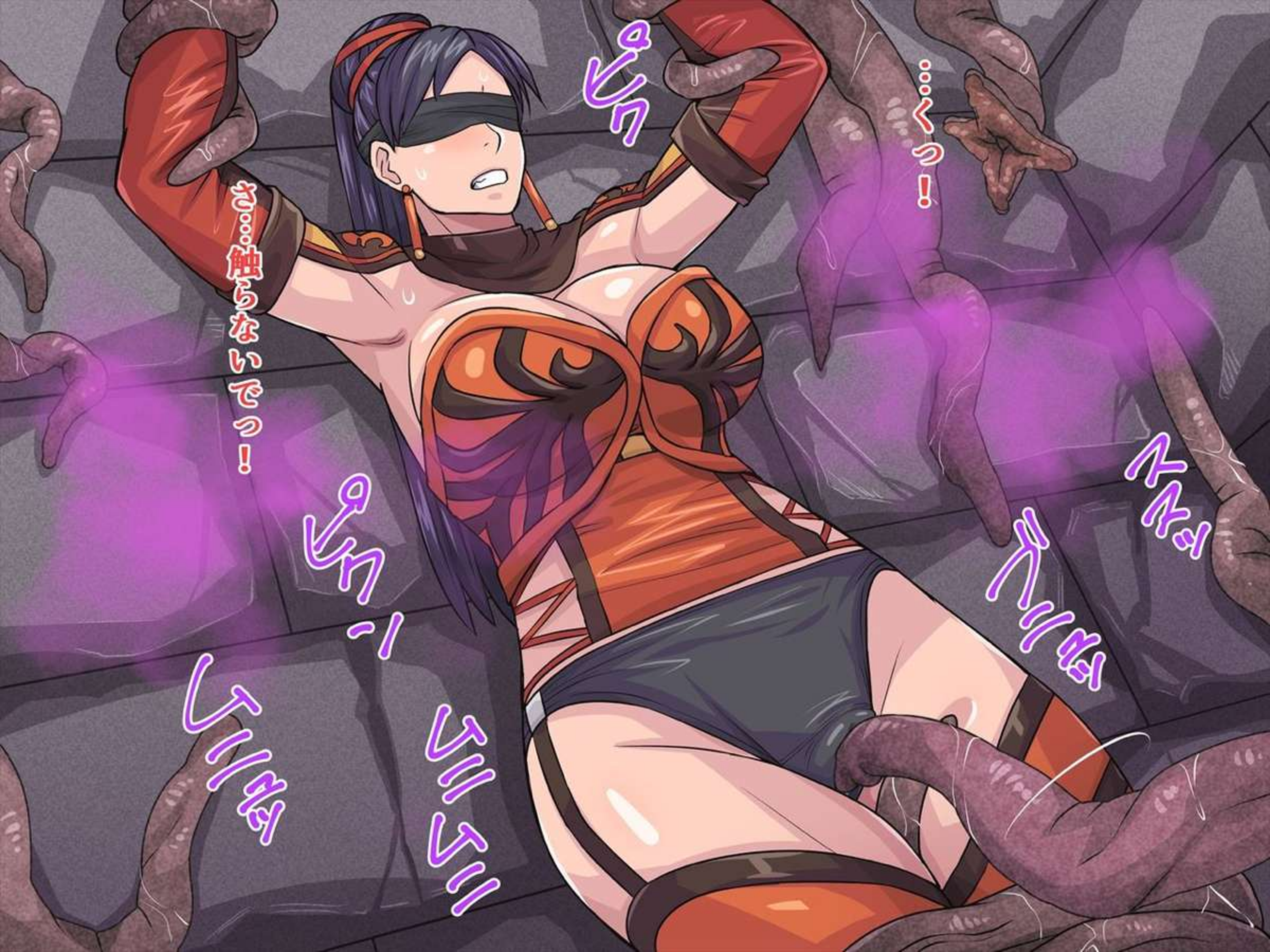


な...っ!?

何をしてるのっ!

アッアッ

ズズ



さ...触らないでっ!

クク

くく!

クク

クク

クク

クク

クク

身体…がっ

フー
フー

何か…おかしい…

この瘴気の影響…なの…？

ン
ン
ン

ド
ド
ド





私の力では……っ

なんて力なのっ

らっ
っ

ぞっ
ぞっ



触らないでっ

ぐにゅ

グニッ

ぐにゅ

グニッ



動かないでっ

う...ああつ

ビク

ハア
ハア

ズ
ズ

やめ...

ア
ア





ズレズレ

や...めっ

ズレズレ

ズレズレ

んんんっ!

ズレズレ

ズレズレ

ズレズレ

ズレズレ



ゴクゴク
ゴクゴク
ゴクゴク

ゴクゴク

んんんんんん!

んんんんんん!

んんんん!

ゴクゴク
ゴクゴク
ゴクゴク



うう...ああ...っ

ビク
ビク
ビク
ツ

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

と...止まらな...っ

なんで...っ

こんな...こと...

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ



…こんな方法で

屈服させようなんてっ

触手に組み付かれた時、練師は拷問の
ようなものを覚悟した。
自分を殺せた場面であつたにも関わ
らず、わざわざ自分を捕らえたことには
目的があるはずだとの考えからだ。
牢獄の外にいた妖魔が簡潔に、そして彼
女をあざ笑うかのようにその目的を告げ
た。
妖魔の目的とは、練師たちのような強い
力を有する人間を傀儡にし、妖魔軍の兵力
を強化しようというのである。
それを聞かされた練師は、自分の判断は
間違つていたかもしれないと、そう思わず
にはいられなかつた。

ぐ
ぐ

なんて卑劣なっ！

い
ぢ



触らないでっ！

アアッ

うげっ

ごご

ごご



んんん

アッアッアッ

アッアッ

は…入って…

やめ…なさい…っ！

アッアッアッ



んんんっ!

奥...にっ

んんんっ

ズブズブ

ズブズブ

ズブズブ

ズブズブ

ズブズブ



アッ
アッ
アッ
アッ

い...いやっ!!
グッ
グッ

グッ

グッ!!
グッ

グッ
グッ



んんんんっ!

ビクビク

だ...め...

グチュ

ま...待って

グチュ

んんんんっ!

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ



ズン
ズン
ズン

あ...う...う

ズン
ズン

きり!

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
んっ!

くっ

アッ

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ

どうして...

こんな酷いことが

できるの...

ズク
ズク
ズク
ズク
ズク

アッ





ハ
ハ
ハ

放
し
な
さ
い
つ
!

ハ
ハ
ハ

ウ
ウ
ウ

ハ
ハ
ハ



ぐぐぐ

噛みついて……

かん

な…何っ!?

ギ



熱…いっ

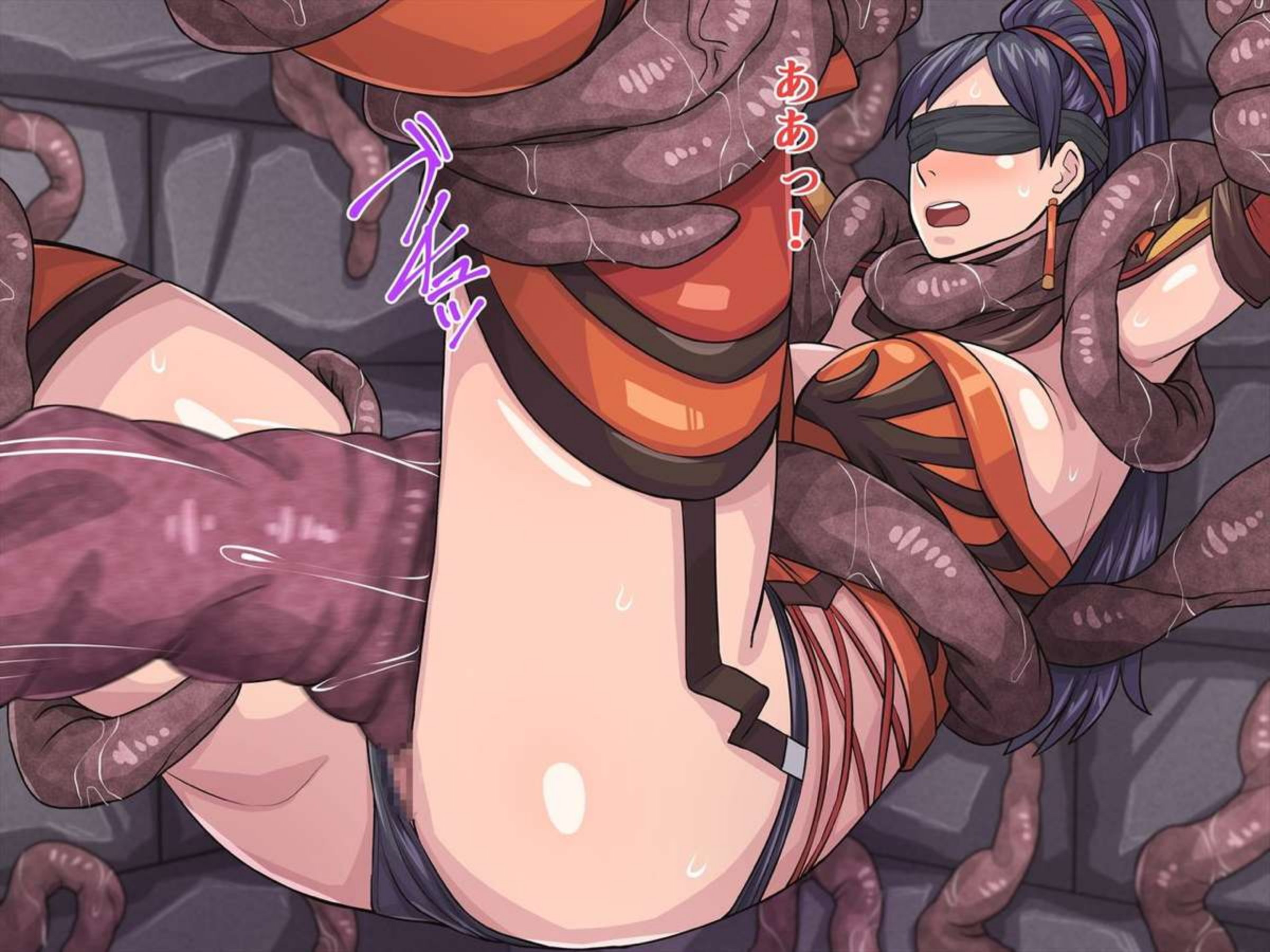
か…身体が…

何…っ

ぷるぷる

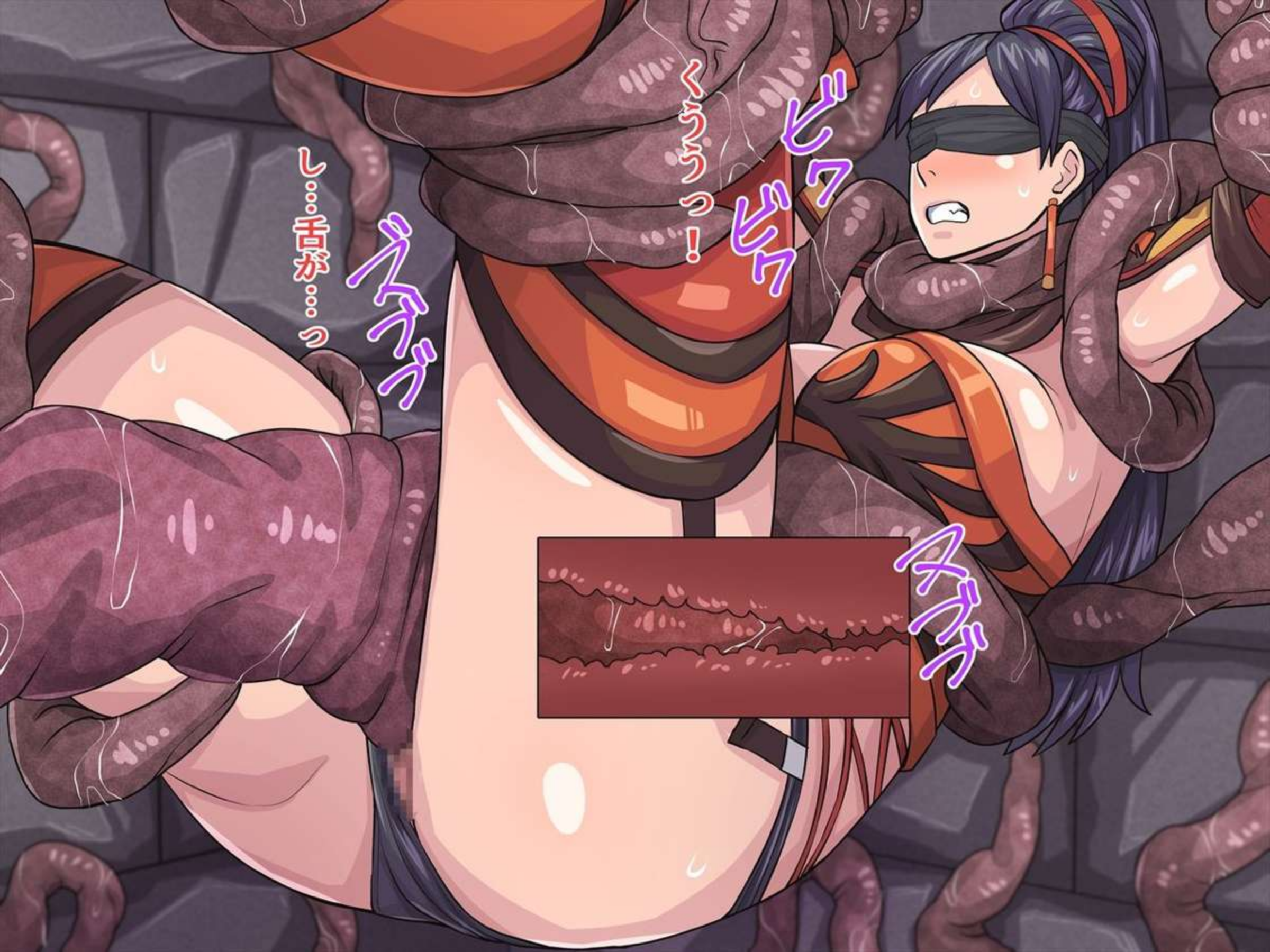
うっっ!!?

ハヤハヤ



ああっ!

グニッ



し…舌が…っ

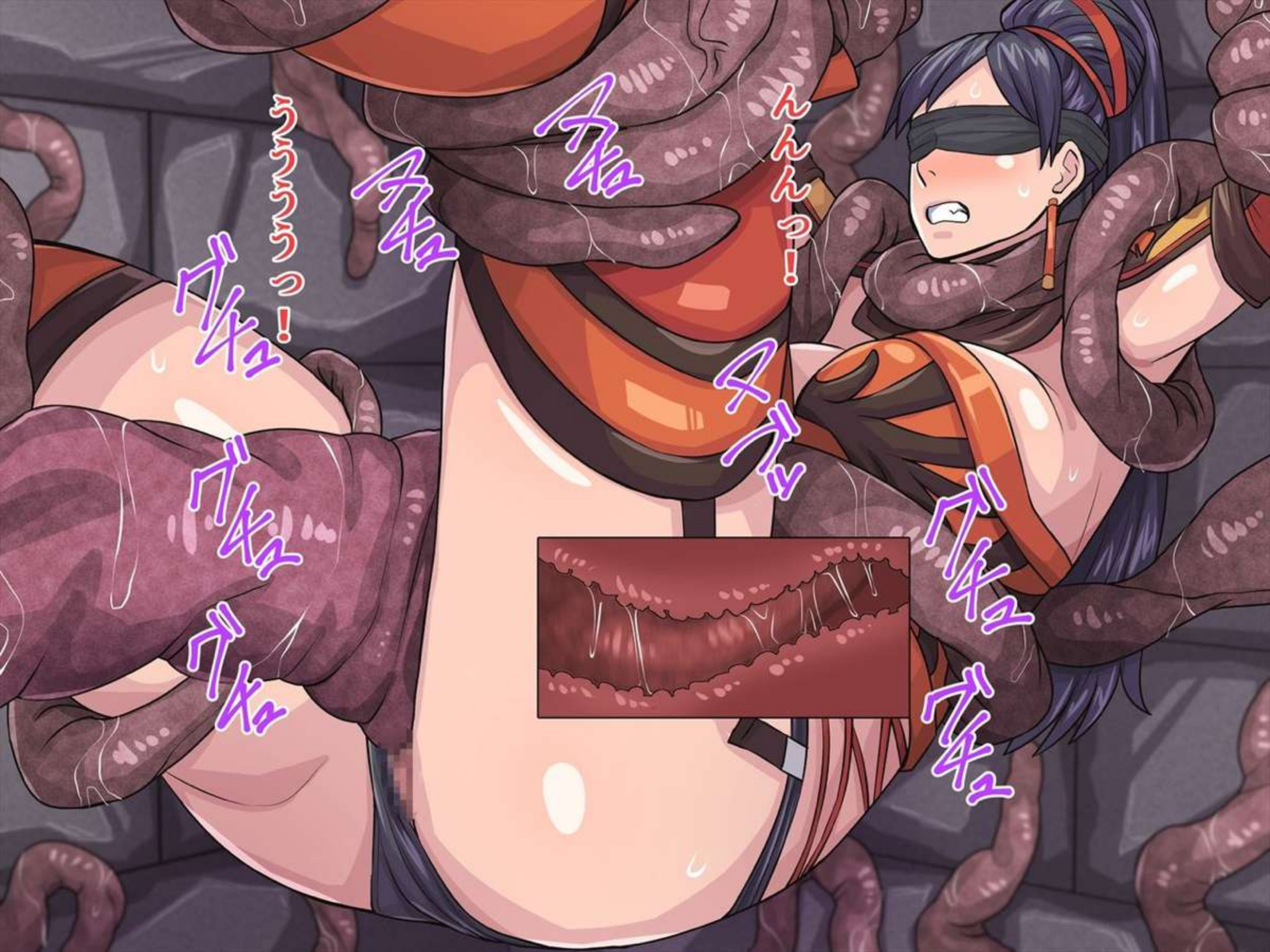
ズズズズ

〜んんんんん！

ズズズズ



ズズズズ



んんっ!
グキョ

グキョ

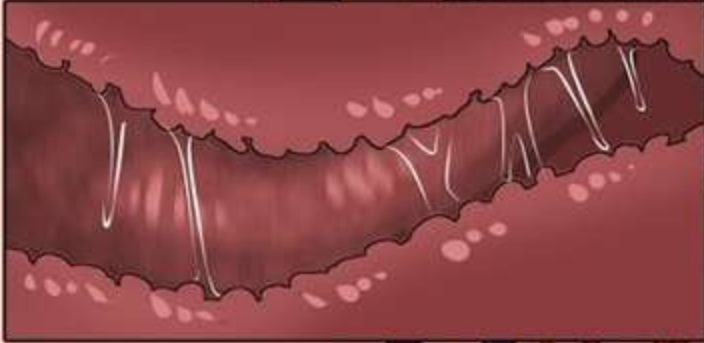
グキョ

んんっ!

グキョ

グキョ
グキョ

グキョ
グキョ





いやっ!

う...動かないでっ!

ひ...いっ!

グキョ

グキョ

フキョ

フキョ





ベクッベクッ

んっ!

ベクッ

ベクッ

んっ!

ベクッ

グチュ

ベクッ

グチュ



グチュ

グチュ

グチュ



い...いやっ

抵抗...できない...

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ



また毒を!

ウネウネ...

ウネ

ウネ

ウネ



あせり!

逃げられないっ

どいっ

くっ!

かっ

かっ



身体が言うことときかない……っ

で……出さね……んん

んんっ!

びく

びくびく

びくびく

びくびく



負けていられないわ!

こんな奴らに...

びしょ

びしょ

びしょ

プツプツ



なっ!?

ゼクッ

お…お尻に…っ

何考えてるの!

ごいっ

アグッ



ギョッ

びっ!

ジュン

びっ!

ズンズン

ズンズン



やめ...てっ!

何...をっ

なっ
グキョ

グキョ

ズッ
ズッ
ズッ

アキ
アキ

グキョ



あ……い……う……う……!

グ……グ……グ……グ……

グ……グ……グ……グ……
グ……グ……グ……グ……

グ……グ……グ……グ……
いっ
やっ

グ……グ……グ……グ……

グ……グ……グ……グ……
グ……グ……グ……グ……



くっ

放し…なさいっ!

いっせー!

ぎゅ

ズズズズ

ギョ



何を...

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ゴゴゴ



ああっ！

ビクン

やめ……っ

ズンズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズンズン



んんんんん！

ズムズム

グキ
グキ
グキ

ズムズム

んんん！

ズムズム

ズムズム

ズムズム



ジュクジュク

ああっ!

擦っちや...

やめ...っ

ジュクジュク

ジュクジュク

ジュクジュク
ジュクジュク

ジュクジュク



う……あぁっ

や……っ

やめ……てっ！

あぁあぁっ！

グググ

グググ

グググ

グググ



どれだけ……っ

ギョッ

私を弄べば……

ガッガッ

蛇のような触手から注入される毒は確
実に練師の身体を蝕んだ。
戦場に出ているために痛みへの慣れこそ
そあったが、性的な快楽への慣れは鍛えよ
うが無いし、毒が使われているとあれば尚
更だった。
そして精神を破壊し、妖術による洗脳を
施すつもりなのだ。

品行方正に生きてきた練師にとって、愛
する人以外との性的な接触は忌避するも
のだった。
それ故に今の状況は屈辱以外の何物で
も無かった。
しかし、仲間たちの無事を思えばこそ練
師は耐えられる。彼女はそういう人間だっ
た。



ああっ!

やめなさいっ!

がっ

ズン

カッ



いい加減に……っ

っっっ

アゲアゲ

くっ!

ウネ

ウネ



あ……んんん

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ひっ!
ズ
ズ
ズ

ズっ!

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ



耐え……てっ

耐え……なきや……あ

んんんん

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッズグッ

ズグッ

ズグッ





いやっ!

ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

や...やめてっ!

もうイツてる...っ

いやあっ!

ズ
ズ



なんとかかしないと……っ

ギィ
ギィ
ギィ

はやく……

ん
ん
ん

ズ
ズ
ズ



ズキン

あああつ!

くっ!

ズキン

ズキン



し...舌がっ

ぐぐぐ

アググ

ズググ



やめ…てえっ

んぐらうっ!

アハ

アハ

グハ

グハ

グハ

グハ



ビクッ
ビクッ
ビクッ

あらうっ!
あらうっ!
あらうっ!

ゴ
ゴ
ゴ

いやあっ!
いやあっ!
いやあっ!

ビクッ
ビクッ
ビクッ

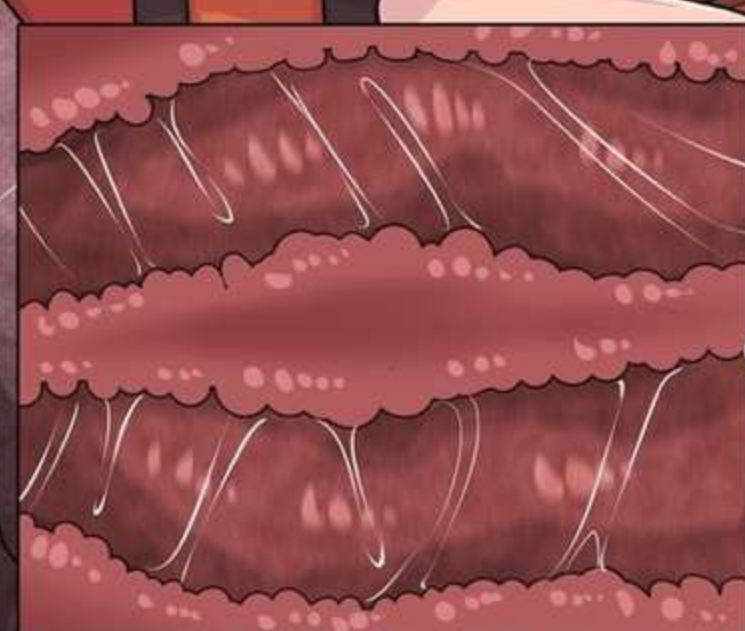
ブルブル
ブルブル
ブルブル

ググ
ググ
ググ

ググ
ググ
ググ

ググ
ググ
ググ

ブルブル
ブルブル
ブルブル



ゴ
ゴ
ゴ



もう...やめて...て

アッ
アッ
アッ

ズン

こんなこと...

グッ
グッ
グッ

ズン

アッ

ウネ

ウネ

うんうん...

皆が無事なら...

私は...っ

ぷん
ぷん

妖魔に囚われてからどれだけの時間が経過したのかわからなかった。どれだけの時間が経とうと、練師はその強靱な精神力で責めを耐え抜いた。そしてそれが、どうやら妖魔の目的を変化させたらしい。妖魔は練師をもはや兵士にしようとはしていないかった。練師はそれを知る由もなく、ただひたすらにこの地獄を耐えるしかなかった。



アッ
アッ

モゾ

な…何っ!?

耳の中…

ズン
ズン



…えっ!?

か…身体が…

なんでっ

レレレレ

グググ

レレレレ

クチュクチュ



んぐっ!

んぐっ!!

んぐっ!!

んぐっ!!



いやああっ!

アキユ

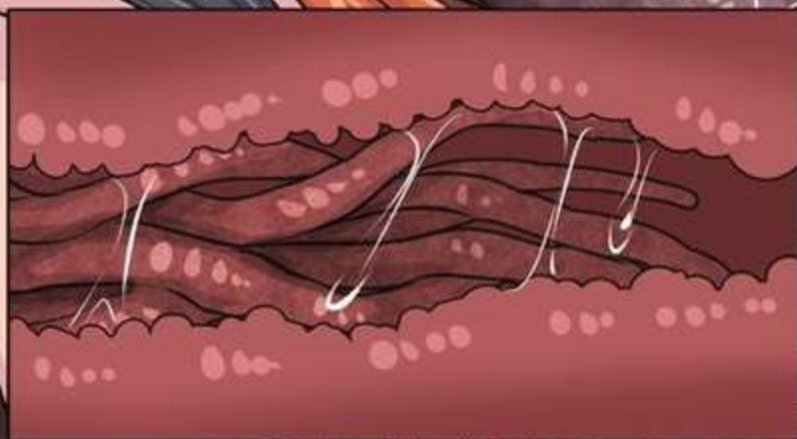
ゼンツ

アキユ

入ってこないでっ!

アキユ
アキユ

アキユ
アキユ





グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ

んむらうらうら!!

グキョ

むぐっ!

ガホッ

グキョ
グキョ

グキョ



ビュッ
ビュッ
ビュッ

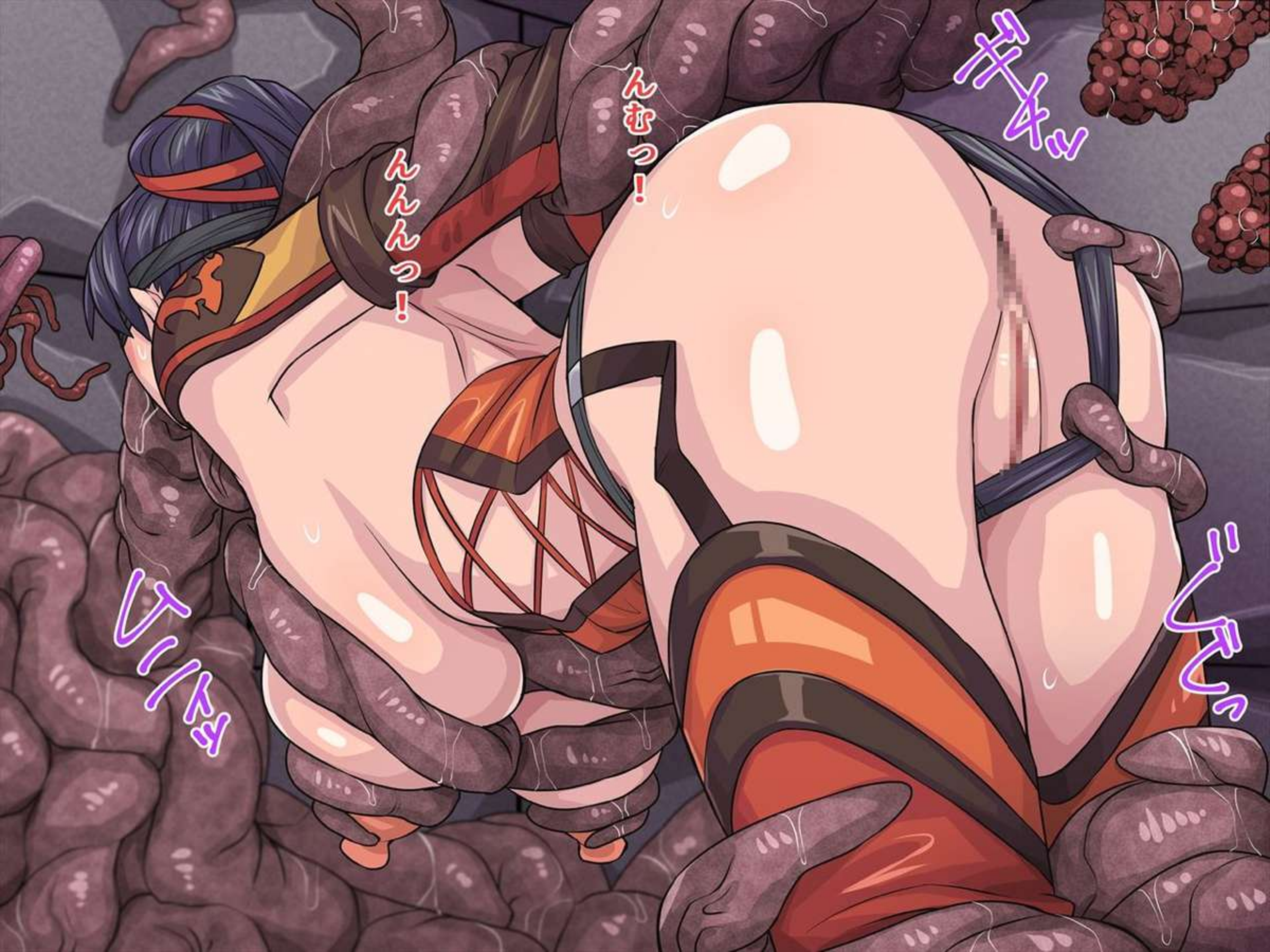
んんんんんん!

ビュッ
ビュッ
ビュッ

んんん!

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ



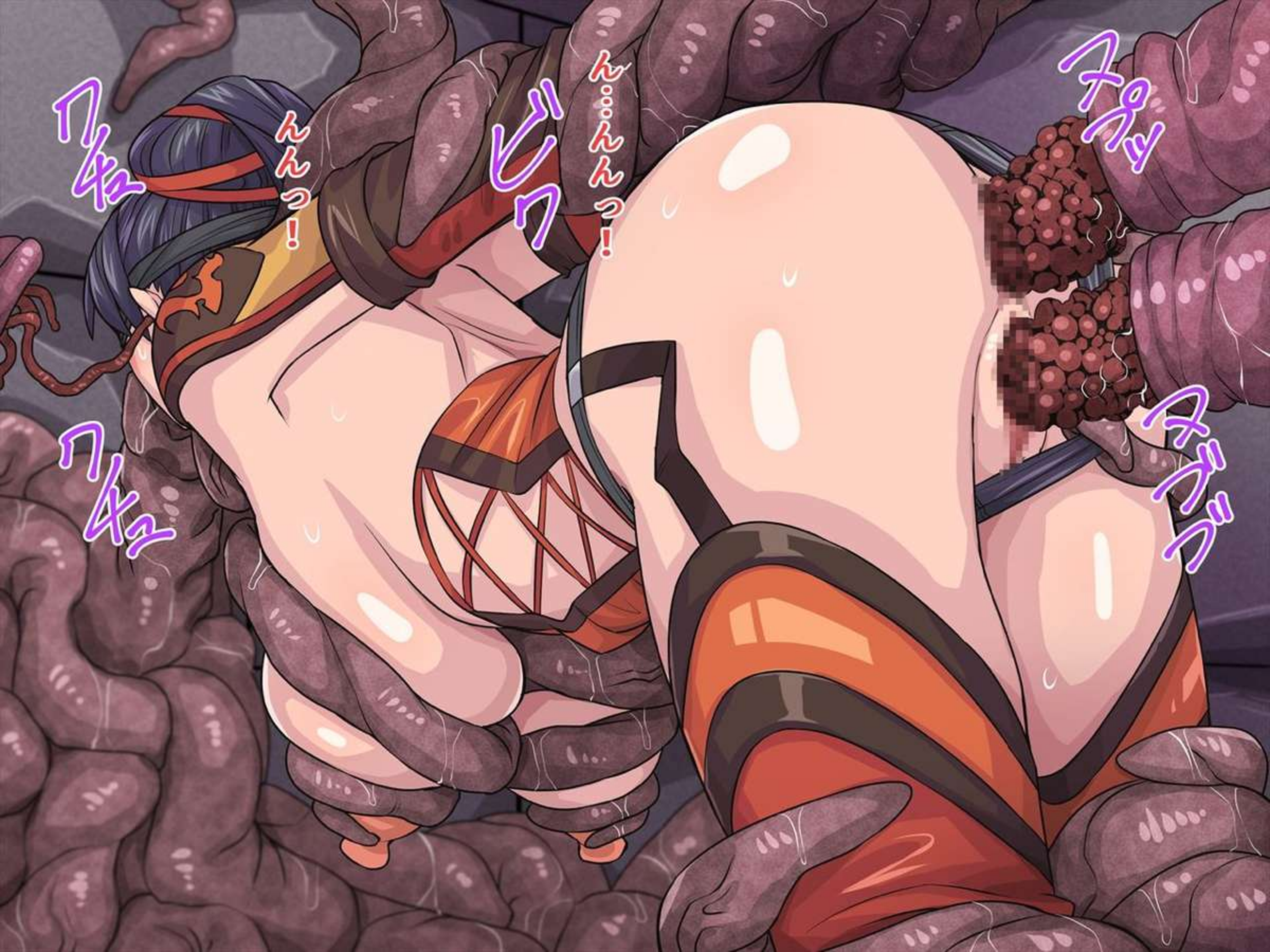
ギョウ

んむっ!

んんんっ!

ムムム

ググ



フク

んんっ!

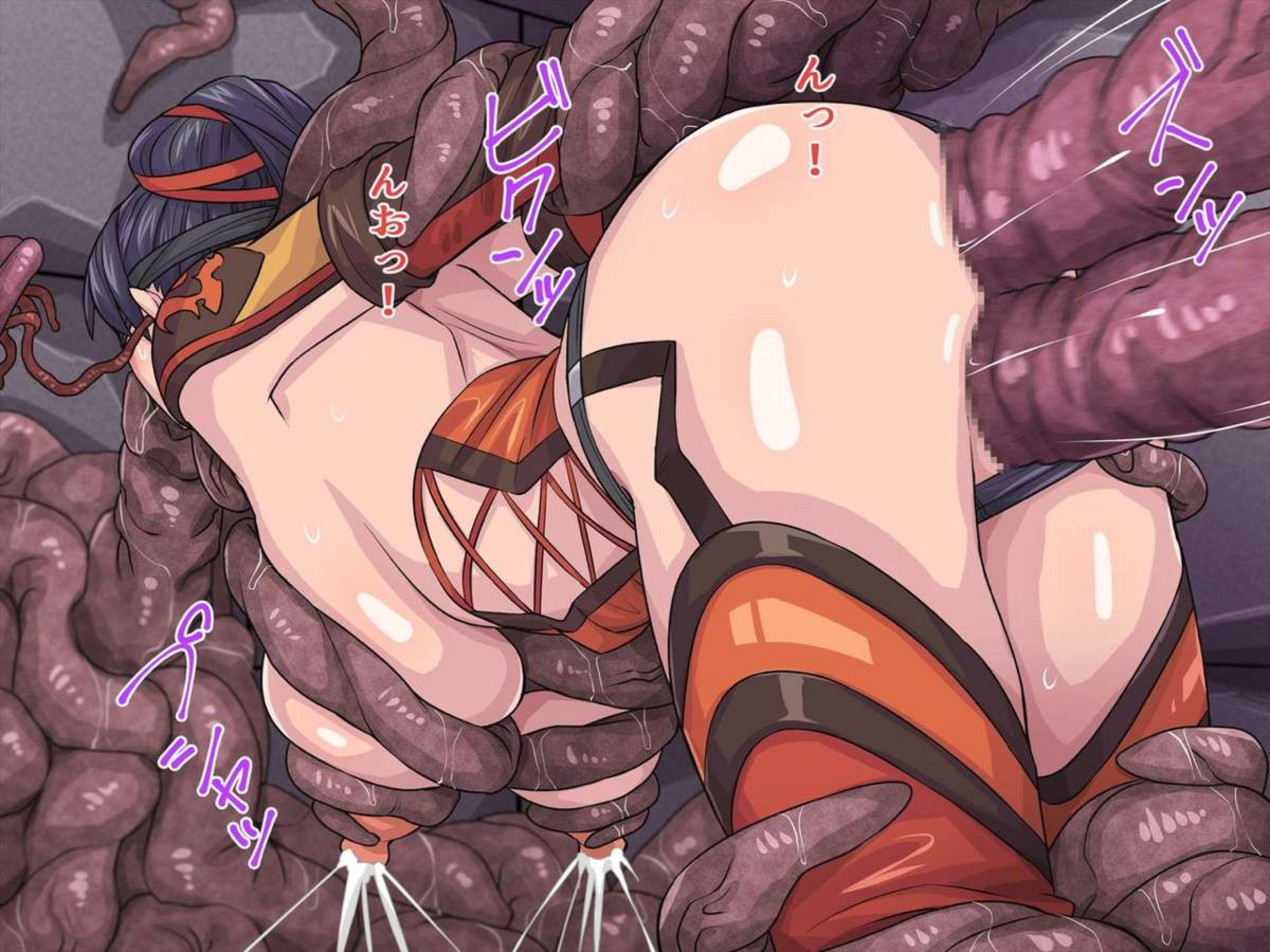
フク

んんんっ!

フク

フク

フク



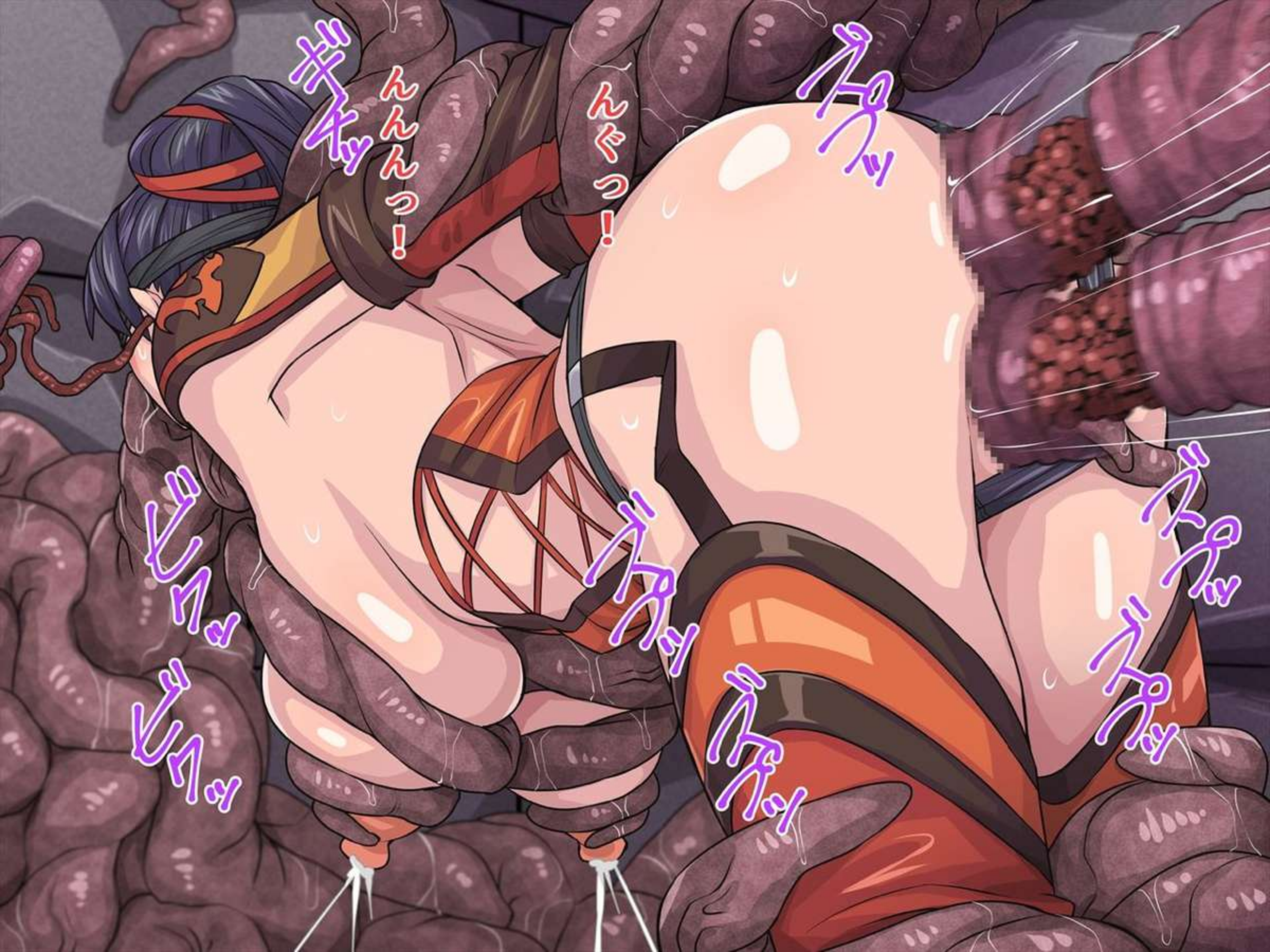
んおっ!

ビ
ク
ッ

ん
っ
!

ス
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ



ギョッ

んんんっ!

んぐっ!

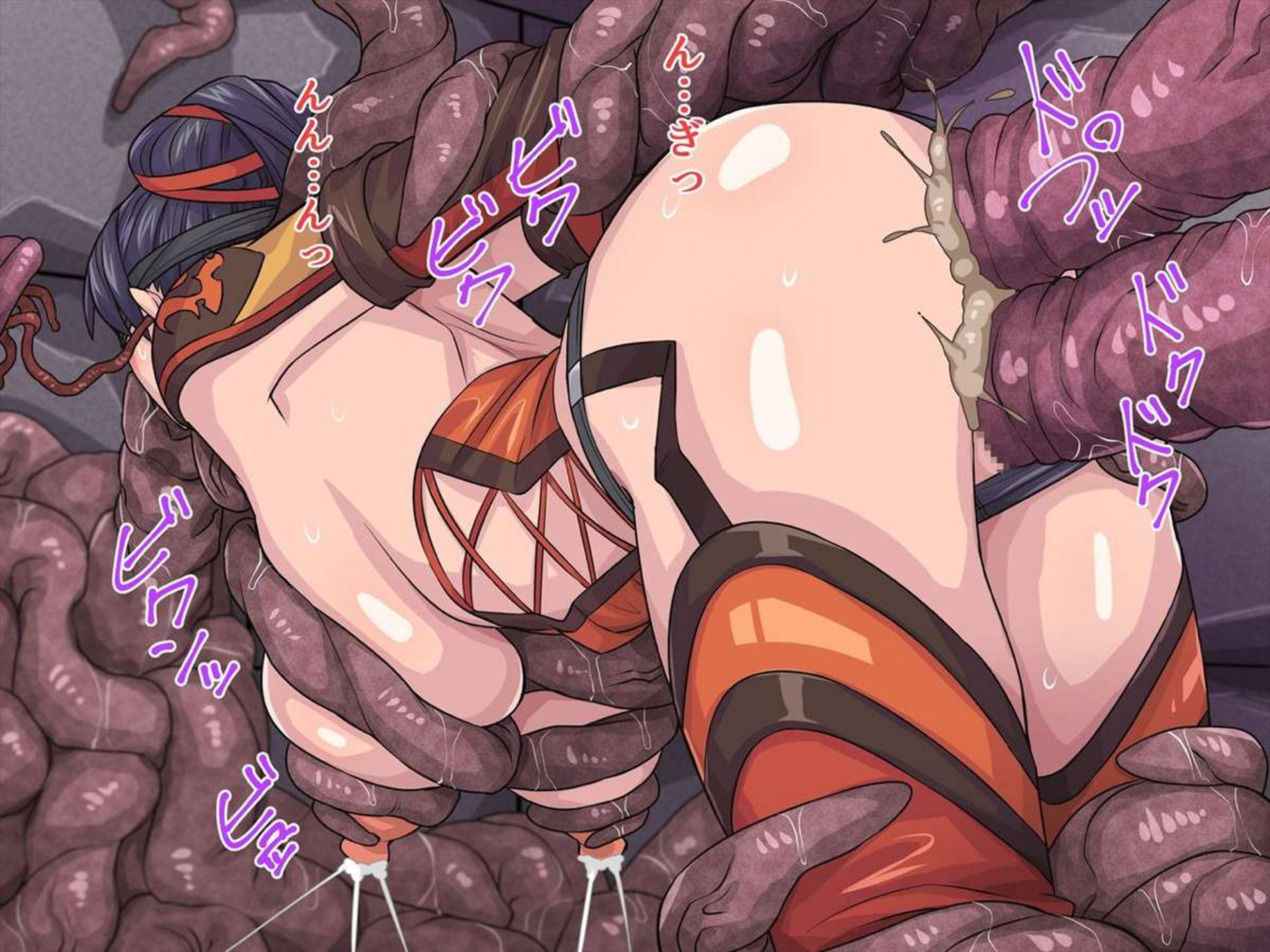
グッ

ギョッ
ギョッ

グッ

グッ

グッ
グッ



んんんんん

んんんんん

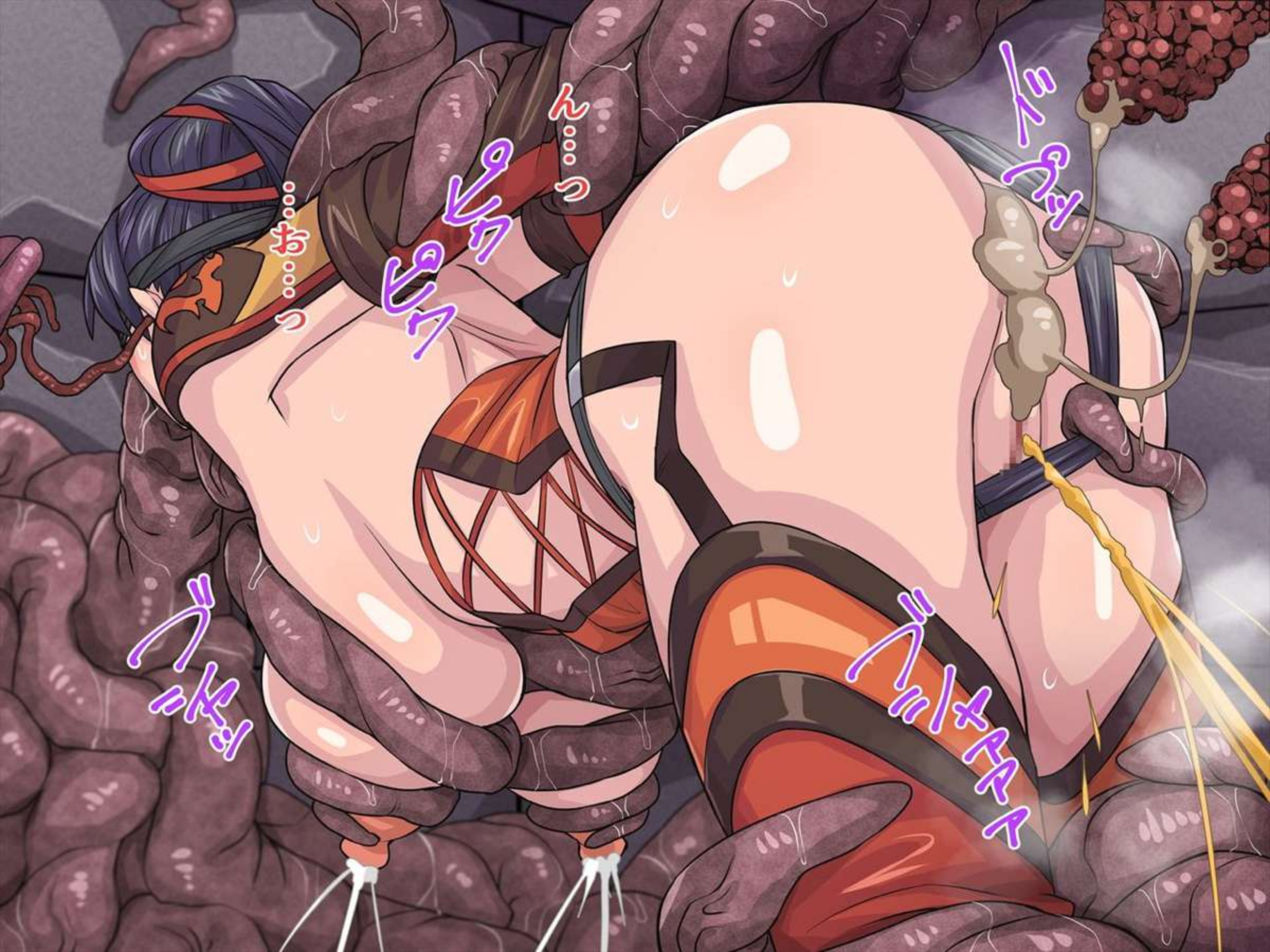
んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん



おっ...
おっ...
おっ...

んっ...
んっ...
んっ...

カッ
クッ
カッ
クッ

グッ
グッ
グッ

ぐっ
ぐっ
ぐっ

グッ
グッ
グッ





私は負けないわ!

こんな卑劣な奴らに!

ズズ

ギ



ギョ

びび

ひっ

フッ

また頭の中と...っ

びび



やめなさいっ!

やめ...っ

ああっ!

ズンズン

ワキ

ズンズン

ズンズン



びっ!

んんっ!

グググ

いっいっ!

グググ

グググ



アア

ククク



んああっ!

ああっ!

ああっ!

ガク
ザク

ゴク
ゴク

ゴク
ゴク

ゴク
ゴク

ゴク
ゴク

ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク

ゴク
ゴク
ゴク

ゴク
ゴク
ゴク





あ...あ...あ...

ゼクッ
ゼクッ
ゼクッ

あ...

ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ

ハァ
ハァ
ハァ

グ
グ
グ

ヒヤッ
ヒヤッ
ヒヤッ

ヒヤッ
ヒヤッ
ヒヤッ



絶対に諦めないわ!

ギョ

絶対に……っ

ズズズ

じゅ



モブ
モブ

私は……っ

頭を弄られたって……

くっ
ぐっ



んっ!んっ!んっ!

んっ!
グッ
グッ

グッ
グッ

ガム
ガム



んんんんっ!

ガクガク

んんんんんんんん!

グググ

グググ

ググググ

ズズズズ

グググ

ズズズズ



ズムズム
ズムズム

あああつ!

ああつ!

ズムズム
ズムズム

うあああつ!

ズムズム

ズムズム



ズンズン

んんんんっ!

ズンズン

ズンズン
ひ...いっ!

ズンズン
ズンズン

ズンズン

ズンズン



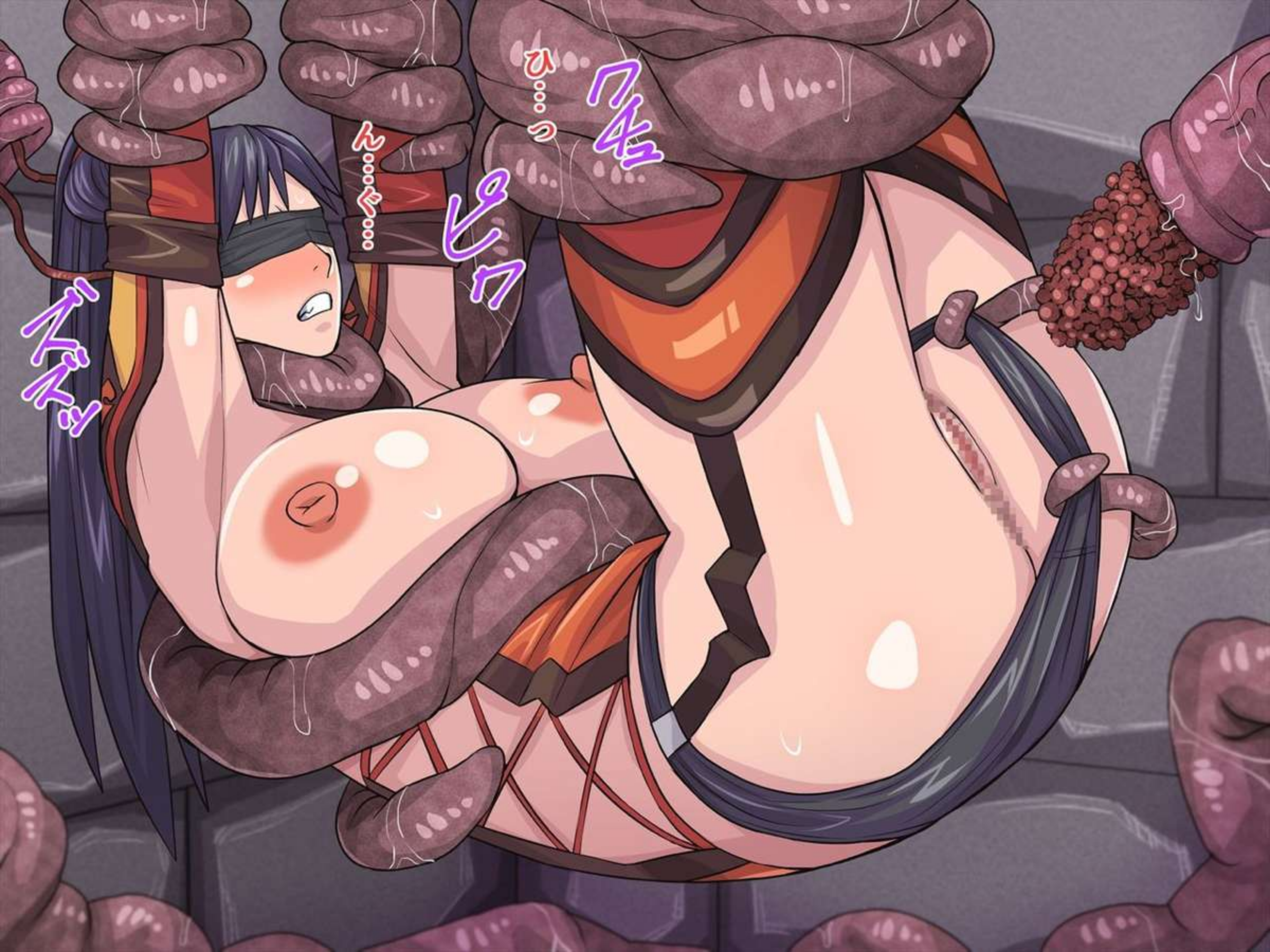
ギョ

絶対に
あきらめないわ!

絶対に

私は……っ

ズズッ

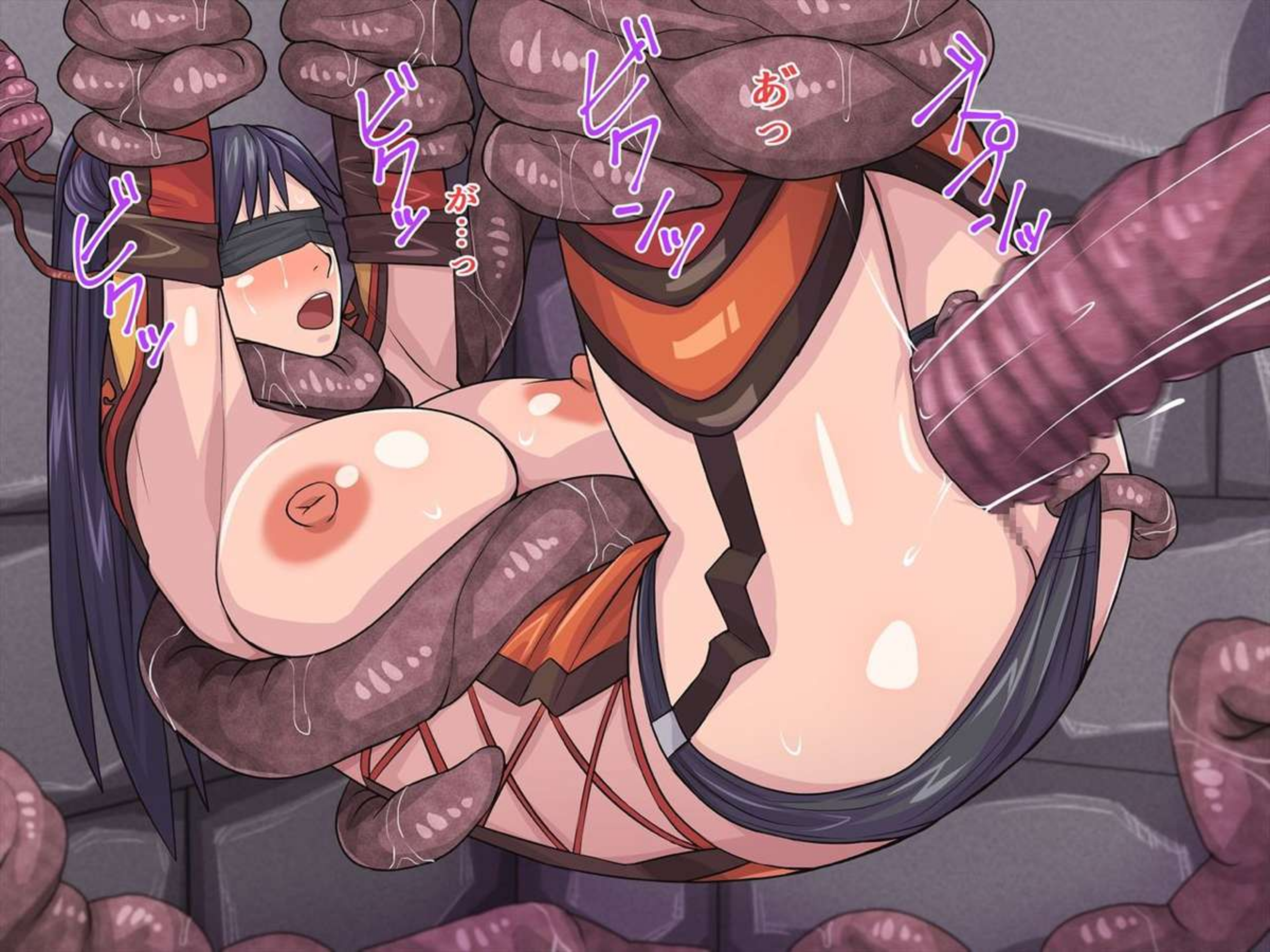


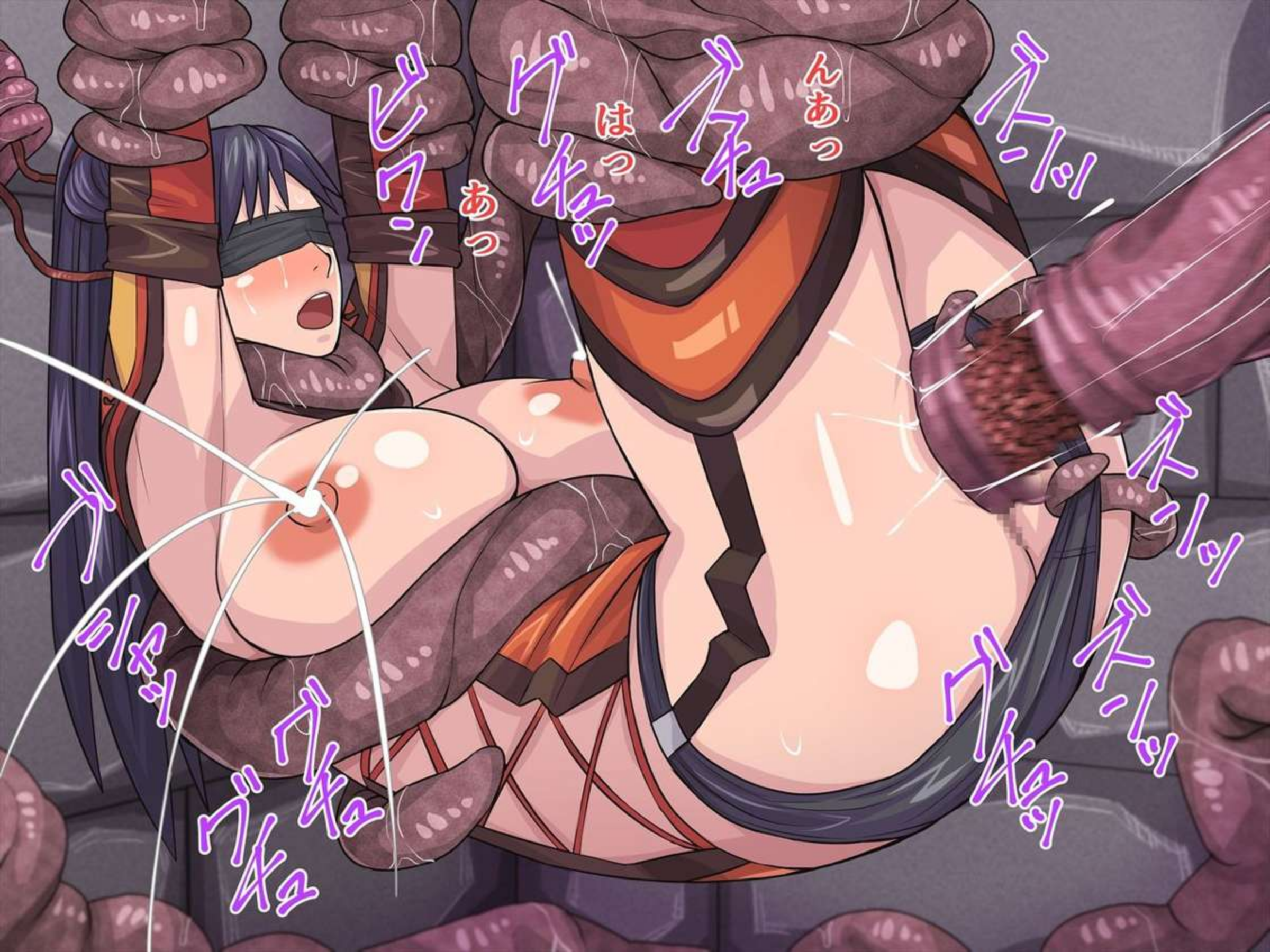
ズズズ

んんんんん

ンンン

ひっひっ
ンン





ズ
グ
ン
ン

あ
っ

グ
グ
グ
グ

は
っ

グ
グ
グ

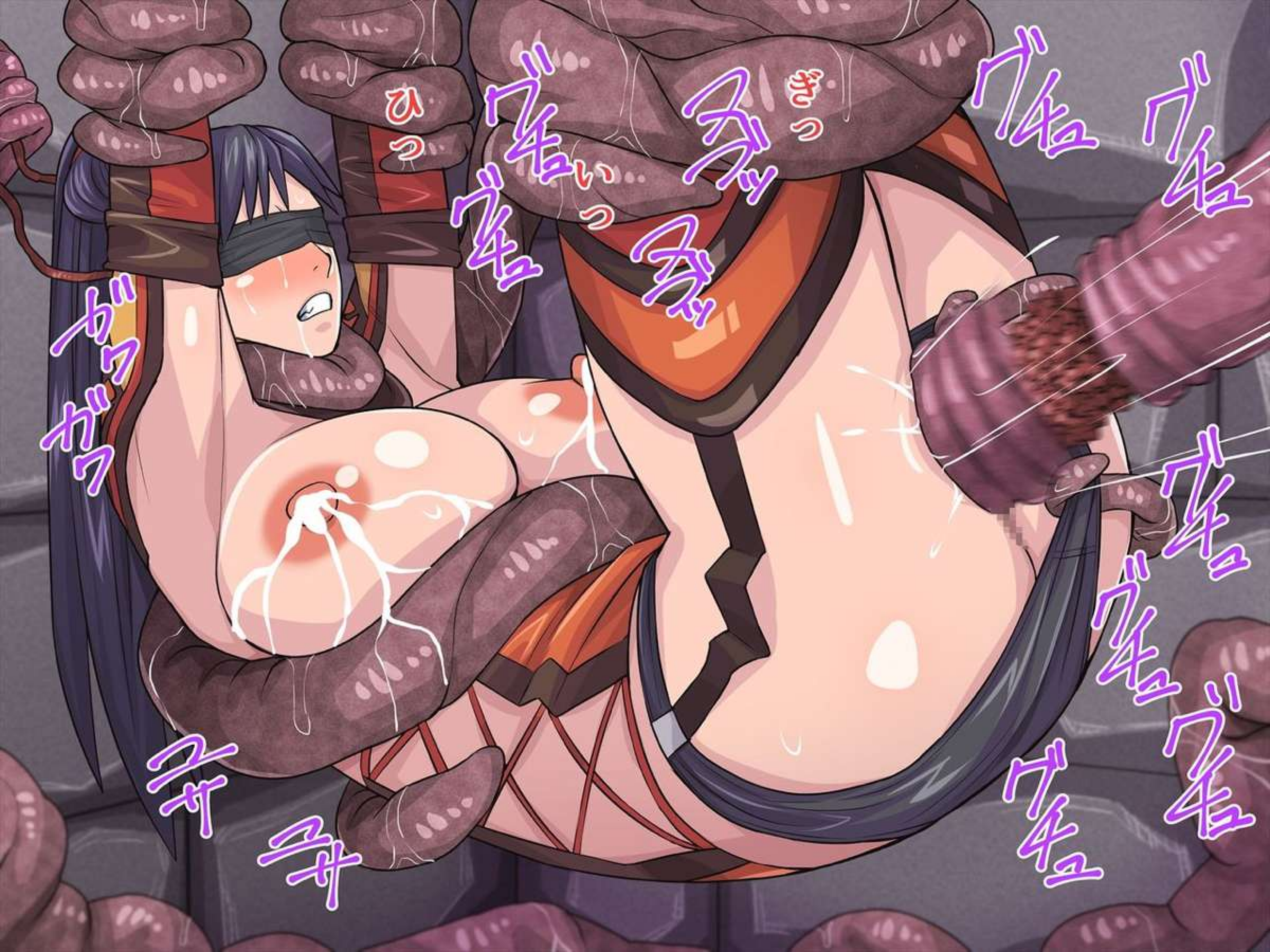
ん
あ
っ

ズ
グ
グ

グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ

ズ
グ
グ
グ
グ
グ



ガクガク

フ

フ

グググ
グググ

グググ
グググ

グググ

グググ

グググ
グググ
グググ

グググ

ひっ

きっ



あああっ!

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

あ...

はっ
はっ
はっ

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン



グハッ
グハッ

ハァァァ
ハァァァ

あ...あ...

あ...あ...

グハッ
グハッ

あ...あ...

グハッ
グハッ

誰かが…

アハ

きつと…

アハ

助け…

アハ
アハ

アハ

アハ

自分が捕らえられてからどれだけの時間が経過したのか、練師自身はもうそれを考えることもできない。身体の自由を奪われ、しかし練師の強靭な精神によって意識だけは残っていた。いつか脱出する機会が訪れるかもしれない、いつか仲間たちが助けに来るかもしれない。彼女はいつでも希望だけは捨てずいたのだ。練師の高潔で強靭な精神、それこそが彼女を地獄に縛り続けていることに、彼女はいつまでも気付くことはできなかった。



誰...か...あ

助け...て

ス...ス...ス

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

END

キキキ

観念しなっ!

くっく

アア

ここまでなの…っ

魔王オロチにより作り出された世界で、練師たちは妖魔軍と戦いを続けていた。援軍は望めず、敵の追撃を逃れるだけで精一杯の惨状。苦しい状態での敗走が続き、これ以上は逃げ切れないと判断した練師は悲壮な決意を固め、敵を引き付けるために一人敵前に飛び出した。練師は仲間のためならば、自分の守る姫のためならば命を投げ出す覚悟を持っていた。

激しい戦いが始まり、練師の狙い通りに仲間たちは逃がすことができた。しかし、一人での戦いにも限界はすぐに訪れ、彼女は捕らえられてしまう。

「ジュル」

「ジュル」はっ

「ジュル」

しゅ

ジュル

私…捕まって…

捕らえられた練師は狭い牢獄に繋がれていた。
冷たい石壁に囲まれ、その壁には何やら生々しい肉のような、ウロコをはぎ取られた蛇のような物体が蠢いている。
そしてその触手とも呼べるものが練師の手足を拘束しているのだ。
妖魔が自分をどうしようとしているのか練師には見当もつかなかったが、良い結果が待っているであろうことだけは理解していた。



痺気が…っ!

ギキッ

な…何っ!?

グニャグニャ

グニャ



今度は…何っ

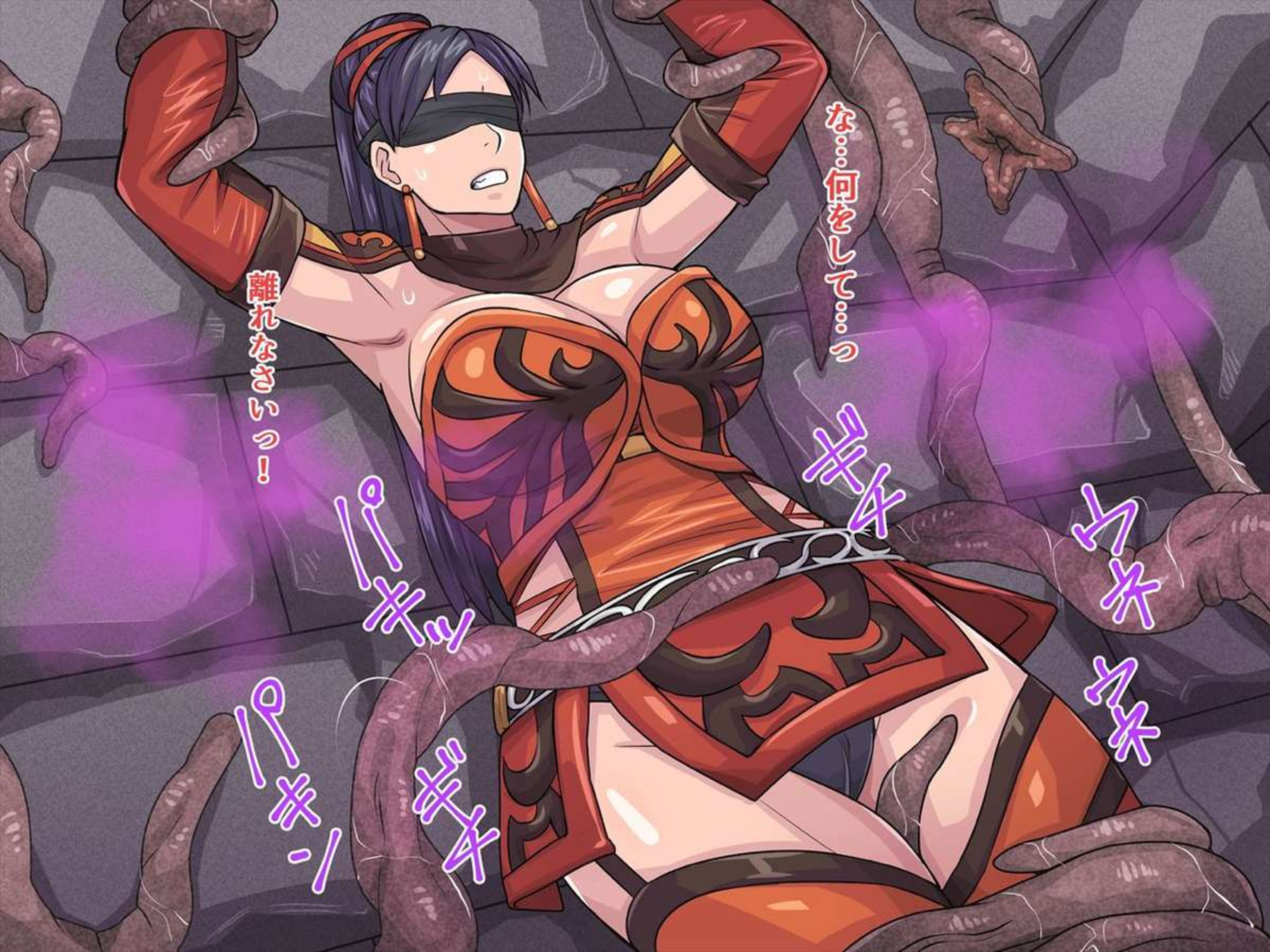
ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



な…何を…して…っ

離れなさいっ!

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

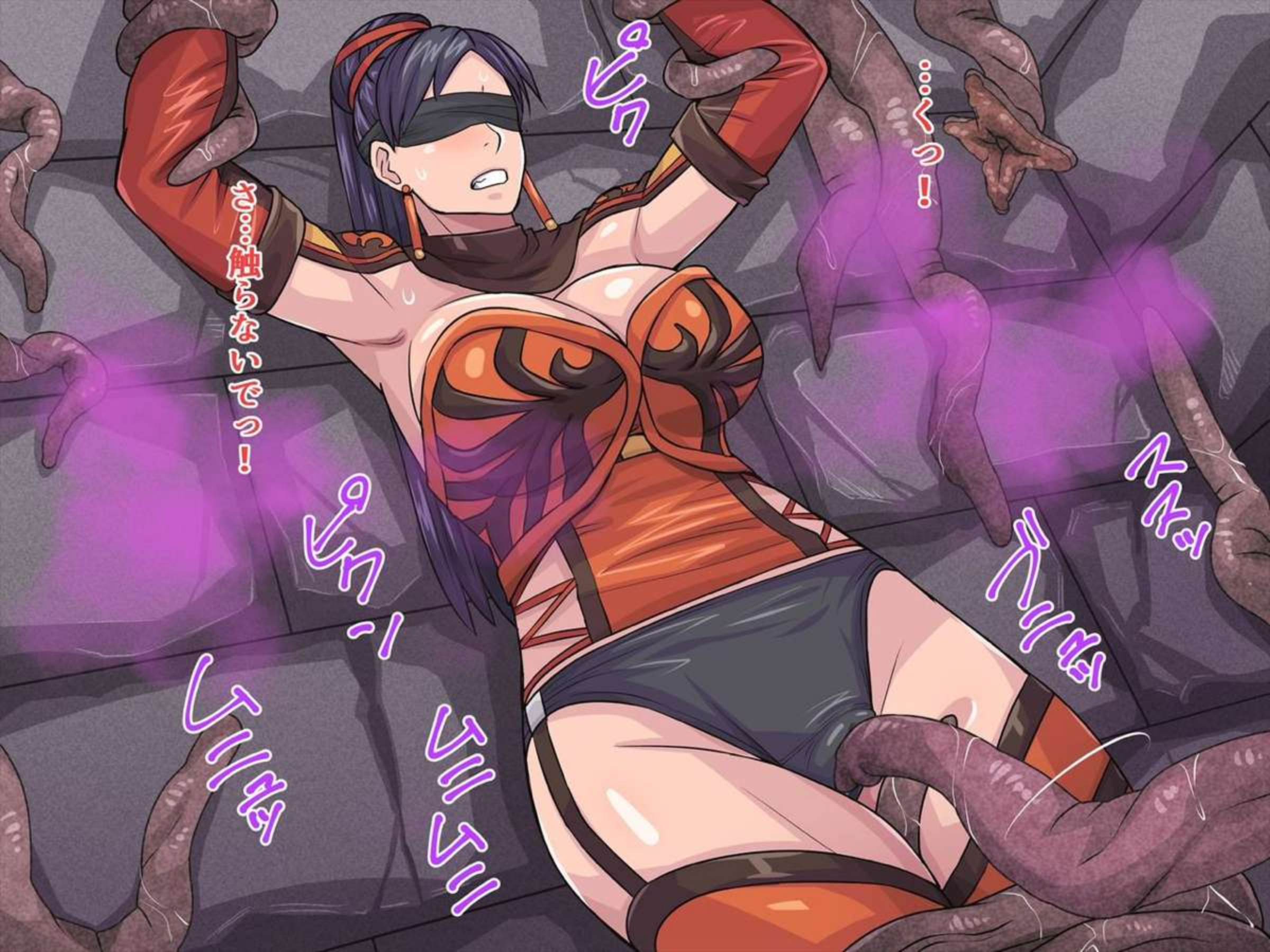


な...っ!?

ズズズ

何をしてるのっ!

ズズズ



さ...触らないでっ!

クク

くく!

クク

クク

クク

クク

身体…がっ

フー
フー

何か…おかしい…

この瘴気の影響…なの…？

ン
ン
ン

ア
ッ
ト
ロ
ッ





私の力では……っ

なんて力なのっ

びびっ

びびっ



触らないでっ

ぐっ

ぐっ

ぐっ

ぐっ



ビク

動かないでっ

ハア
ハア

う...ああっ

ズ
ズ
ズ

やめ...

ア
ア
ア
ア
ア



ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

くっくっ!

ツツツ

ツツツ



ズレズレ

や...めっ

ズレズレ

ズレズレ

んんんっ!

ズレズレ

ズレズレ

ズレズレ

ズレズレ



んんっ！

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

んんっ！



うう...ああ...っ

ビクビク
ビクビク

ハアハア

ハアハア
ハアハア

と...止まらな...っ

なんで...っ

こんな...こと...

ハアハア
ハアハア



…こんな方法で

屈服させようなんてっ

触手に組み付かれた時、練師は拷問の
ようなものを覚悟した。
自分を殺せた場面であつたにも関わ
らず、わざわざ自分を捕らえたことには
目的があるはずだとの考えからだ。
牢獄の外にいた妖魔が簡潔に、そして彼
女をあざ笑うかのようにその目的を告げ
た。
妖魔の目的とは、練師たちのような強い
力を有する人間を傀儡にし、妖魔軍の兵力
を強化しようというのである。
それを聞かされた練師は、自分の判断は
間違つていたかもしれないと、そう思わず
にはいられなかつた。

ぐ
ぐ

なんて卑劣なっ！

い
ぢ



触らないでっ！

アアッ

うげっ

ごご

ごご



アッ

は...入って...

やめ...なさい...っ!

ズブズブ

ぐにぐに



んんんっ!

ズズズズ

奥...にっ

んんんん

ズズズズ

んんん

ズズズズ

ズズズズ



アッ
アッ
アッ
アッ

い...いやっ!!
アッ
アッ

アッ

アッ!!
アッ

アッ
アッ
アッ



んんんっ!

ビクビク

だ...め...

グチュ

ま...待って

グチュ

んんんっ!

グチュ

グチュ

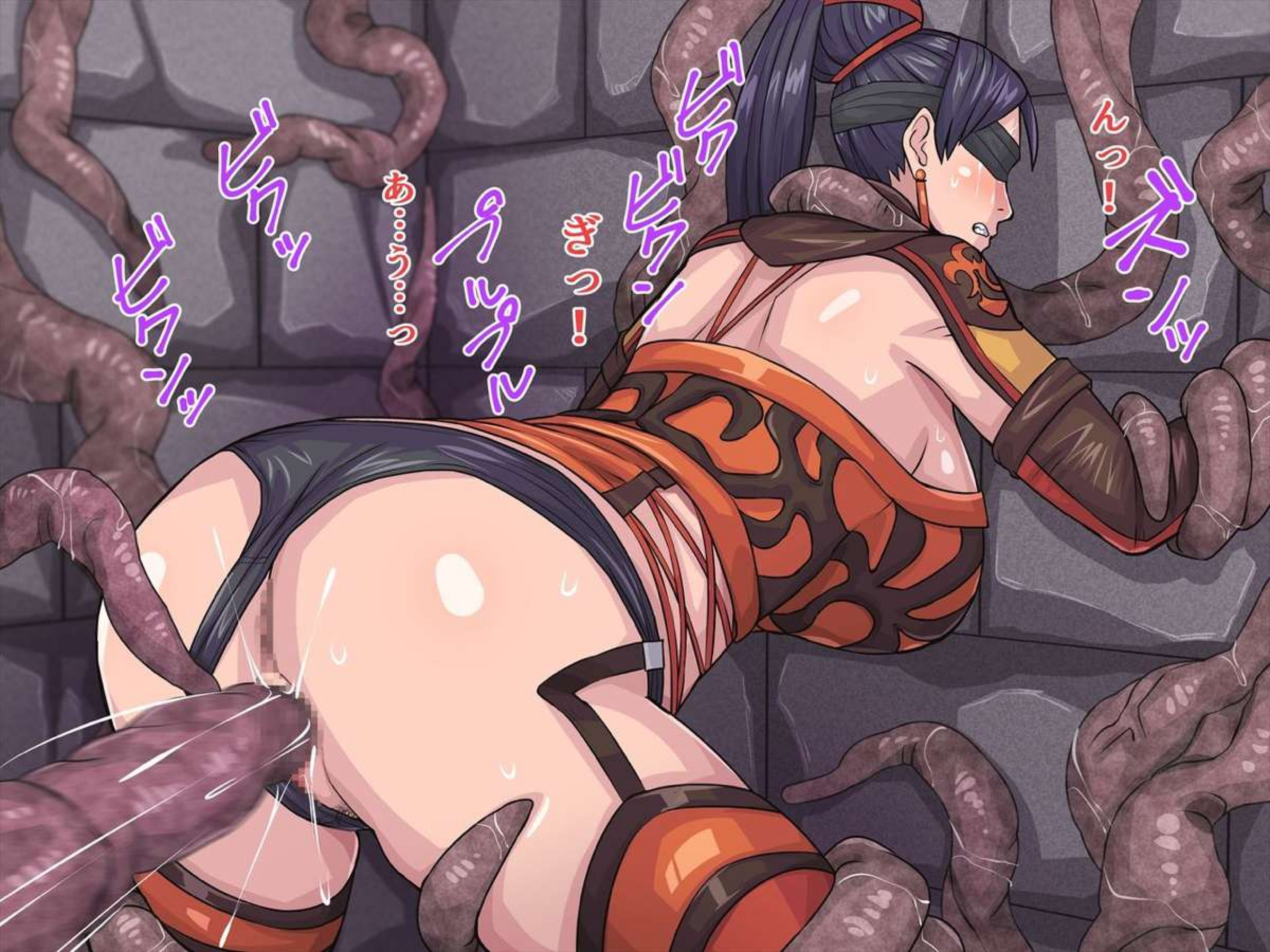
グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ



ズン
ズン
ズン

あ……う……う

ズン
ズン
ズン

んっ!

ズン
ズン
ズン

んっ!
ズン
ズン

くっ

アッ

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ

どうして...

こんな酷いことが

できるの...

ズク
ズク
ズク
ズク
ズク

アッ





ハァハァ

放しなさいっ！

ヒィヒィ

ムムムム

ヒィヒィ



ぐぐぐ

噛みついて……

かんかん

な…何っ!?

ギョ



熱…いっ

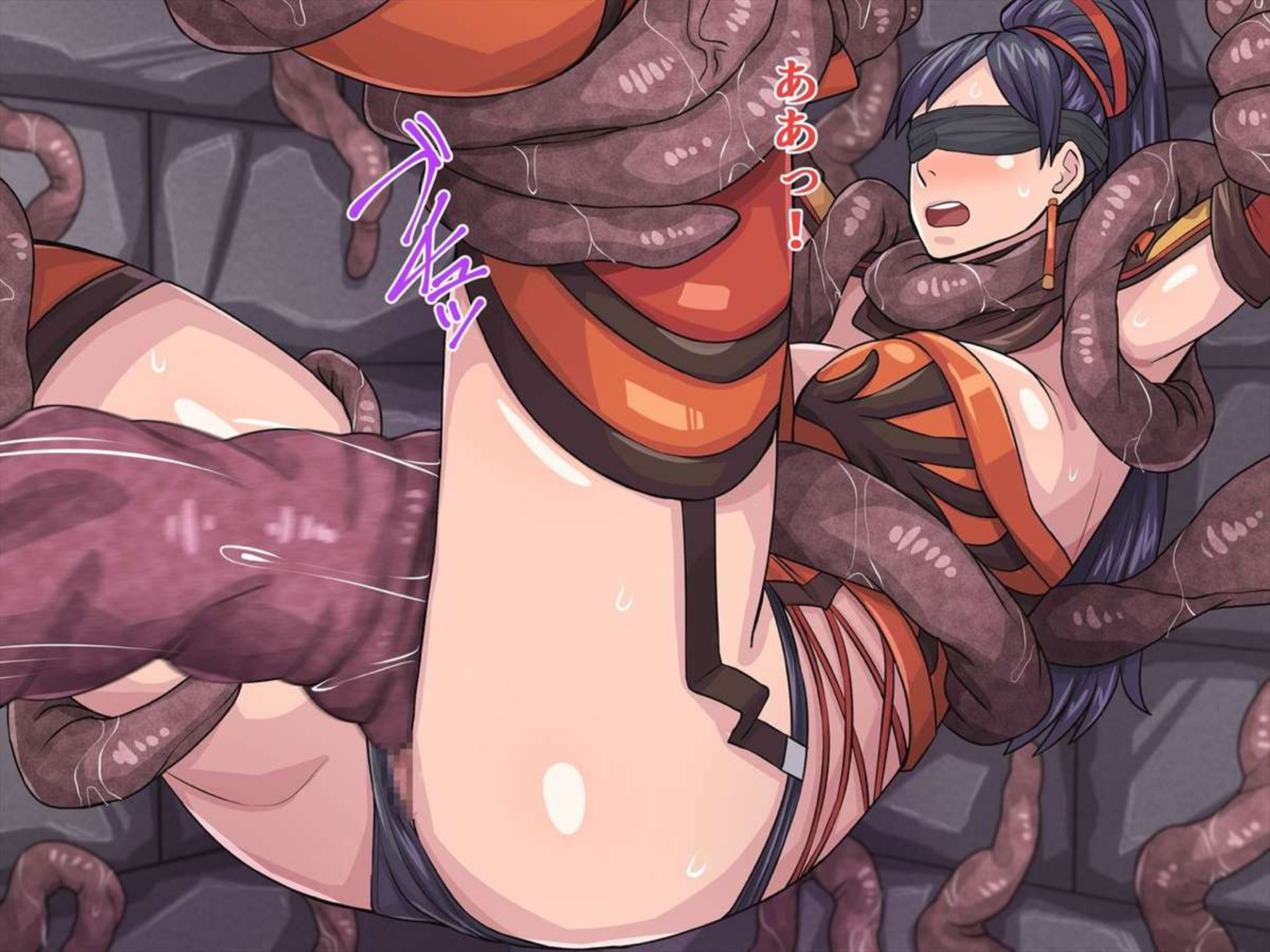
か…身体が…

何…っ

ぷるぷる

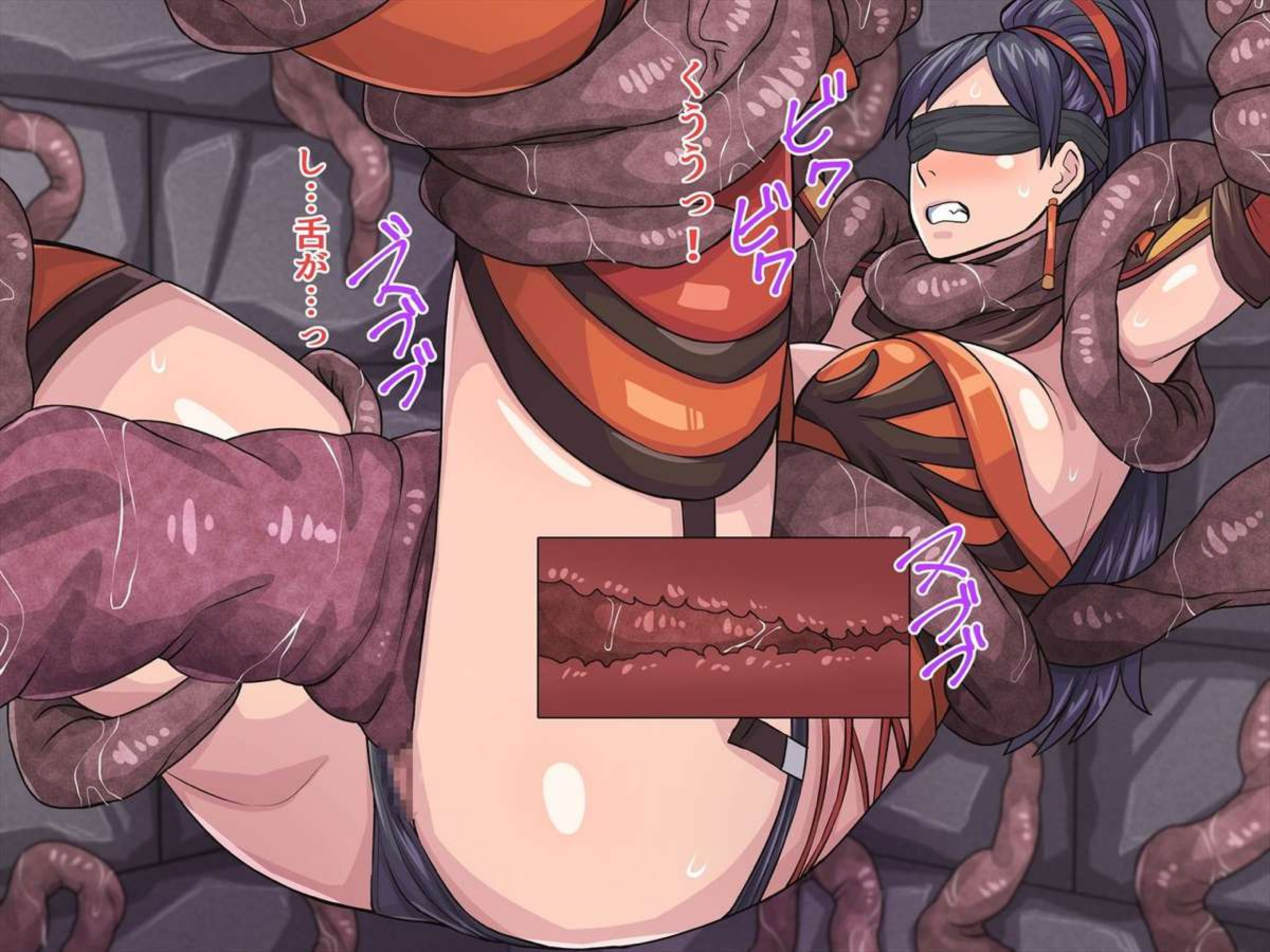
うっっ!!?

ハヤハヤ



ああっ!

グググッ



し…舌が…っ

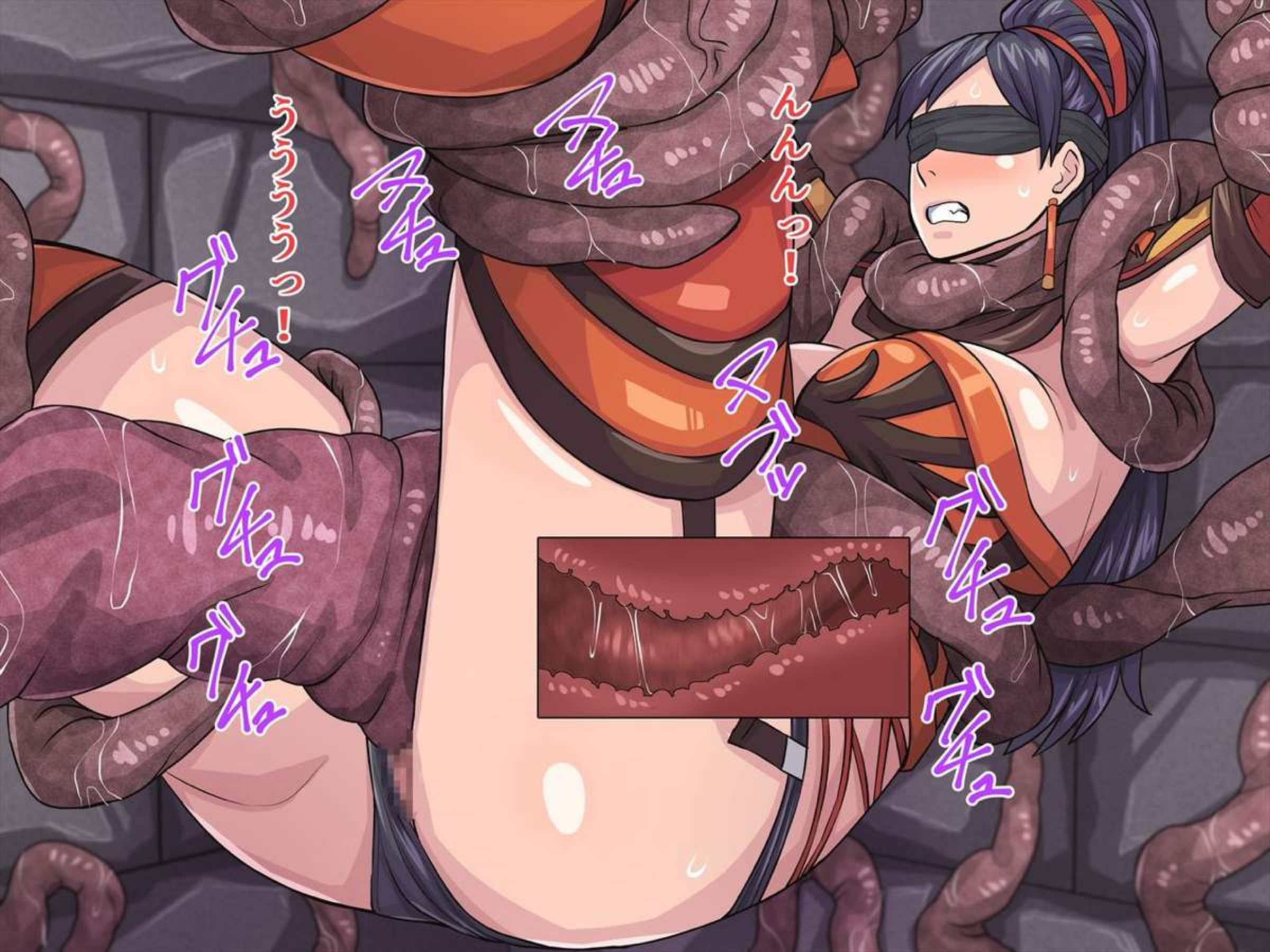
ズズズズ

〜んんんんん！

ズズズズ



ズズズズ



んんっ!

グキョ

グキョ

んんっ!

グキョ

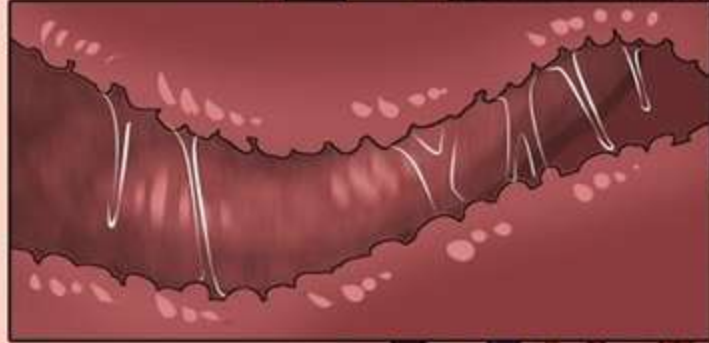
グキョ

グキョ

グキョ

グキョ

グキョ





ひ……いっ!

グキョ
グキョ
グキョ

フキョ
フキョ

フキョ
フキョ

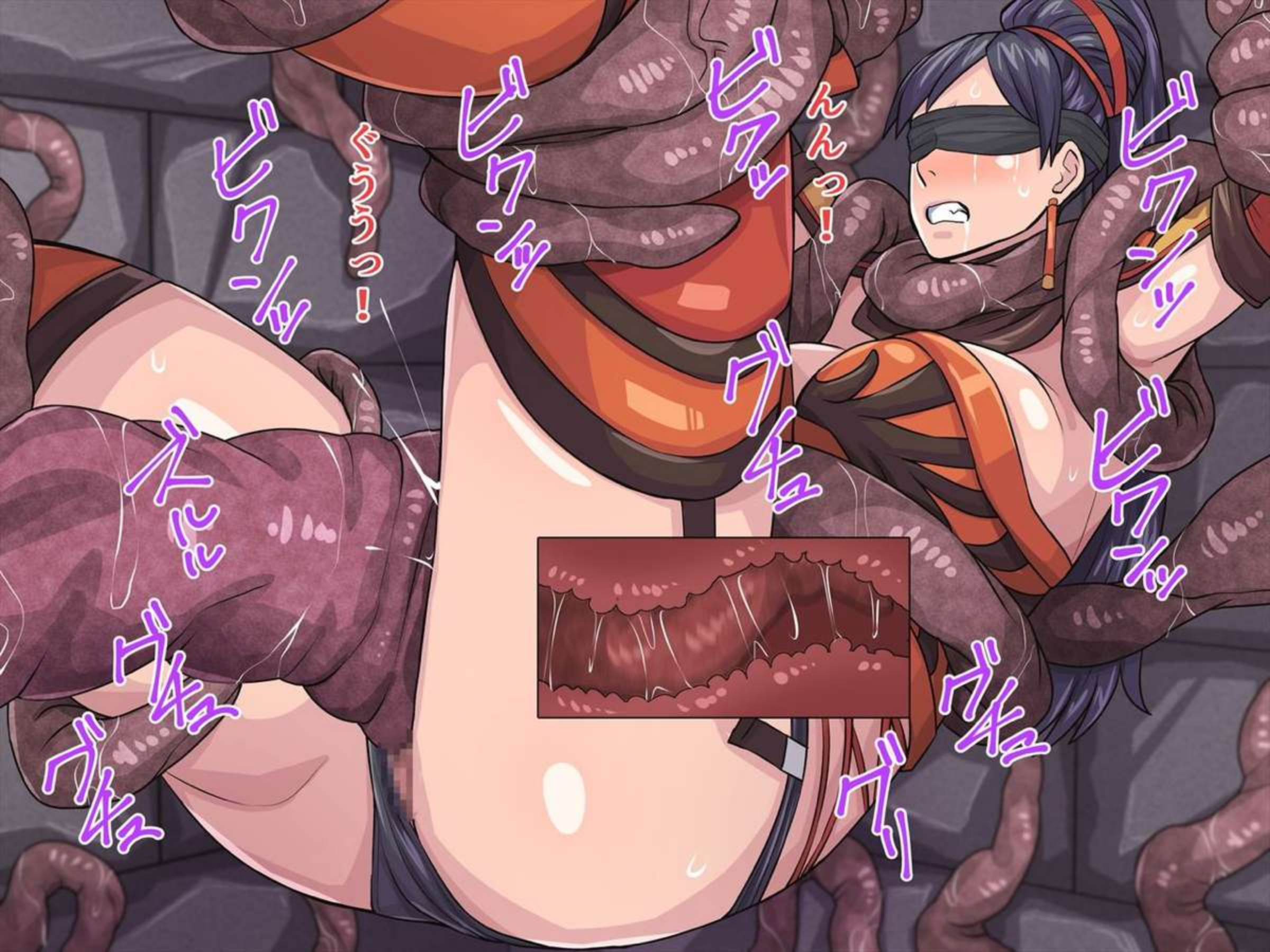
グキョ
グキョ

グキョ
グキョ

う……動かないでっ!

いやっ!





ベクッベクッ

んんっ!

ベクッ

ベクッ

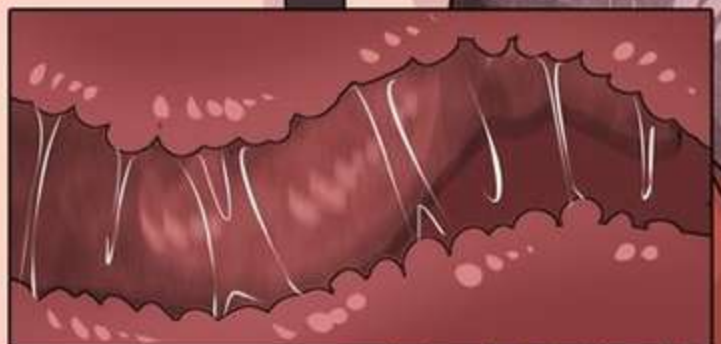
んんっ!

ベクッ

グチュ

ベクッ

グチュ



グチュ

グチュ



い...いやっ

抵抗...できない...

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ



また毒を!

うんうん

うん

うん

うん



あせり!

逃げられないっ

どいっ

くっ!

かっ

かっ



身体が言うことときかない……っ

で……出さね……んん

んんっ!

びん

びん

びん

びん



負けていられないわ!

こんな奴らに...

んんん

んんん

んんん

んんん



なっ!?

ゼクッ

お…お尻に…っ

何考えてるの!

ごいっ

アグッ





やめ...てっ!

何...をっ

なっ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

グ
グ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ア
ア
ア



グッグッグッグッグッ!

あ……うっうっ!

グッ グッ グッ
グッ

グッ

やっ

グッ

グッ

グッ

グッ



くっ

放し…なさいっ!

いっせー!

ぎゅ

ズズズズ

ギョ



何を...

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ゴゴゴ



ああっ！

ビクン

やめ……っ

ズンズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズンズン



んんんんん！

ズムズム

グキ
グキ
グキ

ズムズム

んんん！

ズムズム

ズムズム

ズムズム



ジュクジュク

ああっ!

擦っちや...

やめ...っ

ジュクジュク

ジュクジュク

ジュクジュク
ジュクジュク

ジュクジュク



う……あぁっ

や……っ

やめ……てっ！

あぁあぁっ！

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ



どれだけ……っ

ギョッ

私を弄べば……

ガッガッ

蛇のような触手から注入される毒は確
実に練師の身体を蝕んだ。
戦場に出ているために痛みへの慣れこそ
そあつたが、性的な快楽への慣れは鍛えよ
うが無いし、毒が使われているとあれば尚
更だった。
そして精神を破壊し、妖術による洗脳を
施すつもりなのだ。

品行方正に生きてきた練師にとって、愛
する人以外との性的な接触は忌避するも
のだった。
それ故に今の状況は屈辱以外の何物で
も無かった。
しかし、仲間たちの無事を思えばこそ練
師は耐えられる。彼女はそういう人間だっ
た。



ああっ!

やめなさいっ!

がっ

ズン

カッ



いい加減に……っ

っっっ

アゲアゲ

くっ!

ウネ

ウネ



あ……んんん

ズッ
ズッ

びん
びん
びん

びっ!

びん!

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ



耐え……てっ

耐え……なきや……あ

んんんん

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッズグッ

ズグッ

ズグッ



グググ

ひびく!!

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

グググ

ひびく!!



いやあつ!

もうイツてる…っ

や…やめてっ!

ズ
ズ
ズ

いやっ!

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ





ギョッ

はやく...

んんん

ズズズ

なんとかしないと...



ズキーン

あああつ!

くっ!

ズキーン

ズキーン

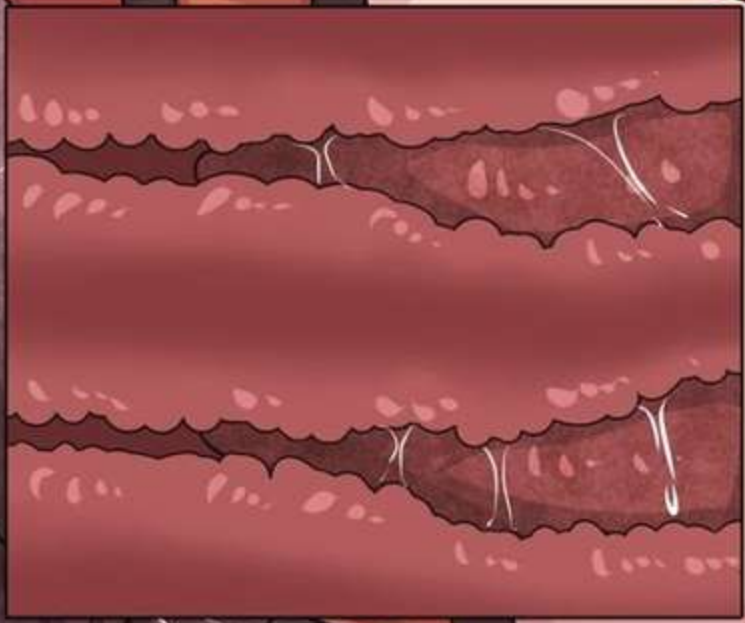


し…舌がっ

い…い…

ア…ア…

ズ…ズ…





やめ…てえっ

んぐらうっ!

アタ

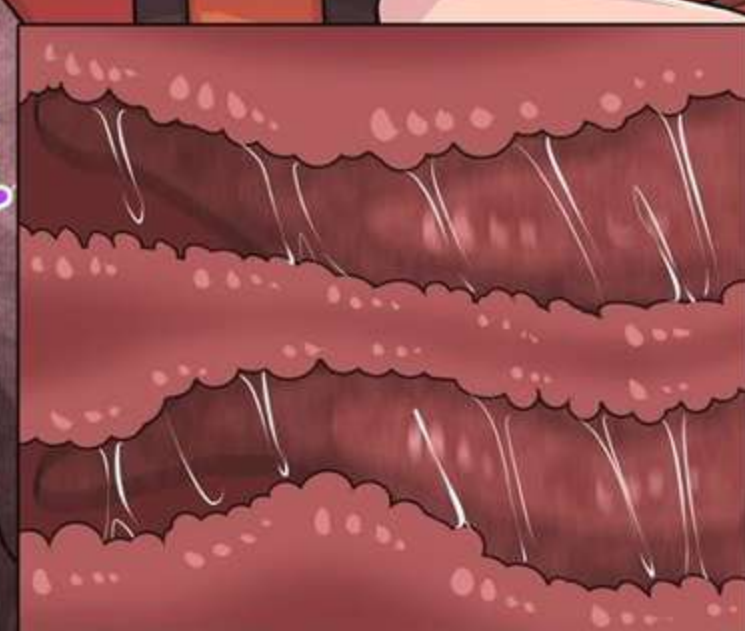
アタ

グタ

グタ

グタ

グタ





ビクビク

あらうらうらっ!

ゴキウ

いやあっ!

ビクビク

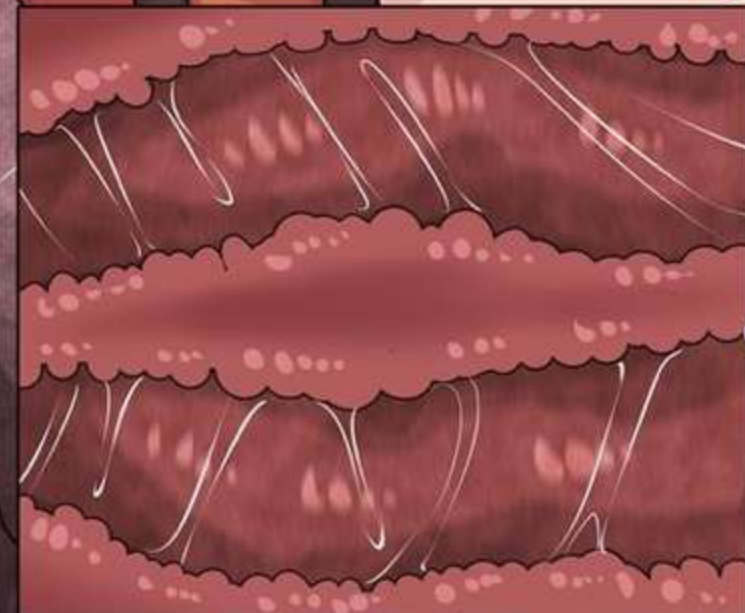
ブルブル

グキョ

グキョ

グキョ

ブルブル
グキョ



ゴキウ



もう...やめて...て

ハアハア
レキ

こんなこと...

グハハハハ

ゼン

アキ

ウネ

ウネ

うんっ…

皆が無事なら…

私は…っ

ぷん
ぷん

妖魔に囚われてからどれだけの時間が経過したのかわからなかった。どれだけの時間が経とうと、練師はその強靱な精神力で責めを耐え抜いた。そしてそれが、どうやら妖魔の目的を変化させたらしい。妖魔は練師をもはや兵士にしようとはしていないかった。練師はそれを知る由もなく、ただひたすらにこの地獄を耐えるしかなかった。



アッ
アッ

モゾ

な…何っ!?

耳の中…

ズン
ズン



…えっ!?

か…身体が…

なんでっ

レレレレ

レレレレ

グググ

ククク

ククク



んぐっ!

グッ

グッ

グッ



いやああっ!

アキユ

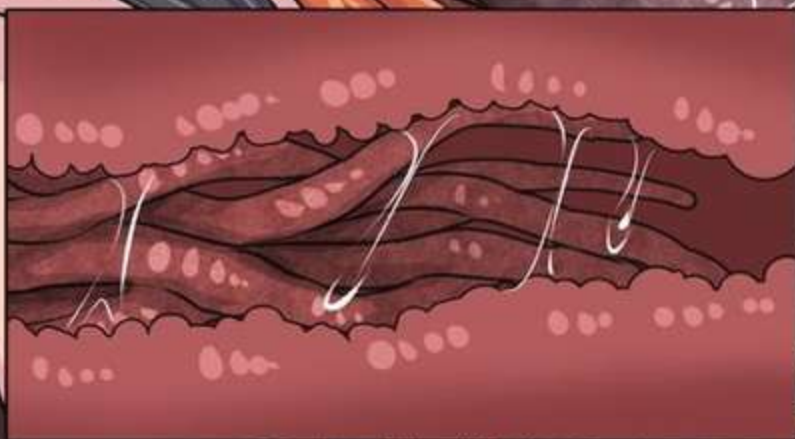
ベクベク
ベクベク

アキユ

入ってこないでっ!

アキユ
アキユ

アキユ





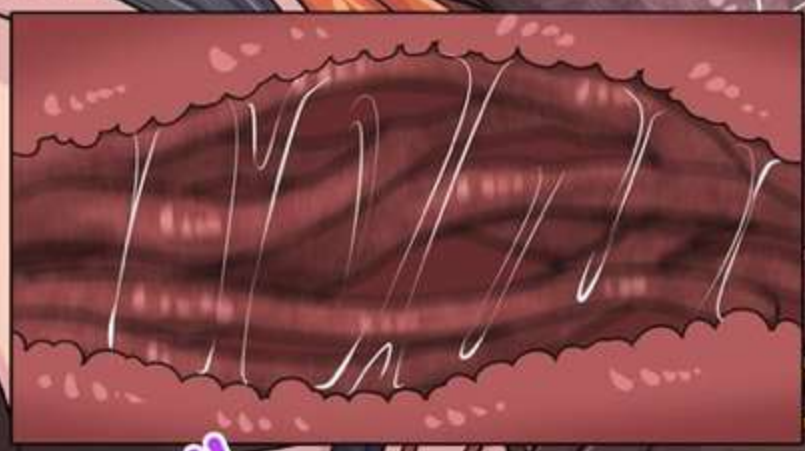
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ
グキョ

んむらうらうら!!

グキョ

むぐっ!

ガボッ



グキョ
グキョ

グキョ

んんんっ！

びく
びく

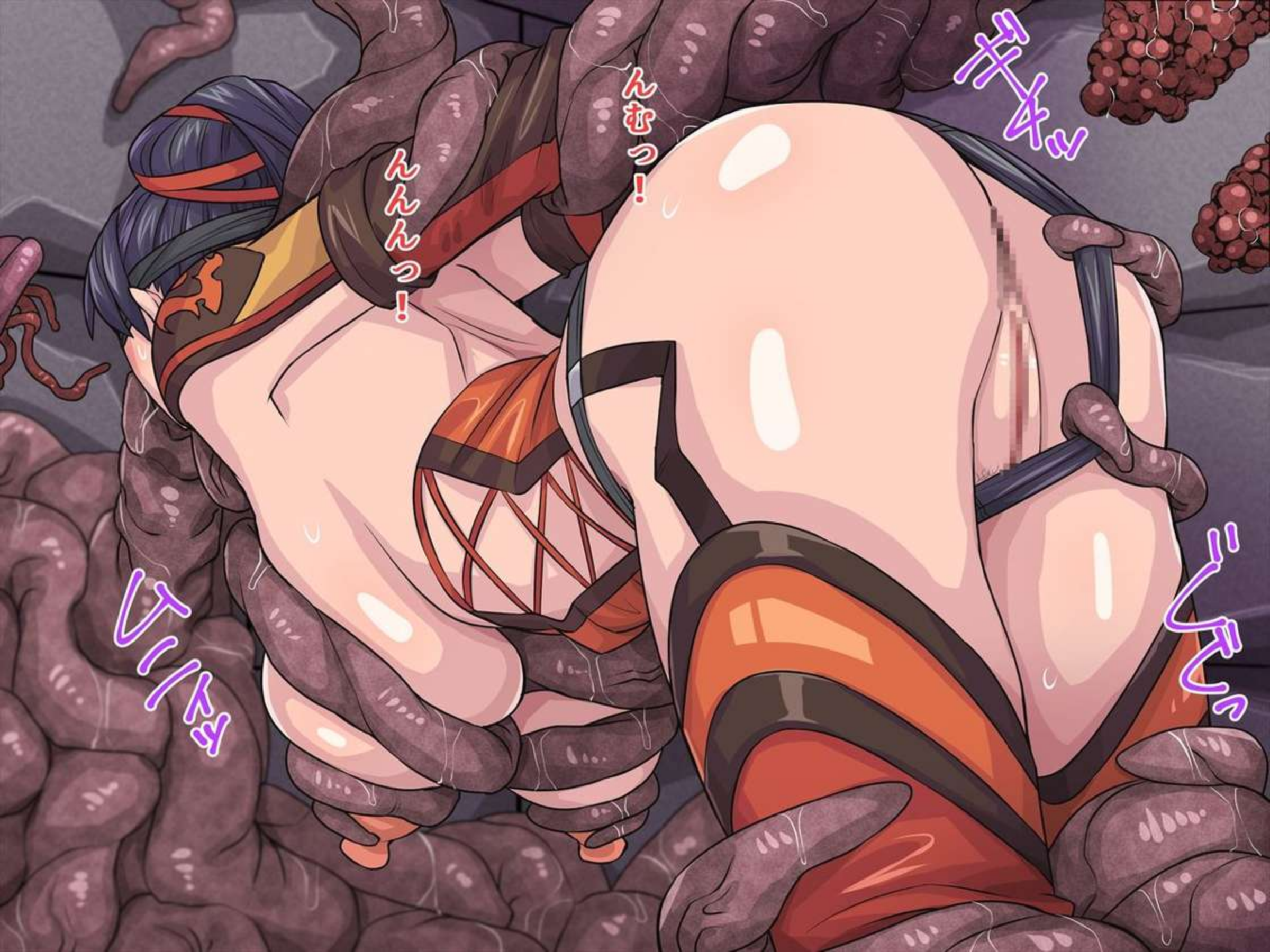
びく
びく

んんんんんっ！

びく
びく

びく
びく





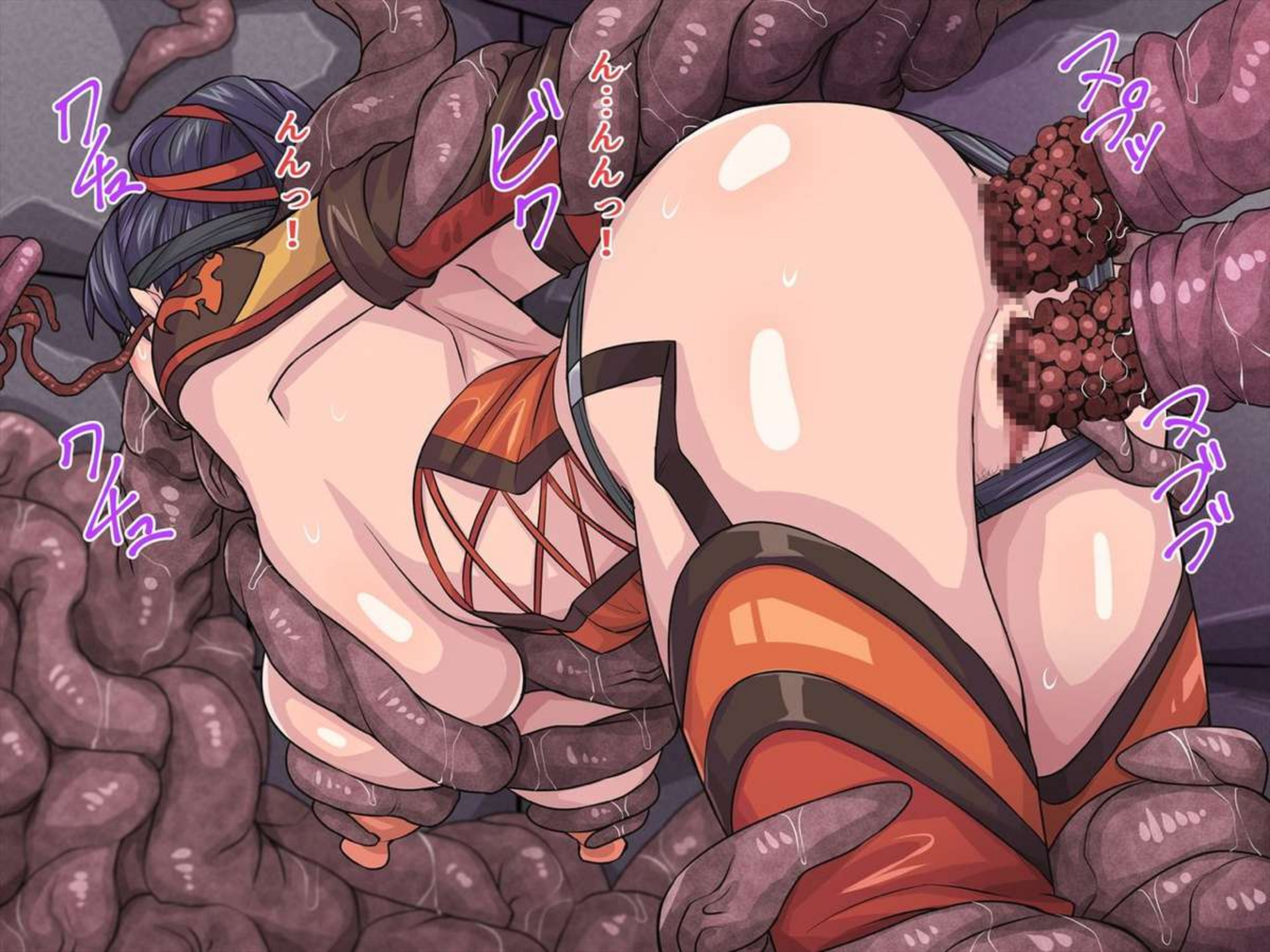
ギョウ

んむっ!

んんんっ!

ムムム

グッ



フク

んんっ!

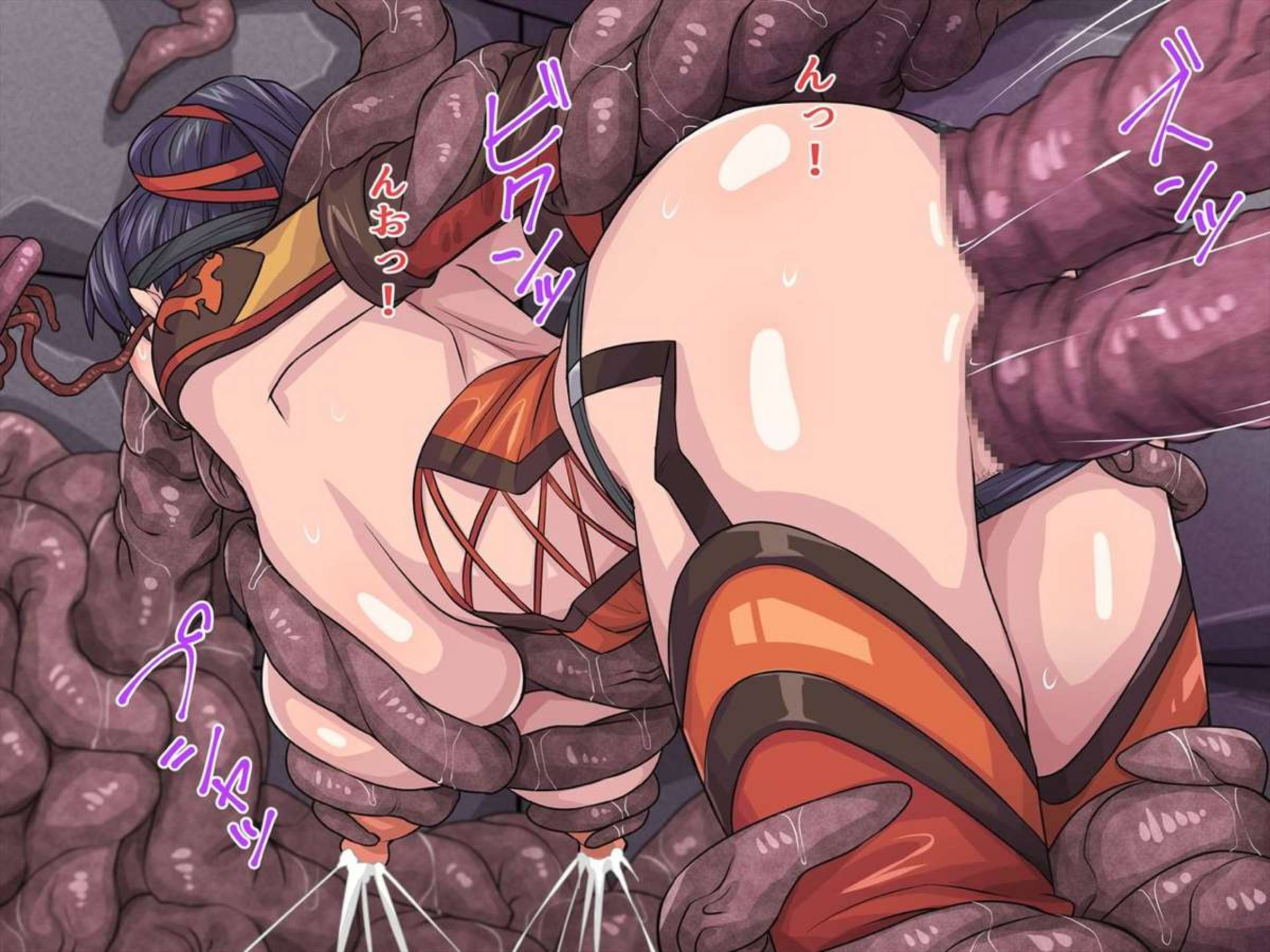
フク

んんんっ!

フク

フク

フク



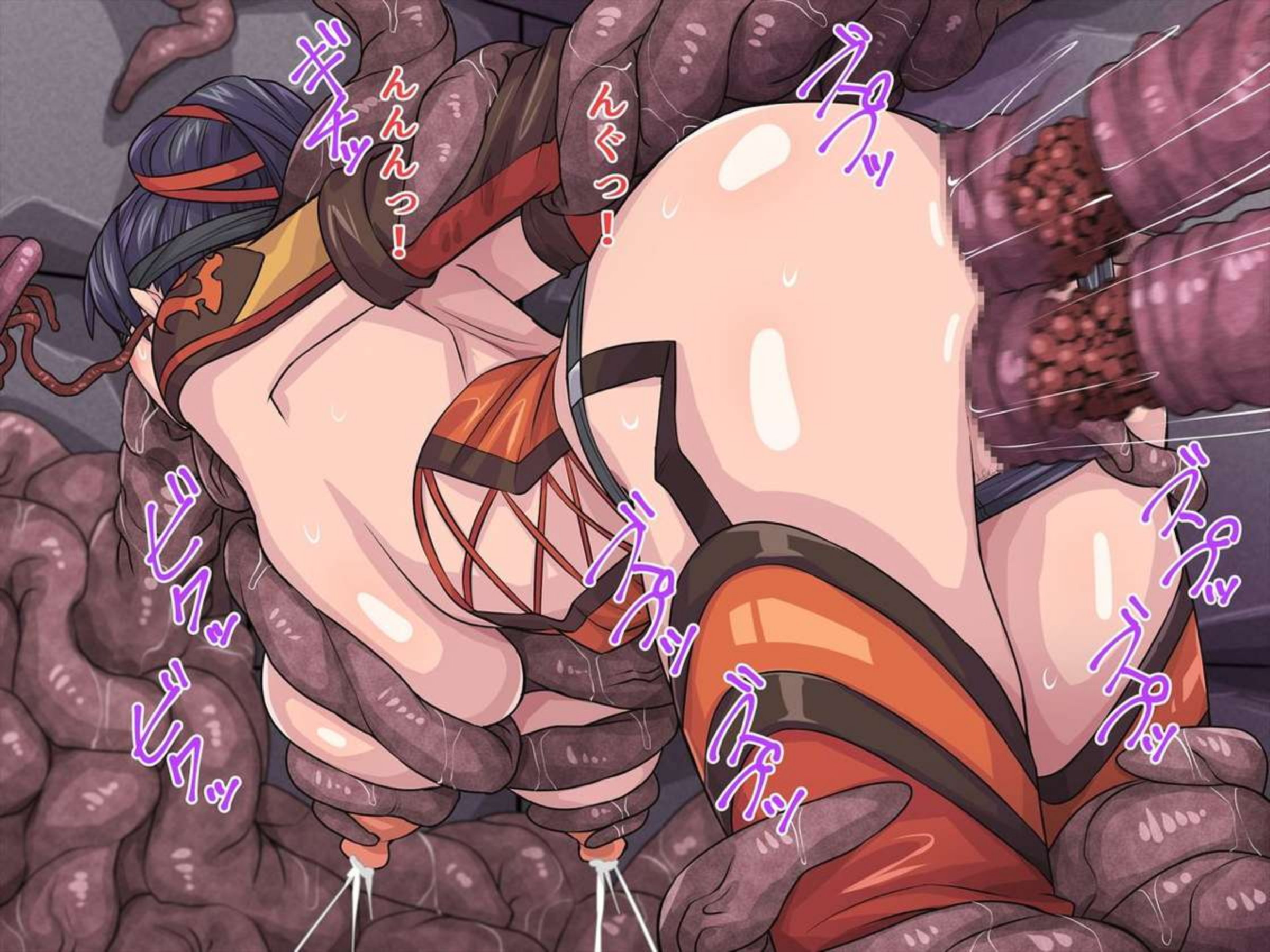
んおっ!

ビク
ン
ッ

ん
っ
!

ズ
ッ
ッ

ズ
ッ
ッ



ジッ
ジッ

んんんっ!

んぐっ!

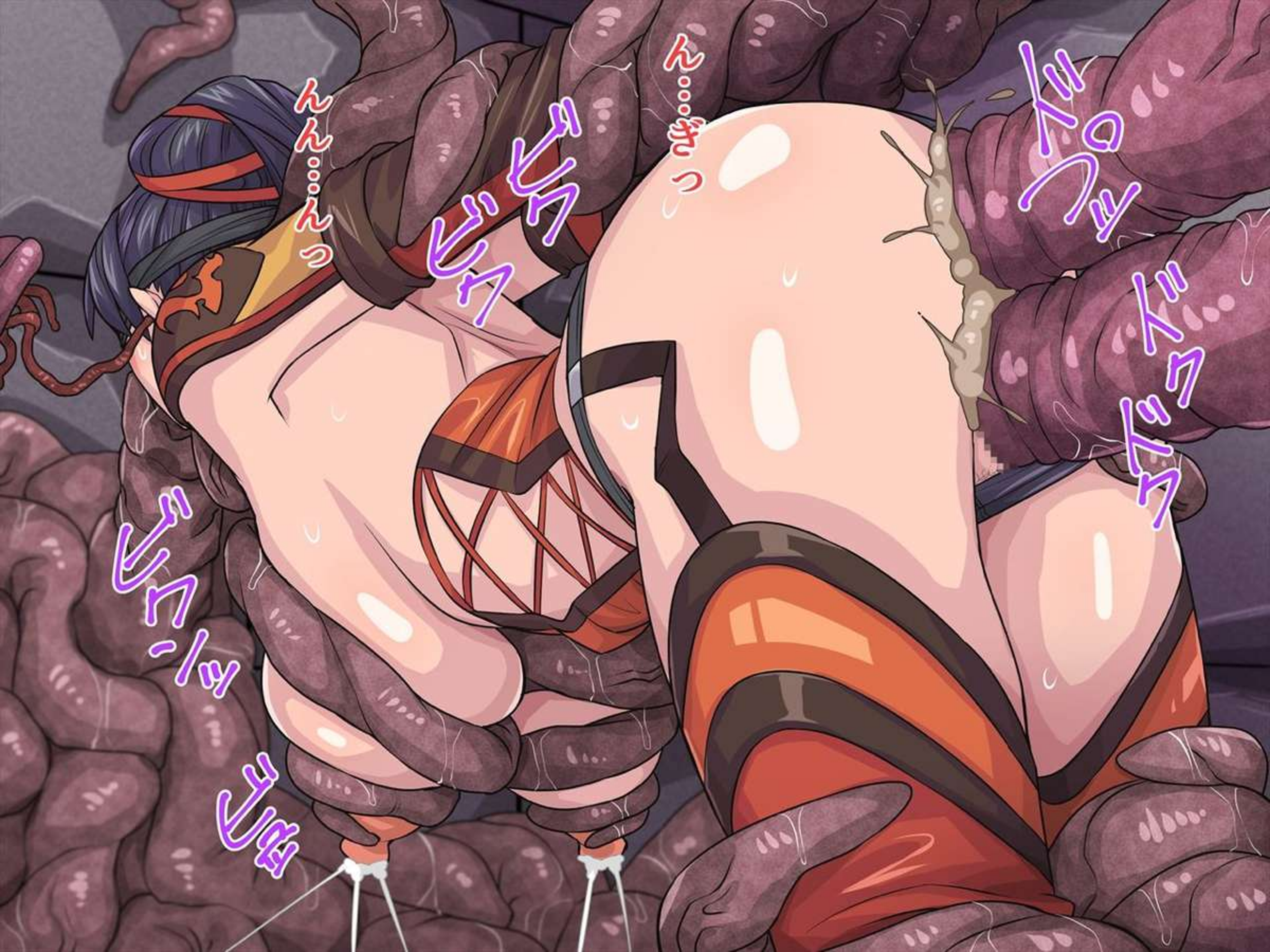
ジッ
ジッ

ジッ
ジッ
ジッ

ジッ
ジッ

ジッ
ジッ

ジッ
ジッ
ジッ



んんんんん

んんんんん

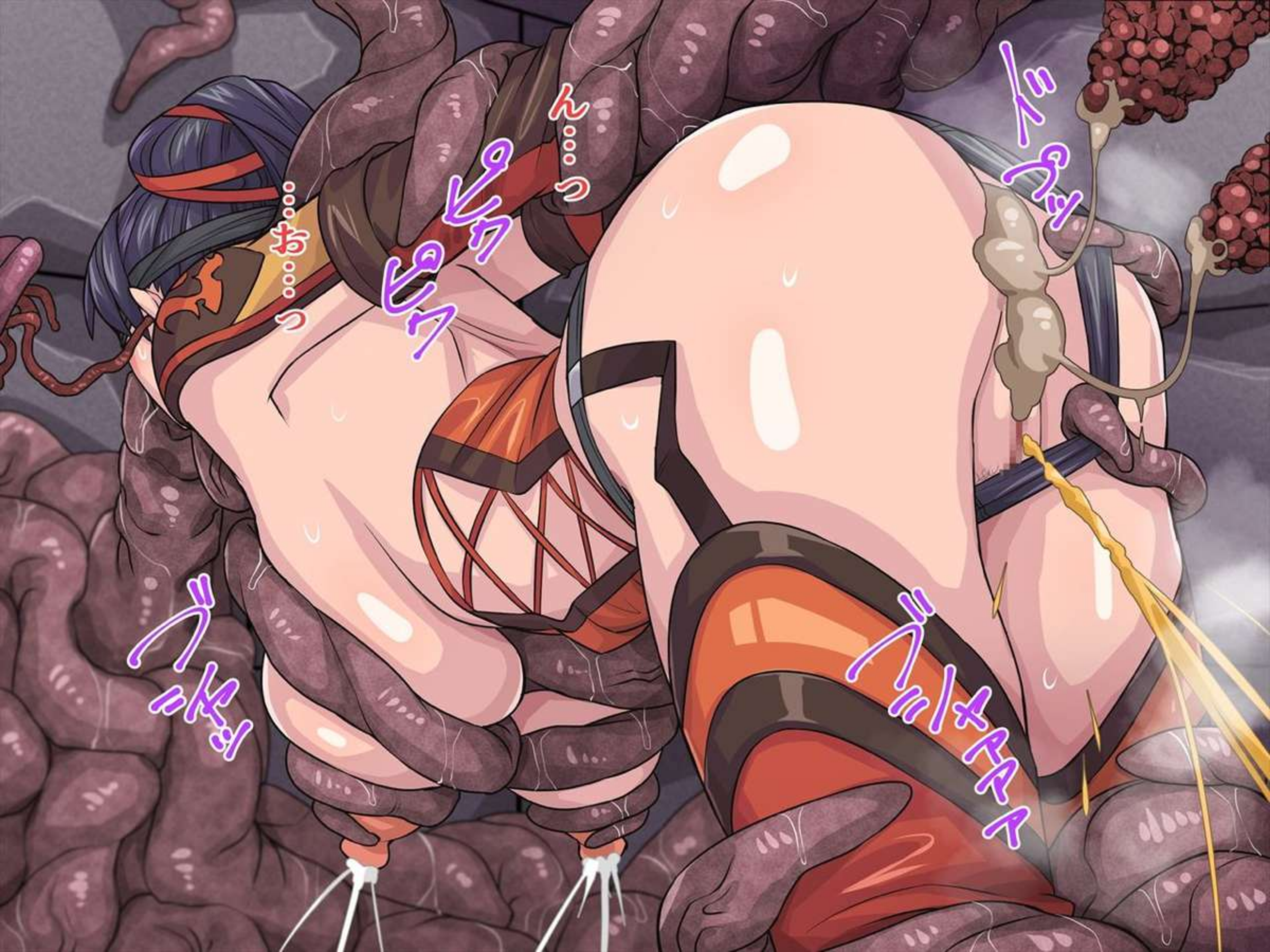
んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん



お...お...

ん...ん...

ぐ...ぐ...

ぐ...ぐ...

ぐ...ぐ...

ぐ...ぐ...



私は負けないわ!

こんな卑劣な奴らに!

アッアッ

ギョ



ギョ

びび

ひっ

フッ

また頭の中と……っ

びび



やめなさいっ!

やめ...っ

ああっ!

ズッ
ズッ
ズッ

ワッ
ワッ
ワッ

ズッ
ズッ
ズッ

ガッ
ガッ
ガッ



ひっ!

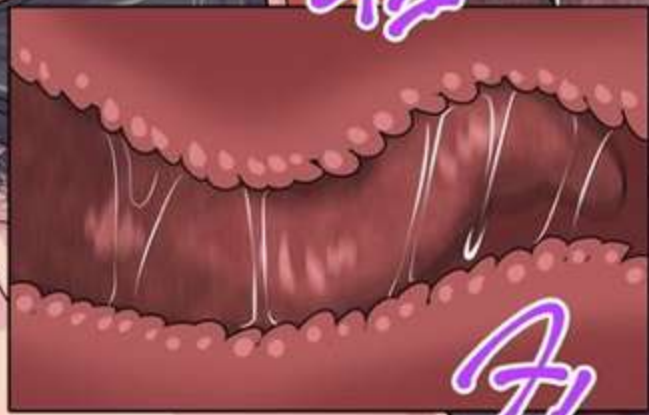
んんっ!

いっいっ!

グググ
グググ

グググ
グググ

グググ
グググ
グググ



ググ

クハッ
クハッ





んああっ!

ああっ!

ああっ!

ガク
ザク

ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク
ゼク

ググ
ググ

ググ
ググ



ググ
ググ

ゼク
ゼク
ゼク
ゼク

ググ
ググ
ググ

ググ
ググ
ググ



あ...ああ...あ

ゼクッ
ゼクッ
ゼクッ

あ...

ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ

ハァ
ハァ
ハァ

グ
グ
グ

ヒヤッ
ヒヤッ
ヒヤッ

ヒヤッ
ヒヤッ
ヒヤッ



絶対に諦めないわ!

ギョ

絶対に……っ

ズズズ

ゴゴ



モブ
モブ

私は…っ

頭を弄られたって…

ぐっぐっ





んんんんっ!

ガクガク

んんんんんんんん!

グググ
グググ

ズズズズ

グググ
グググ

グググ
グググ

ズズズズ



ズン
ズン
ズン

あああつ!

ああつ!

ズン
ズン
ズン

うあああつ!

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン



ズンズン

んんんんっ!

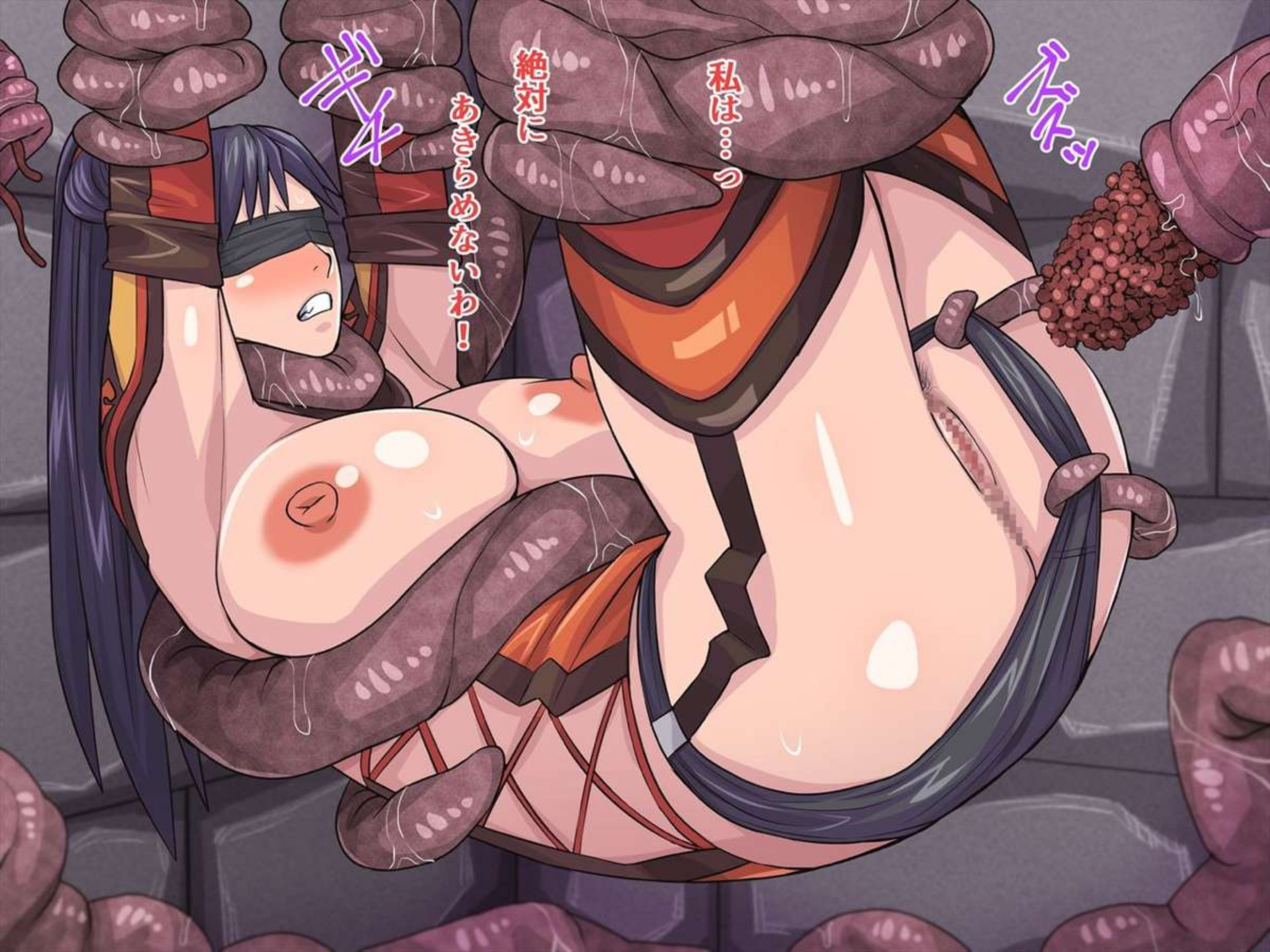
ズンズン

ズンズン
ひ...いっ!

ズンズン
ズンズン

ズンズン

ズンズン



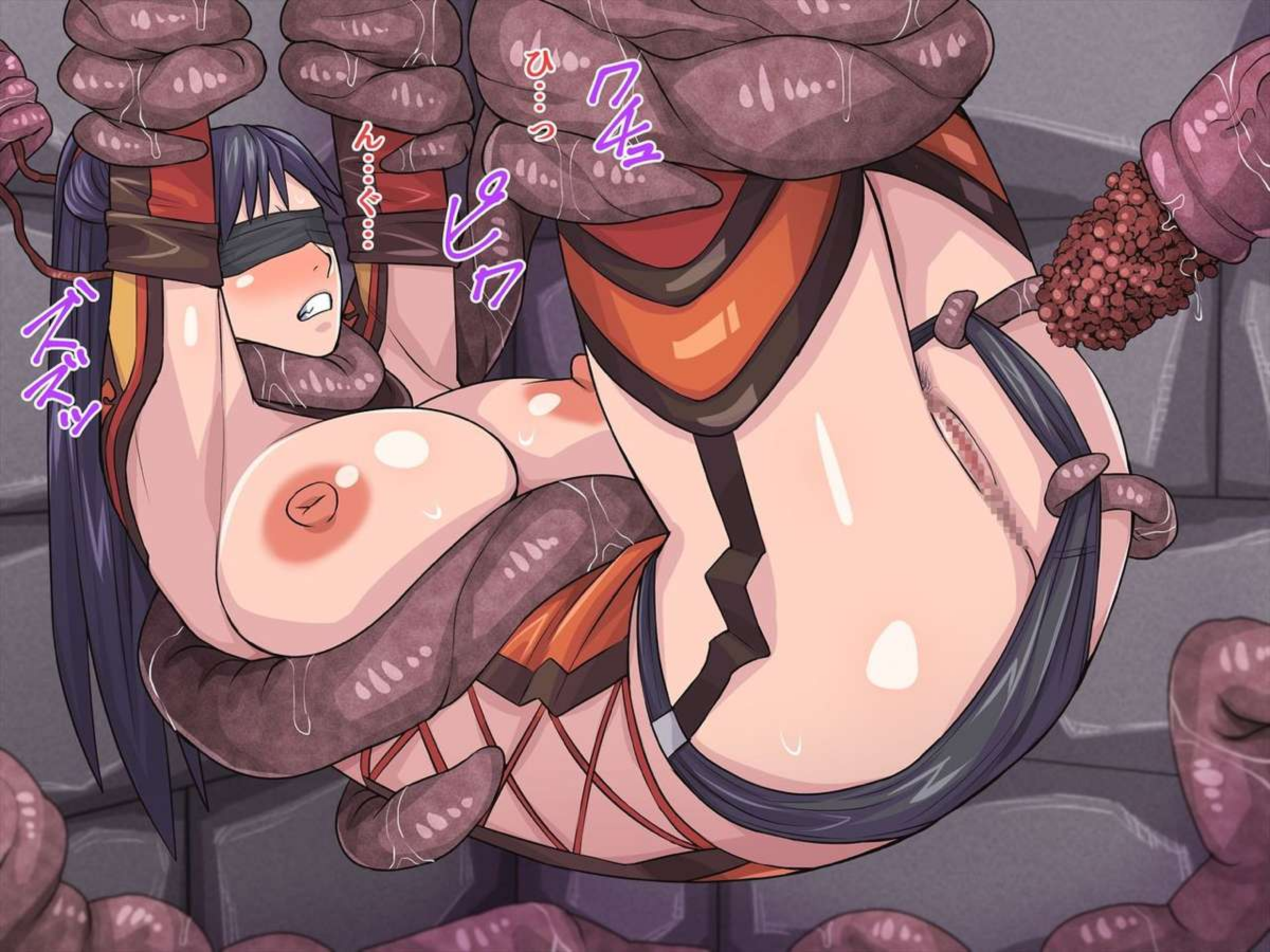
ギョ

絶対に
あきらめないわ!

絶対に

私は...

ズズッ



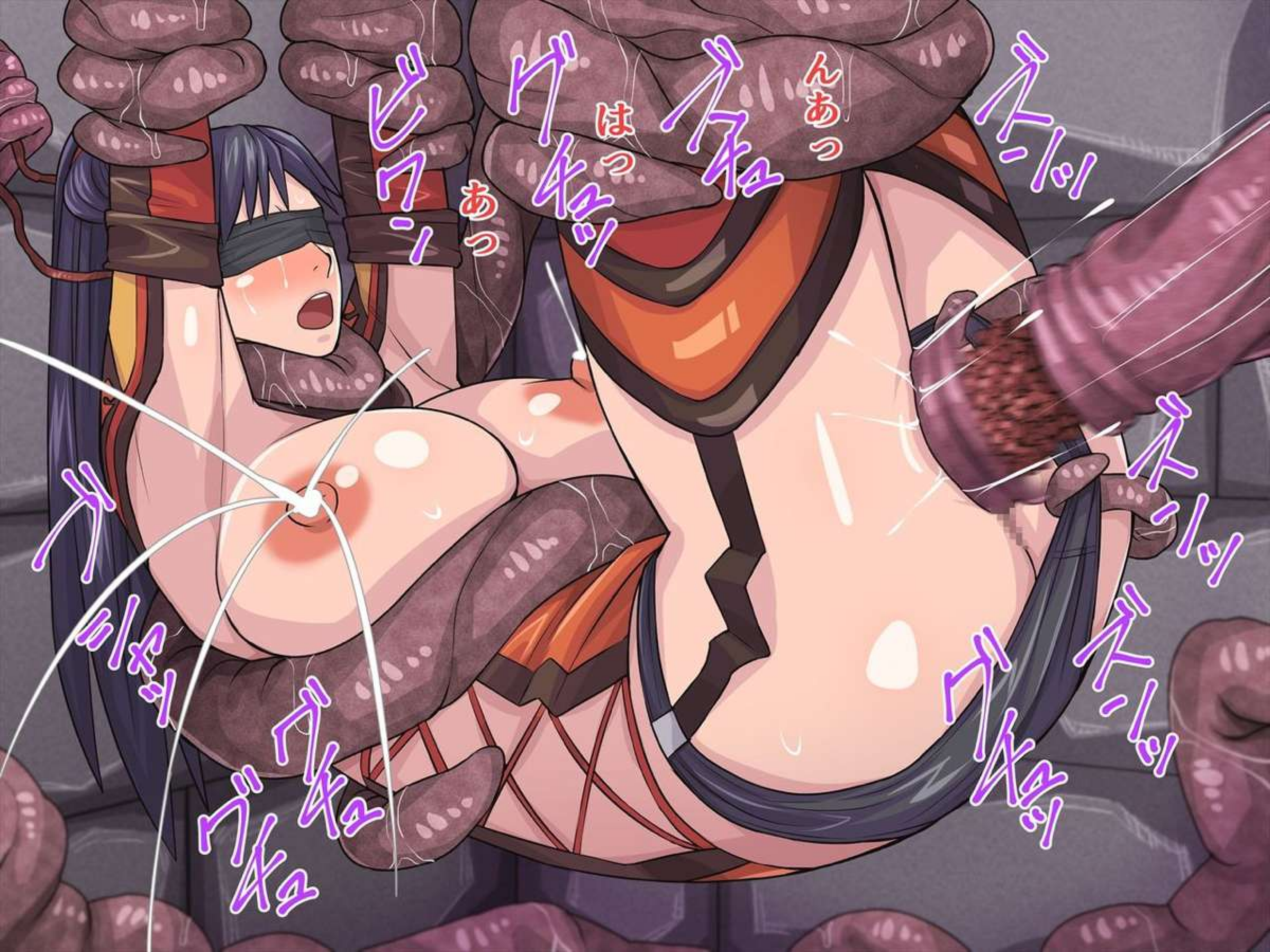
ズズズ

んんんんん

ンンン

ひっひっ
ンンン





ズ
ク
ン

グ
ク
ク

は
っ

グ
ク
ク

ん
あ
っ

ズ
ク
ク

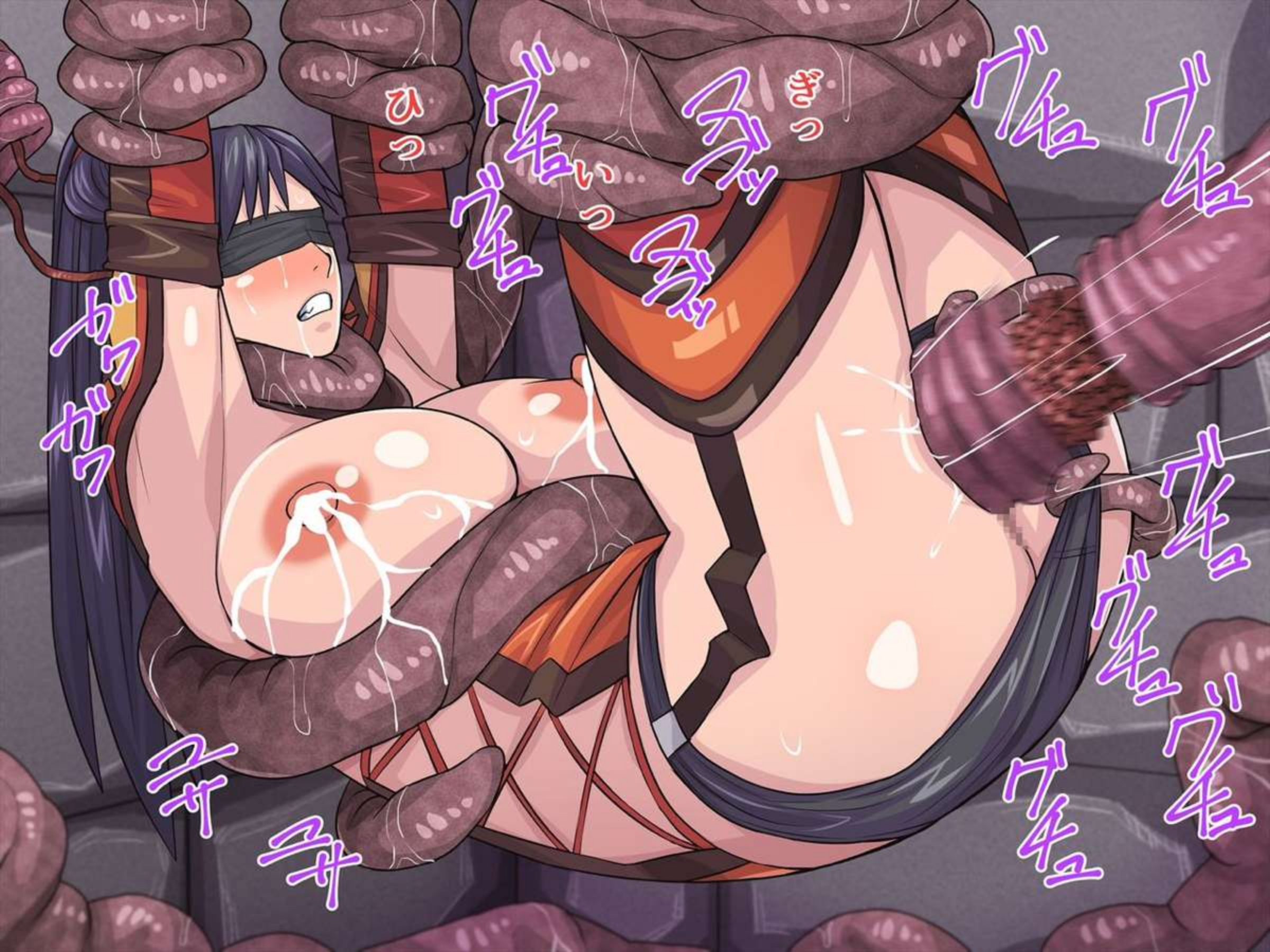
あ
っ

ク
ク
ク

グ
ク
ク

グ
ク
ク

ズ
ク
ク



グチュ
グチュ
グチュ

グツ
グツ

グツ
グツ

グチュ
グチュ
グチュ
グチュ

グツ
グツ
グツ
グツ

グチュ
グチュ
グチュ

グチュ
グチュ
グチュ
グチュ

グチュ
グチュ

ひ
っ

き
っ



あぁあっ!

ビクッ
ビクッ
ビクッ

あ...

ビクッ
ビクッ
ビクッ

はっ
はっ
はっ

グ
グ
グ

ア
ア
ア

ア
ア
ア



クキ
クキ

ハア
ハア

あ……っ

……は

ビク
ビク

……あ

グ
ヒヤッ
ヒヤ



誰かが...

アハ

きゅと...

アハ

助け...

アハ

アハ

アハ
アハ

自分が捕らえられてからどれだけの時間が経過したのか、練師自身はもうそれを考えることもできない。身体の自由を奪われ、しかし練師の強靭な精神によって意識だけは残っていた。いつか脱出する機会が訪れるかもしれない、いつか仲間たちが助けに来るかもしれない。彼女はいつでも希望だけは捨てずいたのだ。練師の高潔で強靭な精神、それこそが彼女を地獄に縛り続けていることに、彼女はいつまでも気付くことはできなかった。



誰...か...あ

助け...て

ス...ス...ス

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

END





































